

東海第二発電所 審査資料	
資料番号	SA設-C-2 改75
提出年月日	平成30年2月28日

東海第二発電所

重大事故等対処設備について

(補足説明資料)

平成30年2月

日本原子力発電株式会社

本資料のうち、は商業機密又は核物質防護上の観点から公開できません。

目 次

39 条

39-1 重大事故等対処設備の分類

39-2 設計用地震力

39-3 重大事故等対処施設の基本構造等に基づく既往の耐震評価手法の適用性と評価方針について

39-4 重大事故等対処施設の耐震設計における重大事故と地震の組合せについて

添付資料－1 重大事故等対処施設の網羅的な整理について

41 条

41-1 重大事故等対処施設における火災防護に係る基準規則等への適合性について

41-2 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設の分類について

41-3 火災による損傷の防止を行う重大事故等対処施設に係る火災区域の設定について

41-4 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の火災感知設備について

41-5 重大事故等対処施設が設置される火災区域又は火災区画の消火設備について

41-6 重大事故等対処施設が設置される火災区域・火災区画の火災防護対策について

共通

共-1 重大事故等対処設備の設備分類及び選定について

共-2 類型化区分及び適合内容

共-3 重大事故等対処設備の環境条件について

共-4 可搬型重大事故等対処設備の必要数，予備数及び保有数について

共-5 可搬型重大事故等対処設備の常設設備との接続性に関する補足説明資料

共-6 重大事故等対処設備の外部事象に対する防護方針について

共-7 重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針について

共-8 重大事故等対処設備の内部溢水に対する防護方針について

共-9 自主対策設備の悪影響防止について

共-10 設計基準事故対処設備に対する多様性及び独立性並びに位置的分散の整理について

44 条

44-1 SA 設備基準適合性 一覧表

44-2 単線結線図

44-3 配置図

44-4 系統図

44-5 試験検査

44-6 容量設定根拠

44-7 その他設備

44-8 A T W S 緩和設備について

44-9 A T W S 緩和設備に関する健全性について

44-10 S A バウンダリ系統図（参考図）

45 条

45-1 SA 設備基準適合性一覧表

45-2 電源構成図

45-3 配置図

45-4 系統図

45-5 試験検査

45-6 容量設定根拠

45-7 その他の原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための設備について

45-8 原子炉隔離時冷却系蒸気加減弁（H0 弁）に関する説明書

45-9 E C C S系ポンプの高温耐性評価について

45-10 S Aバウンダリ系統図（参考図）

46 条

46-1 SA 設備基準適合性 一覧表

46-2 単線結線図

46-3 配置図

46-4 系統図

46-5 試験検査

46-6 容量設定根拠

46-7 接続図

46-8 保管場所図

46-9 アクセスルート図

46-10 その他設備

46-11 過渡時自動減圧機能について

46-12 過渡時自動減圧機能に関する健全性について

45-13 SAバウンダリ系統図（参考図）

47 条

47-1 SA 設備基準適合性 一覧表

47-2 電源構成図

47-3 配置図

47-4 系統図

47-5 試験検査

47-6 容量設定根拠

47-7 接続図

47-8 保管場所図

47-9 アクセスルート図

47-10 その他設備

47-11 SAバウンダリ系統図（参考図）

48 条

48-1 SA 設備基準適合性一覧表

48-2 電源構成図

48-3 計測制御系統図

48-4 配置図

48-5 系統図

48-6 試験検査

48-7 容量設定根拠

48-8 その他の最終ヒートシンクへ熱を輸送する設備について

48-9 S A バウンダリ系統図 (参考図)

49 条

49-1 SA 設備基準適合性一覧表

49-2 電源構成図

49-3 配置図

49-4 系統図

49-5 試験及び検査

49-6 容量設定根拠

49-7 接続図

49-8 保管場所図

49-9 アクセスルート図

49-10 その他設備

49-11 S A バウンダリ系統図 (参考図)

50 条

50-1 SA 設備基準適合性 一覧表

50-2 電源構成図

50-3 配置図

50-4 系統図

50-5 試験検査

50-6 容量設定根拠

50-7 接続図

50-8 保管場所図

50-9 アクセスルート図

50-10 その他設備

50-11 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための設備（格納容器圧力逃がし装置）について

50-12 代替循環冷却系の成立性について

50-13 S Aバウンダリ系統図（参考図）

51 条

51-1 SA 設備基準適合性 一覧表

51-2 単線結線図

51-3 配置図

51-4 系統図

51-5 試験検査

51-6 容量設定根拠

51-7 接続図

51-8 保管場所図

51-9 アクセスルート図

51-10 ペDESTAL（ドライウェル部）底部の構造変更について

51-11 原子炉圧力容器の破損判断について

51-12 ペDESTAL内に設置する計器について

51-13 その他設備

51-14 S Aバウンダリ系統図（参考図）

52 条

52-1 SA 設備基準適合性 一覧表

52-2 単線結線図

- 52-3 配置図
- 52-4 系統図
- 52-5 試験検査
- 52-6 容量設定根拠
- 52-7 接続図
- 52-8 保管場所図
- 52-9 アクセスルート図
- 52-10 計装設備の測定原理
- 52-11 水素及び酸素発生時の対応について
- 52-12 S Aバウンダリ系統図（参考図）

53 条

- 53-1 SA 設備基準適合性 一覧表
- 53-2 単線結線図
- 53-3 配置図
- 53-4 系統図
- 53-5 試験検査
- 53-6 容量設定根拠
- 53-7 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備について
- 53-8 その他設備
- 53-9 S Aバウンダリ系統図（参考図）

54 条

- 54-1 SA 設備基準適合性 一覧表
- 54-2 単線結線図

- 54-3 配置図
- 54-4 系統図
- 54-5 試験検査
- 54-6 容量設定根拠
- 54-7 接続図
- 54-8 保管場所図
- 54-9 アクセスルート図
- 54-10 その他の燃料プール代替注水設備について
- 54-11 使用済燃料プール監視設備
- 54-12 使用済燃料プールサイフォンブレーカの健全性について
- 54-13 使用済燃料プール水沸騰・喪失時の未臨界性評価
- 54-14 その他
- 54-15 S Aバウンダリ系統図（参考図）

55 条

- 55-1 SA 設備基準適合性一覧表
- 55-2 配置図
- 55-3 系統図
- 55-4 試験検査
- 55-5 容量設定根拠
- 55-6 接続図
- 55-7 保管場所
- 55-8 アクセスルート図
- 55-9 その他設備

56 条

56-1 SA 設備基準適合性 一覧表

56-2 配置図

56-3 系統図

56-4 試験検査

56-5 容量設定根拠

56-6 接続図

56-7 保管場所図

56-8 アクセスルート図

56-9 その他設備

57 条

57-1 SA設備基準適合性一覧表

57-2 配置図

57-3 系統図

57-4 試験及び検査

57-5 容量設定根拠

57-6 アクセスルート図

57-7 設計基準事故対処設備と重大事故等対処設備のバウンダリ系統図

57-8 可搬型代替低圧電源車接続に関する説明書

57-9 代替電源設備について

57-10 全交流動力電源喪失対策設備について（直流電源設備について）

57-11 その他資料

58 条

58-1 S A設備基準適合性 一覧表

58-2 単線結線図

58-3 配置図

58-4 系統図

58-5 試験検査

58-6 容量設定根拠

58-7 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について

58-8 可搬型計測器について

58-9 主要パラメータの耐環境性について

58-10 パラメータの抽出について

59 条

59-1 SA 設備基準適合性一覧

59-2 単線結線図

59-3 配置図

59-4 系統図

59-5 試験検査性

59-6 容量設定根拠

59-7 保管場所図

59-8 アクセスルート図

59-9 原子炉制御室について（被ばく評価除く）

59-10 原子炉制御室の居住性に係る被ばく評価について

59-11 S Aバウンダリ系統図（参考図）

60 条

60-1 SA 設備基準適合性一覧表

60-2 単線結線図

60-3 配置図

60-4 試験及び検査

60-5 容量設定根拠

60-6 保管場所図

60-7 アクセスルート図

60-8 監視測定設備について

61 条

61-1 SA 設備基準適合性 一覧表

61-2 単線結線図

61-3 配置図

61-4 系統図

61-5 試験及び検査性

61-6 容量設定根拠

61-7 保管場所図

61-8 アクセスルート図

61-9 緊急時対策所について（被ばく評価除く）

61-10 緊急時対策所の居住性に係る被ばく評価について

62 条

62-1 SA 設備基準適合性 一覧表

62-2 単線結線図

62-3 配置図

62-4 系統図

62-5 試験検査

62-6 容量設定根拠

62-7 アクセスルート図

62-8 設備操作及び切替に関する説明書

目次

58 条

58-1 SA 設備基準適合性 一覧表

58-2 単線結線図

58-3 配置図

58-4 系統図

58-5 試験検査

58-6 容量設定根拠

58-7 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について

58-8 可搬型計測器について

58-9 主要パラメータの耐環境性について

58-10 パラメータの抽出について

58-1

SA 設備基準適合性 一覽表

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			原子炉压力容器温度	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉格納容器内	A
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			原子炉圧力	類型化 区分		
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B	
			海水	海水を通水しない	対象外	
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—	
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—	
			関連資料	58-3 配置図		
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外	
			関連資料	—		
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J	
			関連資料	58-5 試験検査		
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外	
			関連資料	58-4 系統図		
		第 5 号	悪影響防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
	その他(飛散物)			その他設備	対象外	
	関連資料		—			
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外		
		関連資料	—			
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B	
			関連資料	58-6 容量設定根拠		
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外	
			関連資料	—		
		第 3 号	共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
				サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料		58- 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			原子炉圧力（SA）	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	（周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない）	—
			電磁的障害	（電磁波により機能が損なわれない）	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 （検査性，系統構成・外部入力）	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他（飛散物）	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件，自然現象，外部人為事象，溢水，火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図，58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			原子炉水位（広帯域）	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	（周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない）	—
			電磁的障害	（電磁波により機能が損なわれない）	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 （検査性，系統構成・外部入力）	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響 防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他（飛散物）	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因 故障防止	環境条件，自然現象，外部人 為事象，溢水，火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
		関連資料	58-2 単線結線図，58-3 配置図		

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			原子炉水位（燃料域）	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	（周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない）	—
			電磁的障害	（電磁波により機能が損なわれない）	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 （検査性，系統構成・外部入力）	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響 防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他（飛散物）	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因 故障防止	環境条件，自然現象，外部人 為事象，溢水，火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
		関連資料	58-2 単線結線図，58-3 配置図		

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			原子炉水位（SA広帯域）	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他（飛散物）	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			原子炉水位（SA燃料域）	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響 防止	系統設計	その他	A e
			その他（飛散物）	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因 故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			高压代替注水系系統流量	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			低压代替注水系原子炉注水流量	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響 防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因 故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			代替循環冷却系原子炉注水流量	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響 防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因 故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			原子炉隔離時冷却系系統流量	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他(飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			高圧炉心スプレイ系系統流量	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響 防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他(飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因 故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人 為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			残留熱除去系系統流量	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他(飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			低圧炉心スプレイ系系統流量	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響 防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他(飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因 故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人 為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			低压代替注水系格納容器スプレイ流量	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響 防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因 故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			低压代替注水系格納容器下部注水流量	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			代替循環冷却系格納容器スプレイ流量	類型化区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			ドライウェル雰囲気温度	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉格納容器内	A
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			サブプレッション・チェンバ雰囲気温度	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉格納容器内	A
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			サブプレッション・プール水温度	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉格納容器内	A
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			格納容器下部水温	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉格納容器内	A
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			ドライウェル圧力	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			サブプレッション・チェンバ圧力	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			サブプレッション・プール水位	類型化区分		
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件における健全性	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水		海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響		(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害		(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料		58-3 配置図	
		第 2 号	操作性		操作不要	対象外
		関連資料		—		
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)		計測制御設備	J
		関連資料		58-5 試験検査		
		第 4 号	切替性		本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図			
	第 5 号	悪影響防止	系統設計		その他	A e
			その他 (飛散物)		その他設備	対象外
		関連資料		—		
	第 6 号	設置場所		操作不要	対象外	
	関連資料		—			
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量		重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料		58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止		共用しない設備	対象外
			関連資料		—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災		屋内	A a
			サポート系要因		異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料		58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			格納容器下部水位	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉格納容器内	A
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			格納容器内水素濃度（SA）	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	（周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない）	—
			電磁的障害	（電磁波により機能が損なわれない）	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	中央制御室操作	A
			関連資料	58-3 配置図	
		第 3 号	試験・検査 （検査性，系統構成・外部入力）	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響 防止	系統設計	その他	A e
			その他（飛散物）	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	中央制御室操作	B	
		関連資料	58-3 配置図		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因 故障防止	環境条件，自然現象，外部人為事象，溢水，火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図，58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			格納容器雰囲気放射線モニタ（D/W）	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	（周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない）	—
			電磁的障害	（電磁波により機能が損なわれない）	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 （検査性，系統構成・外部入力）	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他（飛散物）	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件，自然現象，外部人為事象，溢水，火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図，58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			格納容器雰囲気放射線モニタ（S/C）	類型化区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	（周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない）	—
			電磁的障害	（電磁波により機能が損なわれない）	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 （検査性，系統構成・外部入力）	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他（飛散物）	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件，自然現象，外部人為事象，溢水，火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図，58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			起動領域計装	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉格納容器内	A
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他(飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			平均出力領域計装	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉格納容器内	A
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他(飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			フィルタ装置水位	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			フィルタ装置圧力	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			フィルタ装置スクラビング水温度	類型化区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			フィルタ装置出口放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	類型化 区分		
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件における健全性	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C
			海水	海水を通水しない	対象外	
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—	
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—	
			関連資料	58-3 配置図		
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外	
			関連資料	—		
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J	
			関連資料	58-5 試験検査		
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外	
	関連資料		58-4 系統図			
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e	
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外	
		関連資料	—			
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外		
		関連資料	—			
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A	
			関連資料	58-6 容量設定根拠		
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外	
			関連資料	—		
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a	
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a	
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図				

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			フィルタ装置出口放射線モニタ (高レンジ)	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度/ 屋外の天候/放射線/荷重	屋外	D
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋外	A b
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			フィルタ装置入口水素濃度	類型化区分		
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C	
			海水	海水を通水しない	対象外	
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—	
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—	
			関連資料	58-3 配置図		
		第 2 号	操作性	中央制御室操作	A	
			関連資料	58-3 配置図		
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J	
			関連資料	58-5 試験検査		
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外	
			関連資料	58-4 系統図		
		第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
	その他 (飛散物)			その他設備	対象外	
	関連資料		—			
	第 6 号	設置場所	中央制御室操作	B		
		関連資料	58-3 配置図			
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A	
			関連資料	58-6 容量設定根拠		
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外	
			関連資料	—		
		第 3 号	共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
				サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料		58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備		耐圧強化ベント系放射線モニタ		類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	屋外	D
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋外	A b
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			代替循環冷却系ポンプ入口温度	類型化区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			残留熱除去系熱交換器入口温度	類型化 区分		
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B	
			海水	海水を通水しない	対象外	
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—	
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—	
			関連資料	58-3 配置図		
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外	
			関連資料	—		
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J	
			関連資料	58-5 試験検査		
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外	
			関連資料	58-4 系統図		
		第 5 号	悪影響 防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
	その他(飛散物)			その他設備	対象外	
	関連資料		—			
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外		
		関連資料	—			
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B	
			関連資料	58-6 容量設定根拠		
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外	
			関連資料	—		
		第 3 号	共通要因 故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人 為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
				サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料		58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備		残留熱除去系熱交換器出口温度		類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他(飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			残留熱除去系海水系系統流量	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響 防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他(飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	共通要因 故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人 為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない
サポート系要因				異なる駆動源又は冷却源	B a
関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図				

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			緊急用海水系流量（残留熱除去系熱交換器）	類型化区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	（周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない）	—
			電磁的障害	（電磁波により機能が損なわれない）	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 （検査性，系統構成・外部入力）	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他（飛散物）	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件，自然現象，外部人為事象，溢水，火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図，58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			緊急用海水系流量（残留熱除去系補機）	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	（周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない）	—
			電磁的障害	（電磁波により機能が損なわれない）	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 （検査性，系統構成・外部入力）	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他（飛散物）	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件，自然現象，外部人為事象，溢水，火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図，58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			代替淡水貯槽水位	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			西側淡水貯水設備水位	類型化 区分		
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C	
			海水	海水を通水しない	対象外	
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—	
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—	
			関連資料	58-3 配置図		
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外	
			関連資料	—		
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J	
			関連資料	58-5 試験検査		
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外	
			関連資料	58-4 系統図		
		第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
	その他 (飛散物)			その他設備	対象外	
	関連資料		—			
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外		
		関連資料	—			
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A	
			関連資料	58-6 容量設定根拠		
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外	
			関連資料	—		
		第 3 号	共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
				サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料		58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			常設高圧代替注水系ポンプ吐出圧力	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備		常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力		類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			代替循環冷却系ポンプ吐出圧力	類型化区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響 防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他(飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因 故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人 為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			高圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他(飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			残留熱除去系ポンプ吐出圧力	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響 防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他(飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因 故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人 為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			低圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響 防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他(飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因 故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人 為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			原子炉建屋水素濃度	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
			サポート系要因	多様性を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備		静的触媒式水素再結合器動作監視装置		類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
			サポート系要因	多様性を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			格納容器内酸素濃度（SA）	類型化 区分		
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B	
			海水	海水を通水しない	対象外	
			周辺機器等からの悪影響	（周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない）	—	
			電磁的障害	（電磁波により機能が損なわれない）	—	
			関連資料	58-3 配置図		
		第 2 号	操作性	中央制御室操作	A	
			関連資料	58-3 配置図		
		第 3 号	試験・検査 （検査性，系統構成・外部入力）	計測制御設備	J	
			関連資料	58-5 試験検査		
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外	
			関連資料	58-4 系統図		
		第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
	その他（飛散物）			その他設備	対象外	
	関連資料		—			
	第 6 号	設置場所	中央制御室操作	B		
		関連資料	58-3 配置図			
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A	
			関連資料	58-6 容量設定根拠		
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外	
			関連資料	—		
		第 3 号	共通要因故障防止	環境条件，自然現象，外部人為事象，溢水，火災	屋内	A a
				サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料		58-2 単線結線図，58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			使用済燃料プール水位・温度（SA広域）	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響 防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他(飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因 故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人 為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
		関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図		

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			使用済燃料プール温度（SA）	類型化区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	（周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない）	—
			電磁的障害	（電磁波により機能が損なわれない）	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 （検査性，系統構成・外部入力）	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
			その他（飛散物）	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件，自然現象，外部人為事象，溢水，火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図，58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			使用済燃料プールエリア放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	類型化 区分		
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件における健全性	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水		海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響		(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害		(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料		58-3 配置図	
		第 2 号	操作性		操作不要	対象外
			関連資料		—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)		計測制御設備	J
			関連資料		58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性		本来の用途として使用する	対象外
	関連資料			58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計		その他	A e
			その他 (飛散物)		その他設備	対象外
		関連資料		—		
	第 6 号	設置場所		操作不要	対象外	
		関連資料		—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量		重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料		58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止		共用しない設備	対象外
			関連資料		—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災		屋内	A a
			サポート系要因		異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料		58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			使用済燃料プール監視カメラ	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟内	B
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要	対象外
			関連資料	—	
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響 防止	系統設計	その他	A e
			その他 (飛散物)	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要	対象外	
		関連資料	—		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因 故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置	類型化 区分		
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C	
			海水	海水を通水しない	対象外	
			周辺機器等からの悪影響	(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—	
			電磁的障害	(電磁波により機能が損なわれない)	—	
			関連資料	58-3 配置図		
		第 2 号	操作性	中央制御室操作	A	
			関連資料	58-3 配置図		
		第 3 号	試験・検査 (検査性, 系統構成・外部入力)	計測制御設備	J	
			関連資料	58-5 試験検査		
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外	
			関連資料	58-4 系統図		
		第 5 号	悪影響防止	系統設計	その他	A e
	その他 (飛散物)			その他設備	対象外	
	関連資料		—			
	第 6 号	設置場所	中央制御室操作	B		
		関連資料	58-3 配置図			
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	重大事故等への対処を本来の目的として設置するもの	A	
			関連資料	58-6 容量設定根拠		
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外	
			関連資料	—		
		第 3 号	共通要因故障防止	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	屋内	A a
				サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料		58-2 単線結線図, 58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（常設）

第 58 条：計装設備			安全パラメータ表示システム（SPDS） （データ伝送装置，緊急時対策支援システム伝送装置，SPDSデータ表示装置）	類型化 区分	
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境温度・環境圧力・湿度/ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C
			海水	海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響	（周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない）	—
			電磁的障害	（電磁波により機能が損なわれない）	—
			関連資料	58-3 配置図	
		第 2 号	操作性	操作不要（SPDSデータ表示装置を除く） 現場操作（緊急時対策所，SPDSデータ表示装置） スイッチ操作	対象外 B d
			関連資料	58-3 配置図	
		第 3 号	試験・検査 （検査性，系統構成・外部入力）	通信連絡設備	L
			関連資料	58-5 試験検査	
		第 4 号	切替性	本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		58-4 系統図		
	第 5 号	悪影響防止	系統設計	DB施設と同じ系統構成	A d
			その他（飛散物）	その他設備	対象外
		関連資料	—		
	第 6 号	設置場所	操作不要（SPDSデータ表示装置を除く） 現場操作（緊急時対策所，SPDSデータ表示装置）	対象外 A a	
		関連資料	58-3 配置図		
	第 2 項	第 1 号	常設 SA の容量	設計基準対象施設の系統及び機器を使用するもの 必要な容量等に対して十分であるもの	B
			関連資料	58-6 容量設定根拠	
		第 2 号	共用の禁止	共用しない設備	対象外
			関連資料	—	
第 3 号		共通要因故障防止	環境条件，自然現象，外部人為事象，溢水，火災	位置的分散を考慮すべき DB 設備等がない	対象外
			サポート系要因	異なる駆動源又は冷却源	B a
	関連資料	58-2 単線結線図，58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（可搬）

第 58 条：計装設備		データ表示装置		類型化 区分		
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件における健全性	環境温度・環境圧力・湿度／ 屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C
			海水		海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響		(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害		(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料		58-3 配置図	
		第 2 号	操作性		中央制御室操作（接続作業）	A
		関連資料		58-3 配置図		
		第 3 号	試験・検査 (検査性，系統構成・外部入力)		通信連絡設備	L
		関連資料		58-5 試験検査		
		第 4 号	切替性		本来の用途として使用する	対象外
		関連資料		58-4 系統図		
		第 5 号	悪影響防止	系統設計		通常待機時は隔離又は分離
	その他（飛散物）				その他設備	対象外
	関連資料			—		
	第 6 号	設置場所		中央制御室操作	B	
	関連資料		58-3 配置図			
	第 3 項	第 1 号	可搬 SA の容量		その他設備	C
			関連資料		—	
		第 2 号	可搬 SA の接続性		簡便な接続規格による接続	C
			関連資料		—	
		第 3 号	異なる複数の接続箇所の確保		原子炉建屋の外から水又は電力を供給しない設備	対象外
			関連資料		—	
		第 4 号	設置場所		(放射線量の高くなるおそれの少ない場所を選定)	—
			関連資料		58-3 配置図	
第 5 号		保管場所		屋内	A a	
		関連資料		58-3 配置図		
第 6 号		アクセスルート		屋内	A	
		関連資料		58-3 配置図		
第 7 号	故障共通防止	環境条件，自然現象，外部人為事象，溢水，火災		位置的分散を考慮すべき D B 設備等がない	対象外	
		サポート系要因		異なる駆動源又は冷却源	B a	
	関連資料		58-3 配置図			

東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（可搬）

第 58 条：計装設備			可搬型計測器（原子炉压力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量（注水量）計測用）	類型化区分		
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件における健全性	環境温度・環境圧力・湿度／屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C
			海水		海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響		(周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない)	—
			電磁的障害		(電磁波により機能が損なわれない)	—
			関連資料		58-3 配置図	
		第 2 号	操作性		中央制御室操作（接続作業）	A
		関連資料		58-3 配置図		
		第 3 号	試験・検査 (検査性、系統構成・外部入力)		計測制御設備	J
		関連資料		58-5 試験検査		
		第 4 号	切替性		本来の用途として使用する	対象外
		関連資料		—		
		第 5 号	悪影響防止	系統設計		通常待機時は隔離又は分離
	その他（飛散物）				その他設備	対象外
	関連資料			—		
	第 6 号	設置場所		中央制御室操作	B	
	関連資料		58-3 配置図			
	第 3 項	第 1 号	可搬 SA の容量		その他設備	C
			関連資料		58-8 可搬型計測器について	
		第 2 号	可搬 SA の接続性		ボルト・ネジ接続	A
			関連資料		58-8 可搬型計測器について	
		第 3 号	異なる複数の接続箇所の確保		原子炉建屋の外から水又は電力を供給しない設備	対象外
			関連資料		—	
		第 4 号	設置場所		(放射線量の高くなるおそれの少ない場所を選定)	—
			関連資料		58-3 配置図, 58-8 可搬型計測器について	
第 5 号		保管場所		屋内	A a	
		関連資料		58-3 配置図		
第 6 号		アクセスルート		屋内, 屋外	A, B	
		関連資料		58-3 配置図, 58-8 可搬型計測器について		
第 7 号	故障防止	共通要因	環境条件, 自然現象, 外部人為事象, 溢水, 火災	位置的分散を考慮すべき D B 設備等がない	対象外	
		サポート系要因		多様性を考慮すべき D B 設備等がない	対象外	
	関連資料		58-3 配置図			

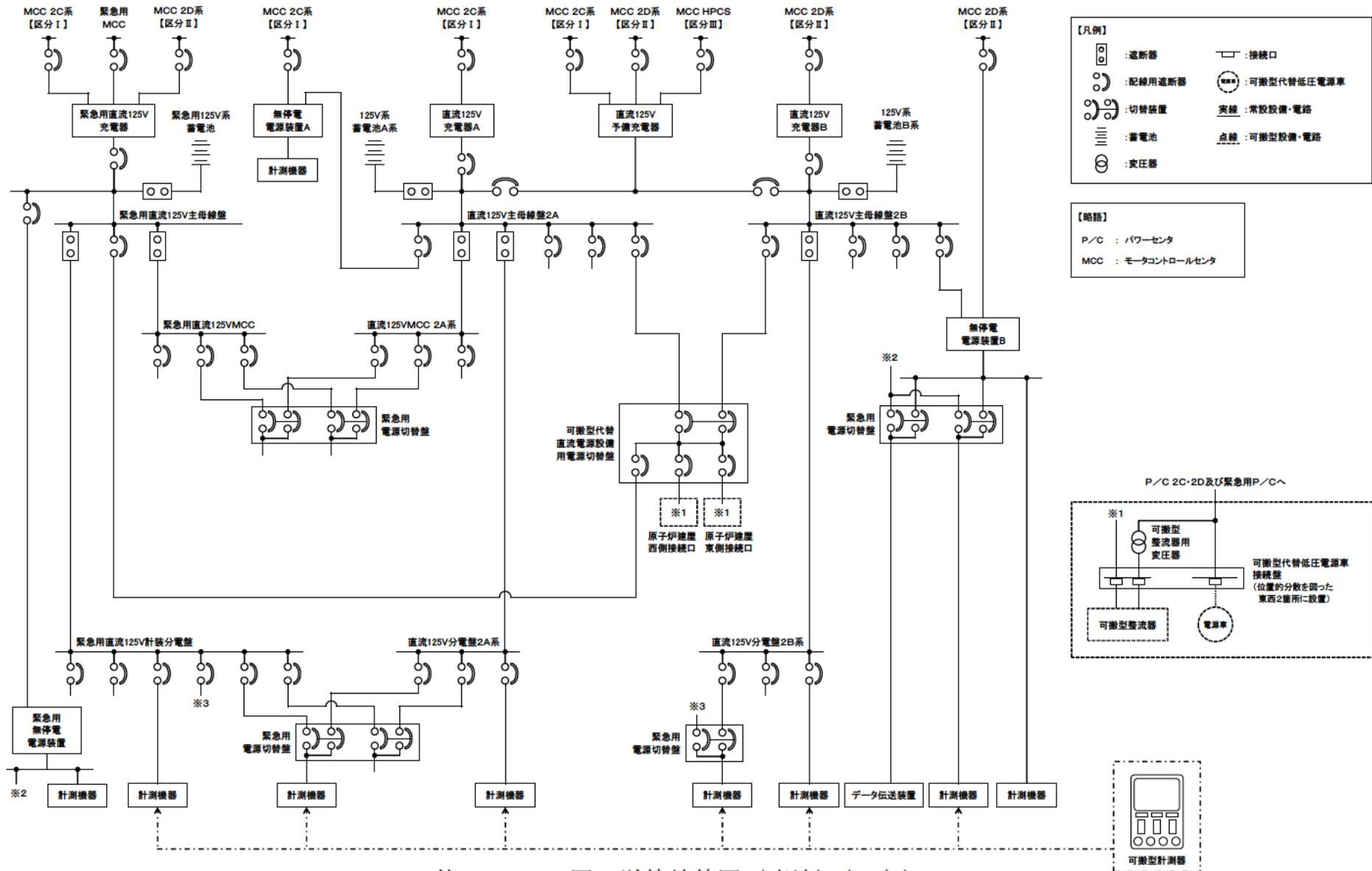
東海第二発電所 SA設備基準適合性 一覧表（可搬）

第 58 条：計装設備		可搬型計測器（原子炉压力容器及び原子炉格納容器内の圧力、水位及び流量（注水量）計測用）		類型化区分		
第 43 条	第 1 項	第 1 号	環境条件における健全性	環境温度・環境圧力・湿度／屋外の天候／放射線／荷重	原子炉建屋原子炉棟外及びその他の建屋内	C
			海水		海水を通水しない	対象外
			周辺機器等からの悪影響		（周辺機器等からの悪影響により機能を失うおそれがない）	—
			電磁的障害		（電磁波により機能が損なわれない）	—
			関連資料		58-3 配置図	
		第 2 号	操作性		中央制御室操作（接続作業）	A
		関連資料		58-3 配置図		
		第 3 号	試験・検査 （検査性、系統構成・外部入力）		計測制御設備	J
		関連資料		58-5 試験検査		
		第 4 号	切替性		本来の用途として使用する	対象外
	関連資料		—			
	第 5 号	悪影響防止	系統設計		通常待機時は隔離又は分離	A b
			その他（飛散物）		その他設備	対象外
			関連資料		—	
	第 6 号	設置場所		中央制御室操作	B	
	関連資料		58-3 配置図			
	第 3 項	第 1 号	可搬 SA の容量		その他設備	C
			関連資料		58-8 可搬型計測器について	
		第 2 号	可搬 SA の接続性		ボルト・ネジ接続	A
			関連資料		58-8 可搬型計測器について	
第 3 号		異なる複数の接続箇所の確保		原子炉建屋の外から水又は電力を供給しない設備	対象外	
		関連資料		—		
第 4 号		設置場所		（放射線量の高くなるおそれの少ない場所を選定）	—	
		関連資料		58-3 配置図，58-8 可搬型計測器について		
第 5 号		保管場所		屋内	A a	
		関連資料		58-3 配置図		
第 6 号		アクセスルート		屋内，屋外	A，B	
		関連資料		58-3 配置図，58-8 可搬型計測器について		
第 7 号		故障防止 共通要因	環境条件，自然現象，外部人為事象，溢水，火災		位置的分散を考慮すべき D B 設備等がない	対象外
	サポート系要因			多様性を考慮すべき D B 設備等がない	対象外	
	関連資料			58-3 配置図		

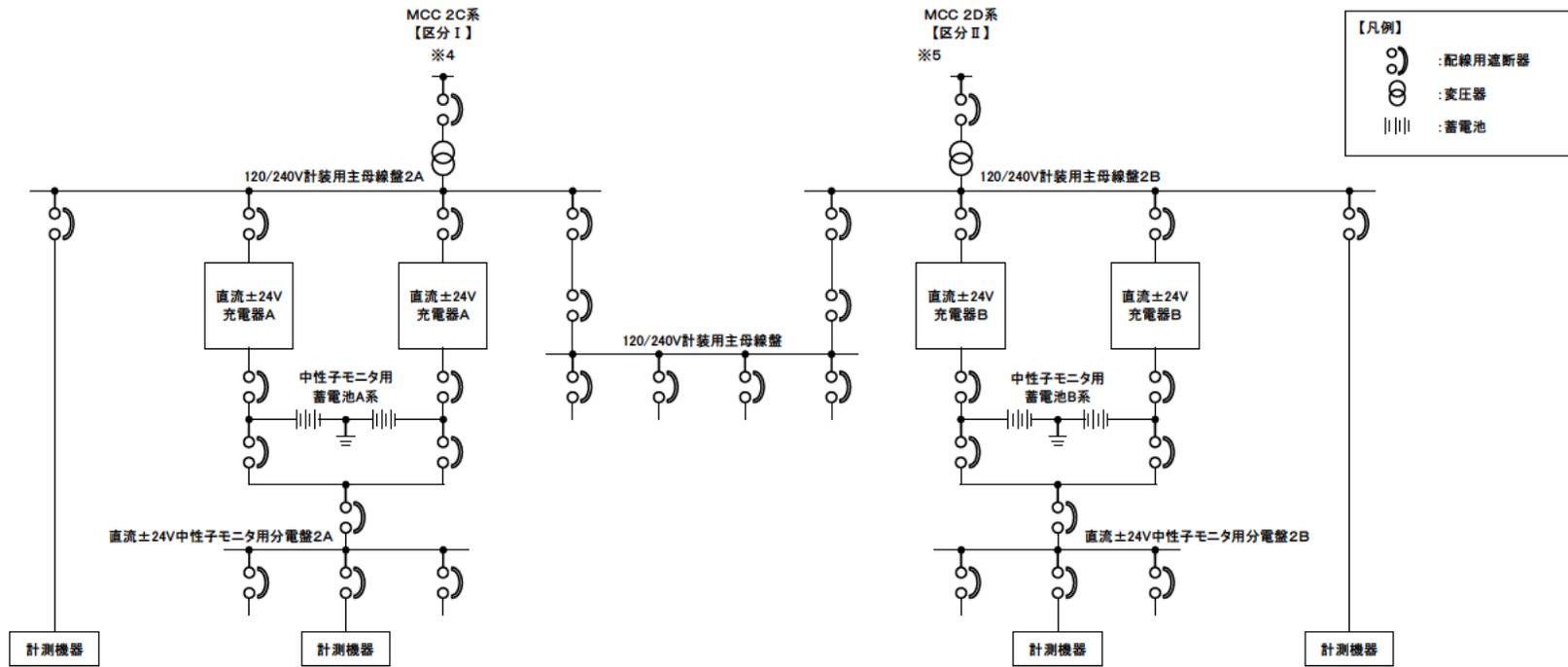
58-2

単線結線図

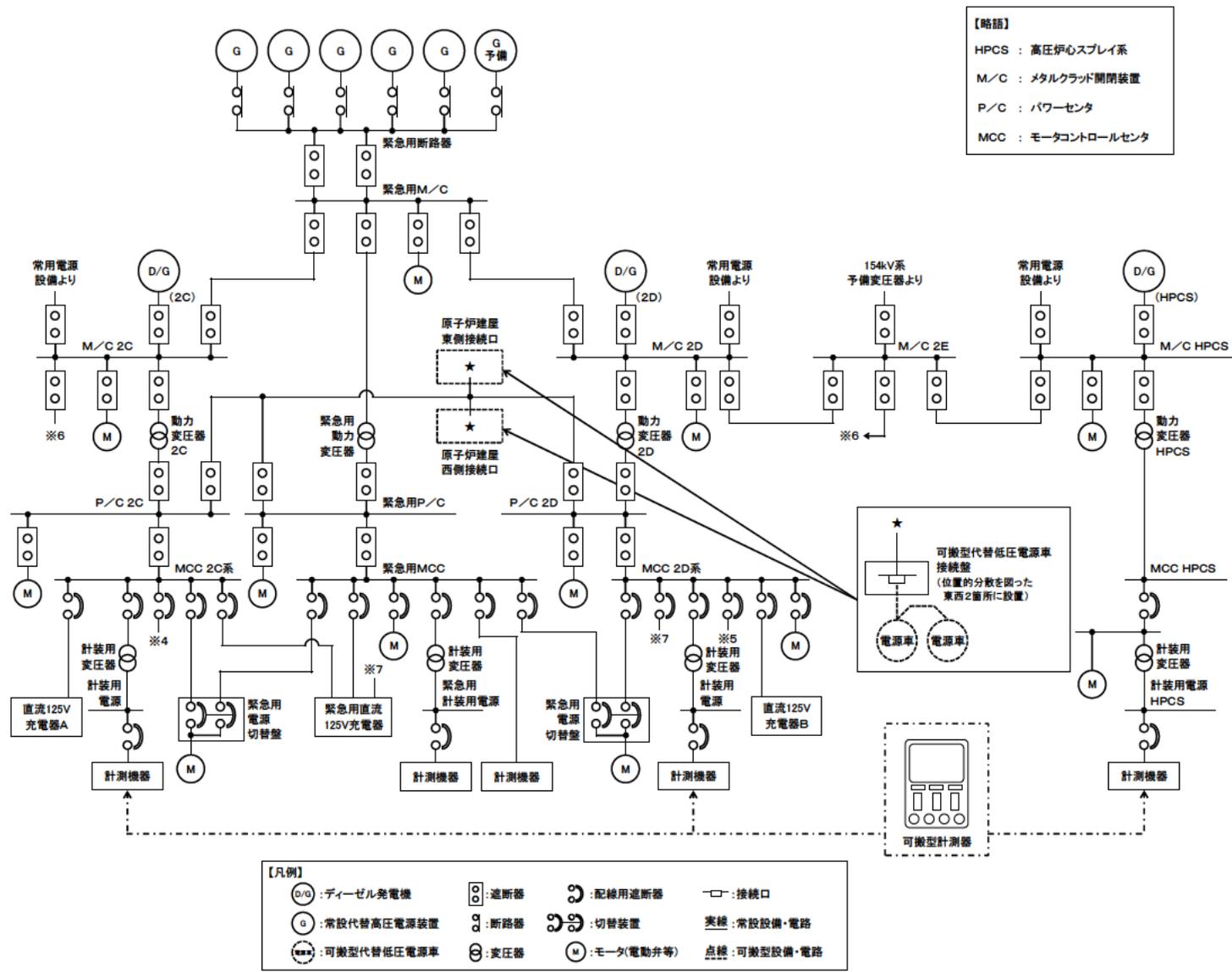
58-2-1



第 58-2-1 図 単線結線図 (直流) (1/3)



第 58-2-2 図 単線結線図（交流）（2/3）



第 58-2-3 図 単線結線図 (交流) (3/3)

58—3

配置図

第 58-3-1 表 配置図一覧表 (1/3)

主要設備	設置場所	図番号
原子炉圧力容器温度	原子炉格納容器内	第 58-3-5, 6 図
原子炉圧力	原子炉建屋原子炉棟 3 階	第 58-3-5 図
原子炉圧力 (S A)	原子炉建屋原子炉棟 3 階	第 58-3-5 図
原子炉水位 (広帯域)	原子炉建屋原子炉棟 3 階	第 58-3-5 図
原子炉水位 (燃料域)	原子炉建屋原子炉棟 2 階	第 58-3-4 図
原子炉水位 (S A 広帯域)	原子炉建屋原子炉棟 3 階	第 58-3-5 図
原子炉水位 (S A 燃料域)	原子炉建屋原子炉棟 2 階	第 58-3-4 図
高压代替注水系系統流量	原子炉建屋原子炉棟地下 2 階	第 58-3-1 図
低压代替注水系原子炉注水流量	原子炉建屋原子炉棟 2 階	第 58-3-4 図
	原子炉建屋原子炉棟 3 階	第 58-3-5 図
代替循環冷却系原子炉注水流量	原子炉建屋原子炉棟地下 2 階	第 58-3-1 図
	原子炉建屋原子炉棟 2 階	第 58-3-4 図
原子炉隔離時冷却系系統流量	原子炉建屋原子炉棟地下 2 階	第 58-3-1 図
高压炉心スプレイ系系統流量	原子炉建屋原子炉棟地下 1 階	第 58-3-2 図
残留熱除去系系統流量	原子炉建屋原子炉棟地下 1 階	第 58-3-2 図
低压炉心スプレイ系系統流量	原子炉建屋原子炉棟地下 1 階	第 58-3-2 図
低压代替注水系格納容器スプレイ流量	原子炉建屋原子炉棟地下 1 階	第 58-3-2 図
	原子炉建屋原子炉棟 3 階	第 58-3-5 図
低压代替注水系格納容器下部注水流量	原子炉建屋原子炉棟 3 階	第 58-3-5 図
代替循環冷却系格納容器スプレイ流量	原子炉建屋原子炉棟地下 2 階	第 58-3-1 図
ドライウエル雰囲気温度	原子炉格納容器内	第 58-3-4, 6 図
サブプレッション・チェンバ雰囲気温度	原子炉格納容器内	第 58-3-3 図
サブプレッション・プール水温度	原子炉格納容器内	第 58-3-1, 2 図
格納容器下部水温	原子炉格納容器内	第 58-3-3 図
ドライウエル圧力	原子炉建屋原子炉棟 4 階	第 58-3-6 図
サブプレッション・チェンバ圧力	原子炉建屋原子炉棟 1 階	第 58-3-3 図
サブプレッション・プール水位	原子炉建屋原子炉棟地下 2 階	第 58-3-1 図
格納容器下部水位	原子炉格納容器内	第 58-3-3, 4 図
格納容器内水素濃度 (S A)	原子炉建屋原子炉棟 3 階	第 58-3-5 図
格納容器雰囲気放射線モニタ (D/W)	原子炉建屋原子炉棟 3 階	第 58-3-5 図
格納容器雰囲気放射線モニタ (S/C)	原子炉建屋原子炉棟地下 1 階	第 58-3-2 図
起動領域計装	原子炉格納容器内	第 58-3-11 図
平均出力領域計装	原子炉格納容器内	第 58-3-11 図
フィルタ装置水位	格納容器圧力逃がし装置格納槽内	第 58-3-12 図
フィルタ装置圧力	格納容器圧力逃がし装置格納槽内	第 58-3-12 図

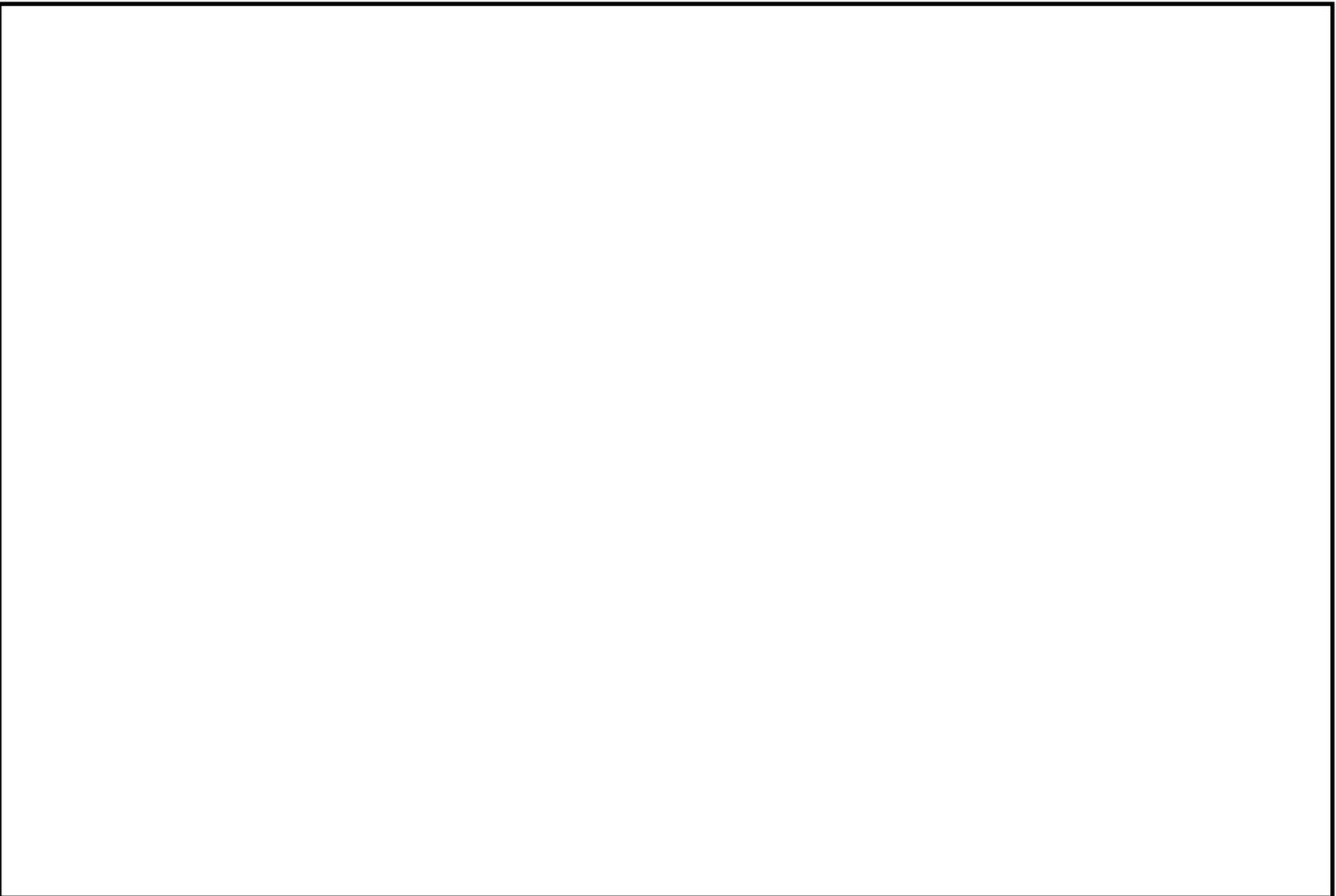
第 58-3-1 表 配置図一覧表 (2/3)

主要設備	設置場所	図番号
フィルタ装置スクラビング水温度	格納容器圧力逃がし装置格納槽内	第 58-3-12 図
フィルタ装置出口放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	原子炉建屋廃棄物処理棟 1 階	第 58-3-9 図
フィルタ装置出口放射線モニタ (高レンジ)	屋外 (原子炉建屋南側外壁面)	第 58-3-12 図
フィルタ装置入口水素濃度	原子炉建屋廃棄物処理棟 3 階	第 58-3-10 図
耐圧強化ベント系放射線モニタ	屋外 (原子炉建屋東側外壁面)	第 58-3-12 図
代替循環冷却系ポンプ入口温度	原子炉建屋原子炉棟地下 2 階	第 58-3-1 図
残留熱除去系熱交換器入口温度	原子炉建屋原子炉棟 1 階	第 58-3-3 図
残留熱除去系熱交換器出口温度	原子炉建屋原子炉棟地下 1 階	第 58-3-2 図
残留熱除去系海水系系統流量	原子炉建屋廃棄物処理棟地下 1 階	第 58-3-8 図
緊急用海水系流量 (残留熱除去系熱交換器)	原子炉建屋廃棄物処理棟地下 1 階	第 58-3-8 図
緊急用海水系流量 (残留熱除去系補機)	原子炉建屋廃棄物処理棟地下 1 階	第 58-3-8 図
代替淡水貯槽水位	常設低圧代替注水系格納槽内	第 58-3-12 図
西側淡水貯水設備水位	常設代替高圧電源装置置場 (地下)	第 58-3-12 図
常設高圧代替注水系ポンプ吐出圧力	原子炉建屋原子炉棟地下 1 階	第 58-3-2 図
常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力	常設低圧代替注水系格納槽内	第 58-3-12 図
代替循環冷却系ポンプ吐出圧力	原子炉建屋原子炉棟地下 2 階	第 58-3-1 図
原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力	原子炉建屋原子炉棟地下 1 階	第 58-3-2 図
高圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力	原子炉建屋原子炉棟地下 1 階	第 58-3-2 図
残留熱除去系ポンプ吐出圧力	原子炉建屋原子炉棟地下 1 階	第 58-3-2 図
低圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力	原子炉建屋原子炉棟地下 1 階	第 58-3-2 図
原子炉建屋水素濃度	原子炉建屋原子炉棟地下 1 階	第 58-3-2 図
	原子炉建屋原子炉棟 2 階	第 58-3-4 図
	原子炉建屋原子炉棟 6 階	第 58-3-7 図
静的触媒式水素再結合器動作監視装置	原子炉建屋原子炉棟 6 階	第 58-3-7 図
格納容器内酸素濃度 (SA)	原子炉建屋原子炉棟 3 階	第 58-3-5 図
使用済燃料プール水位・温度 (SA 広域)	原子炉建屋原子炉棟 6 階	第 58-3-7 図
使用済燃料プール温度 (SA)	原子炉建屋原子炉棟 6 階	第 58-3-7 図
使用済燃料プールエリア放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	原子炉建屋原子炉棟 6 階	第 58-3-7 図
使用済燃料プール監視カメラ	原子炉建屋原子炉棟 6 階	第 58-3-7 図
使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置	原子炉建屋付属棟 4 階	第 58-3-14 図

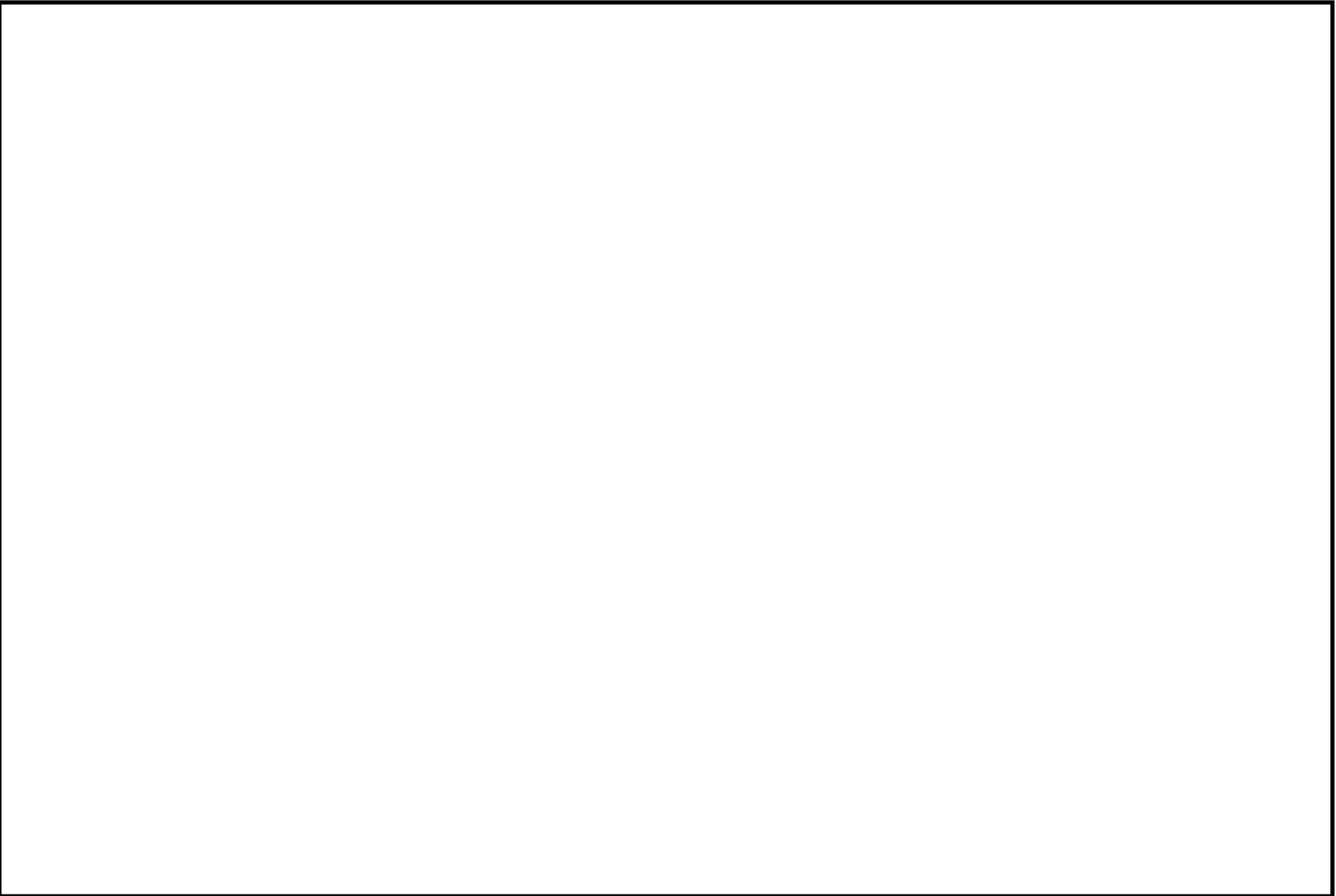
第 58-3-1 表 配置図一覧表 (3/3)

主要設備		設置場所	図番号
安全パラメータ表示システム (SPDS)	データ伝送装置	原子炉建屋附属棟 3 階	第 58-3-13 図
	緊急時対策支援システム伝送装置	緊急時対策所建屋 2 階	第 58-3-15 図
	SPDS データ表示装置	緊急時対策所	第 58-3-15 図
データ表示装置		原子炉建屋附属棟 3 階	第 58-3-13 図
		緊急時対策所建屋 2 階	第 58-3-15 図
可搬型計測器 ^{※1}		原子炉建屋附属棟 3 階	第 58-3-13 図
		緊急時対策所建屋 2 階	第 58-3-15 図

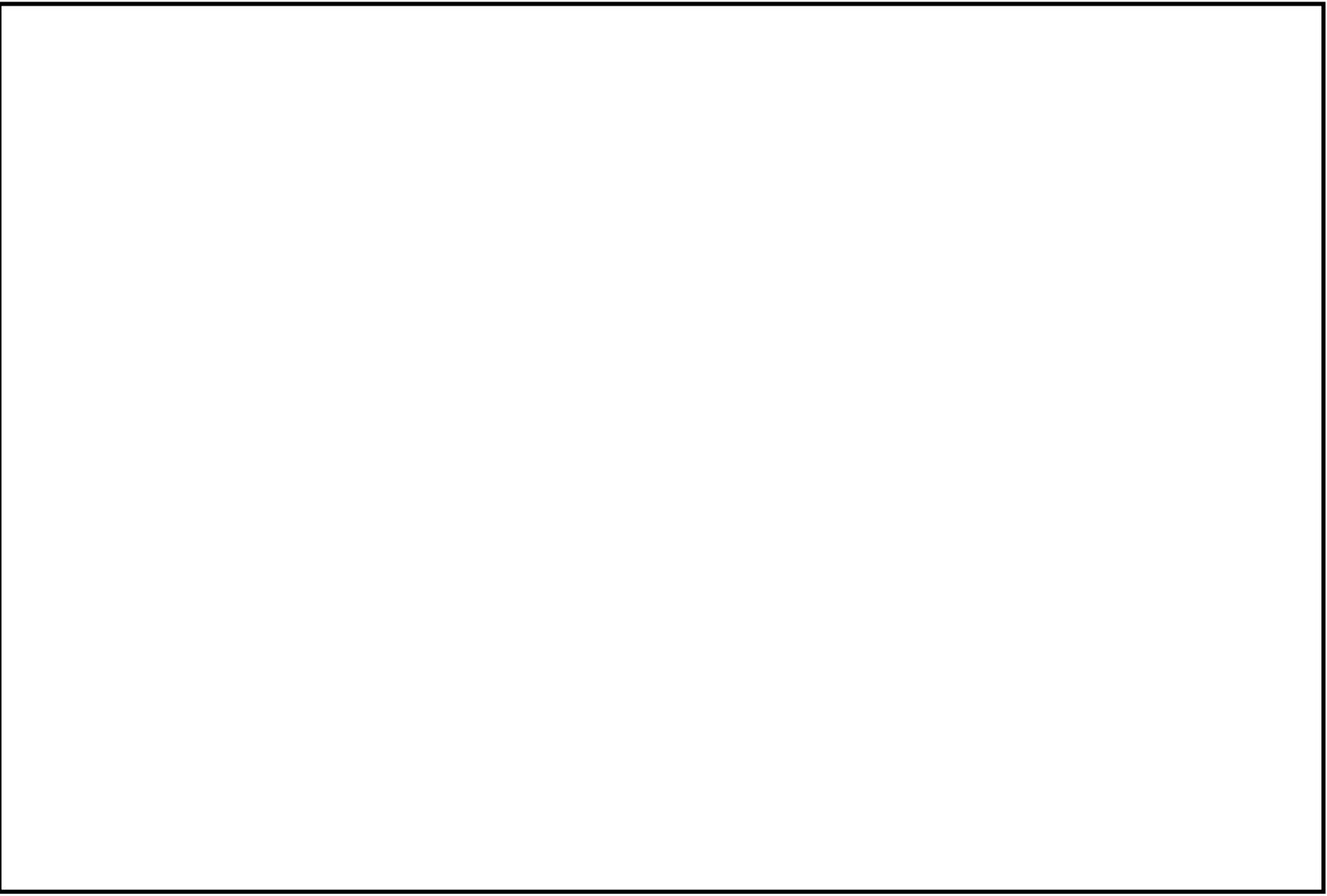
※1: 可搬型計測器とは、「原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量（注水量）計測用」及び「原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の圧力、水位及び流量（注水量）計測用」を指す。



第 58—3—1 図 機器配置図 (原子炉建屋原子炉棟地下 2 階)



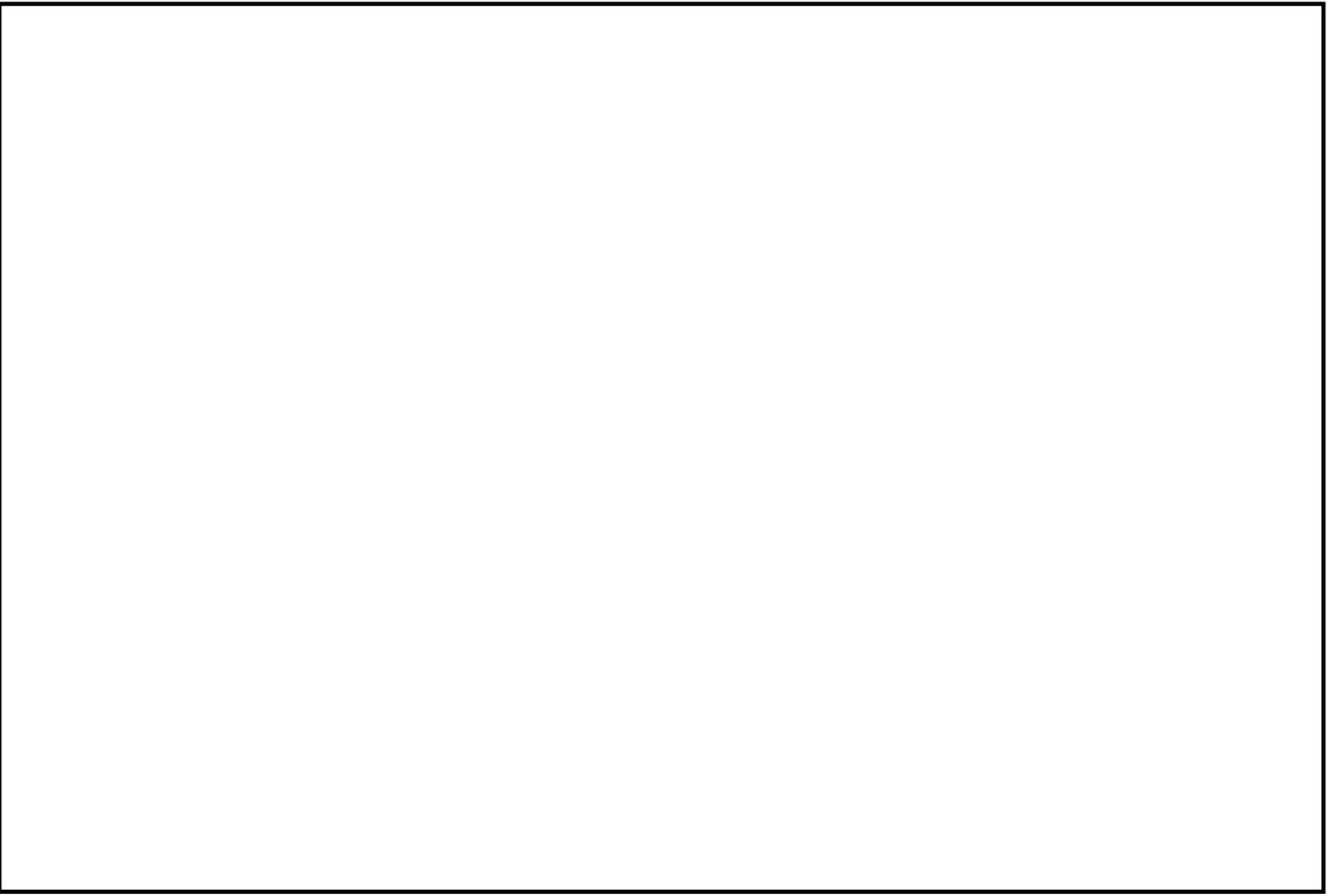
第 58—3—2 圖 機器配置圖 (原子炉建屋原子炉棟地下 1 階)



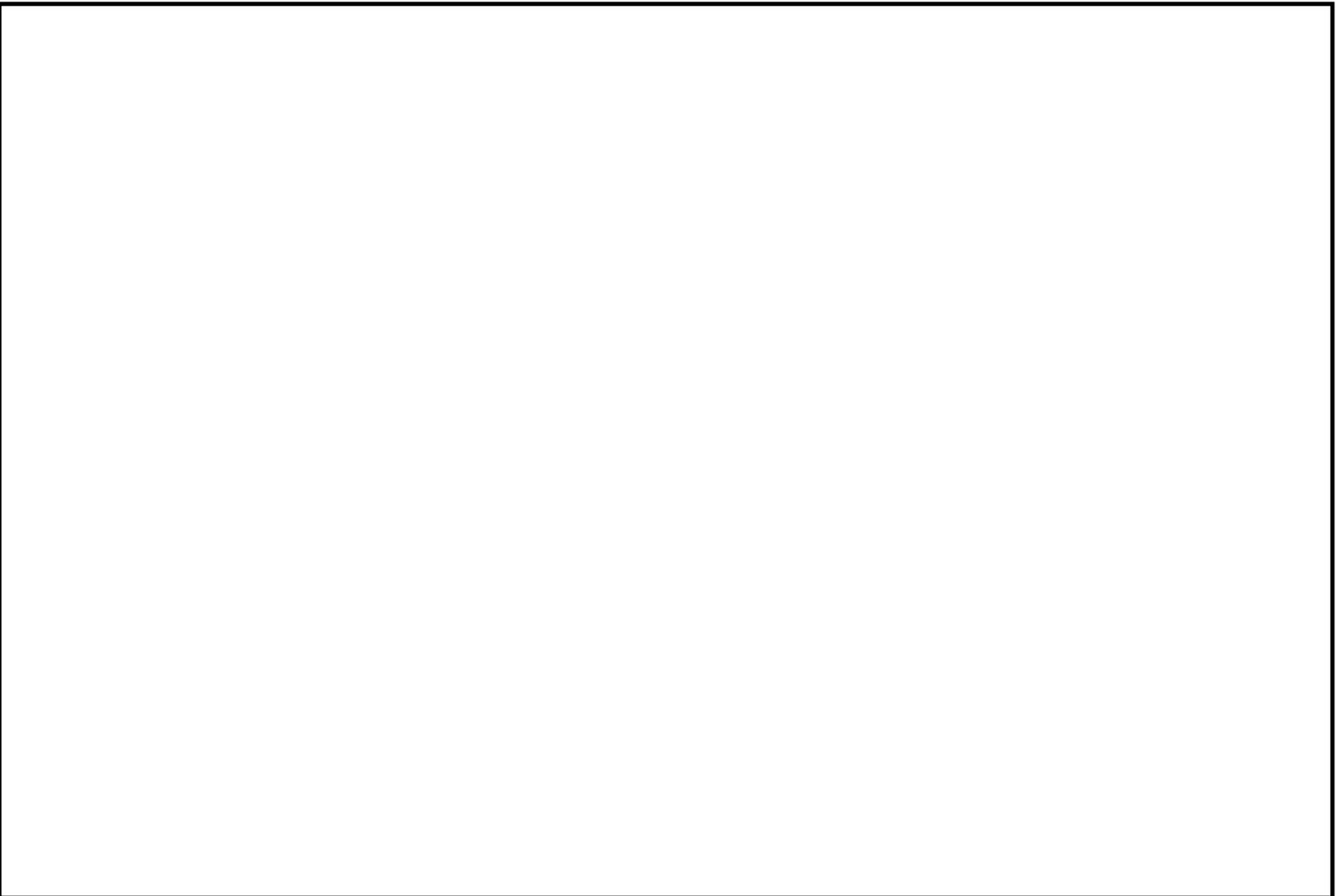
第 58-3-3 図 機器配置図 (原子炉建屋原子炉棟 1 階)



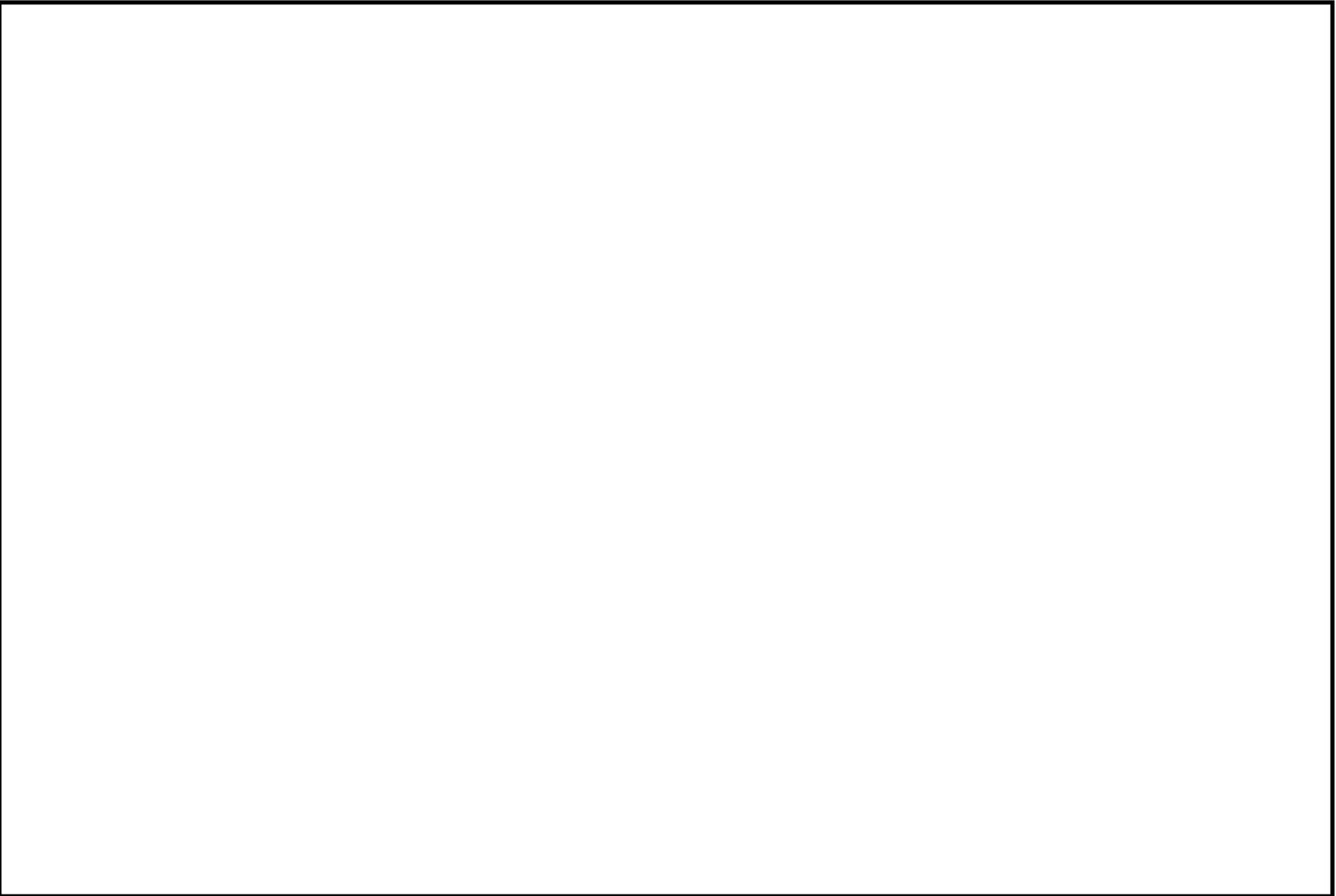
第 58-3-4 図 機器配置図 (原子炉建屋原子炉棟 2 階)



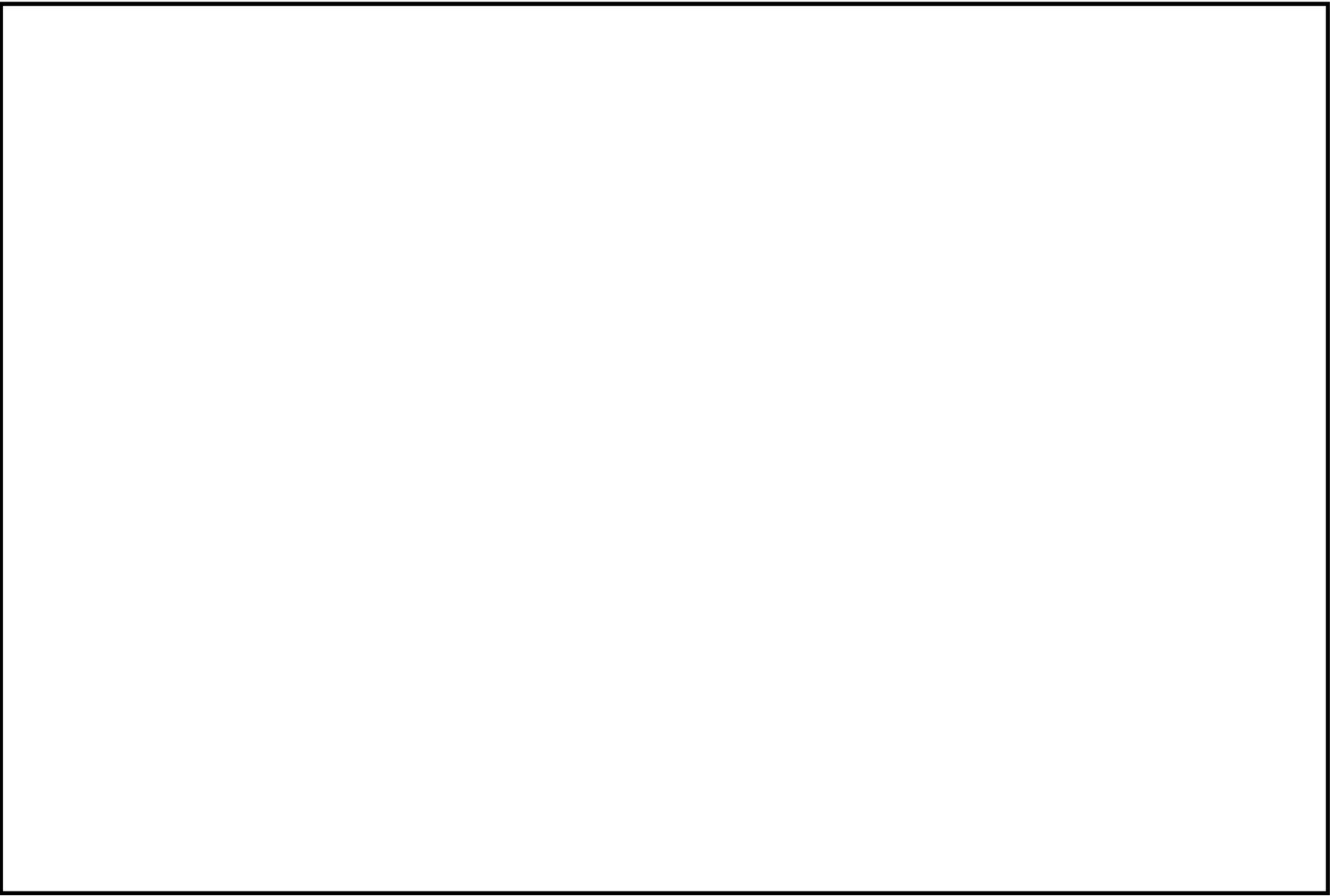
第 58—3—5 図 機器配置図 (原子炉建屋原子炉棟 3 階)



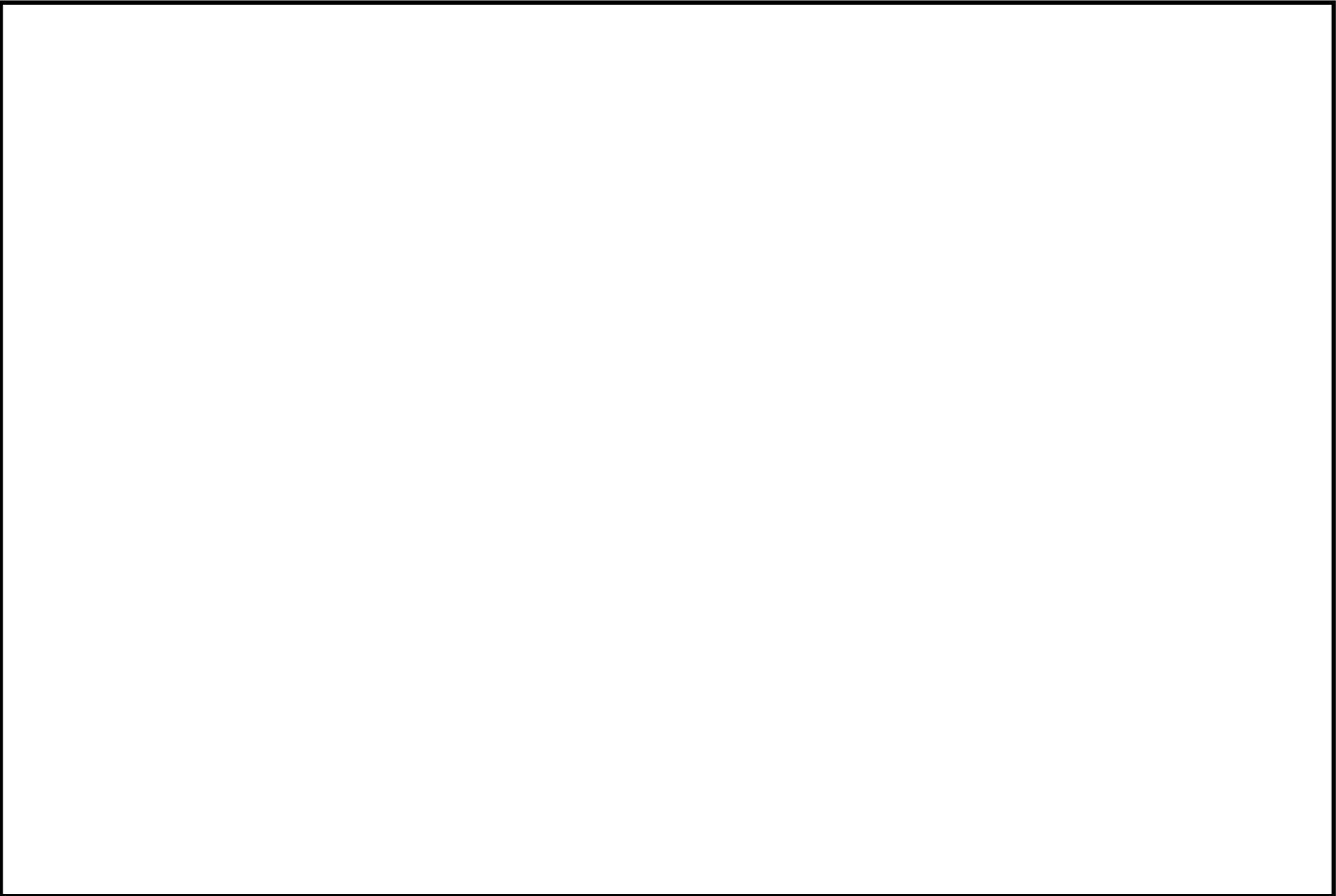
第 58—3—6 図 機器配置図 (原子炉建屋原子炉棟 4 階)



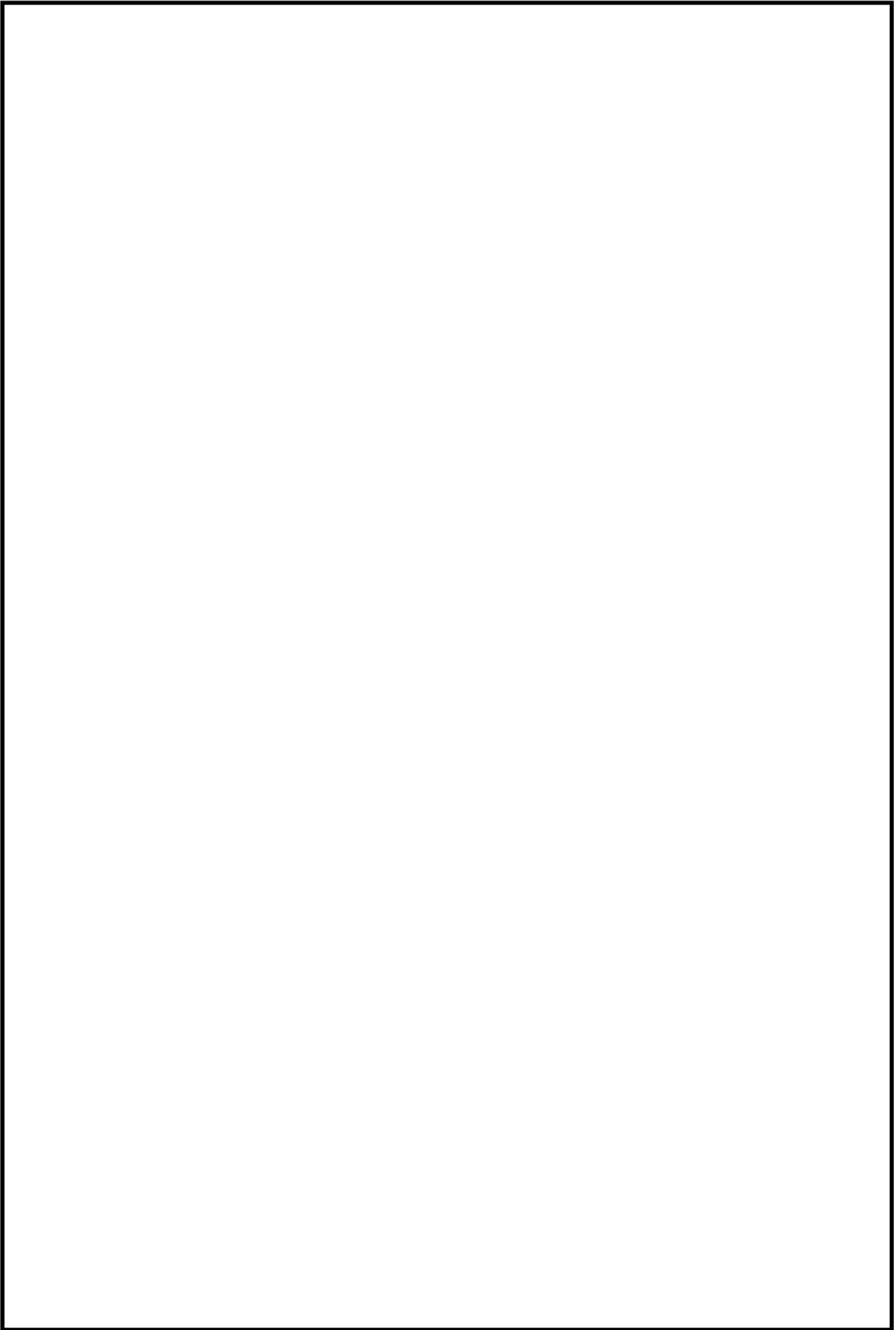
第 58—3—7 図 機器配置図 (原子炉建屋原子炉棟 6 階)



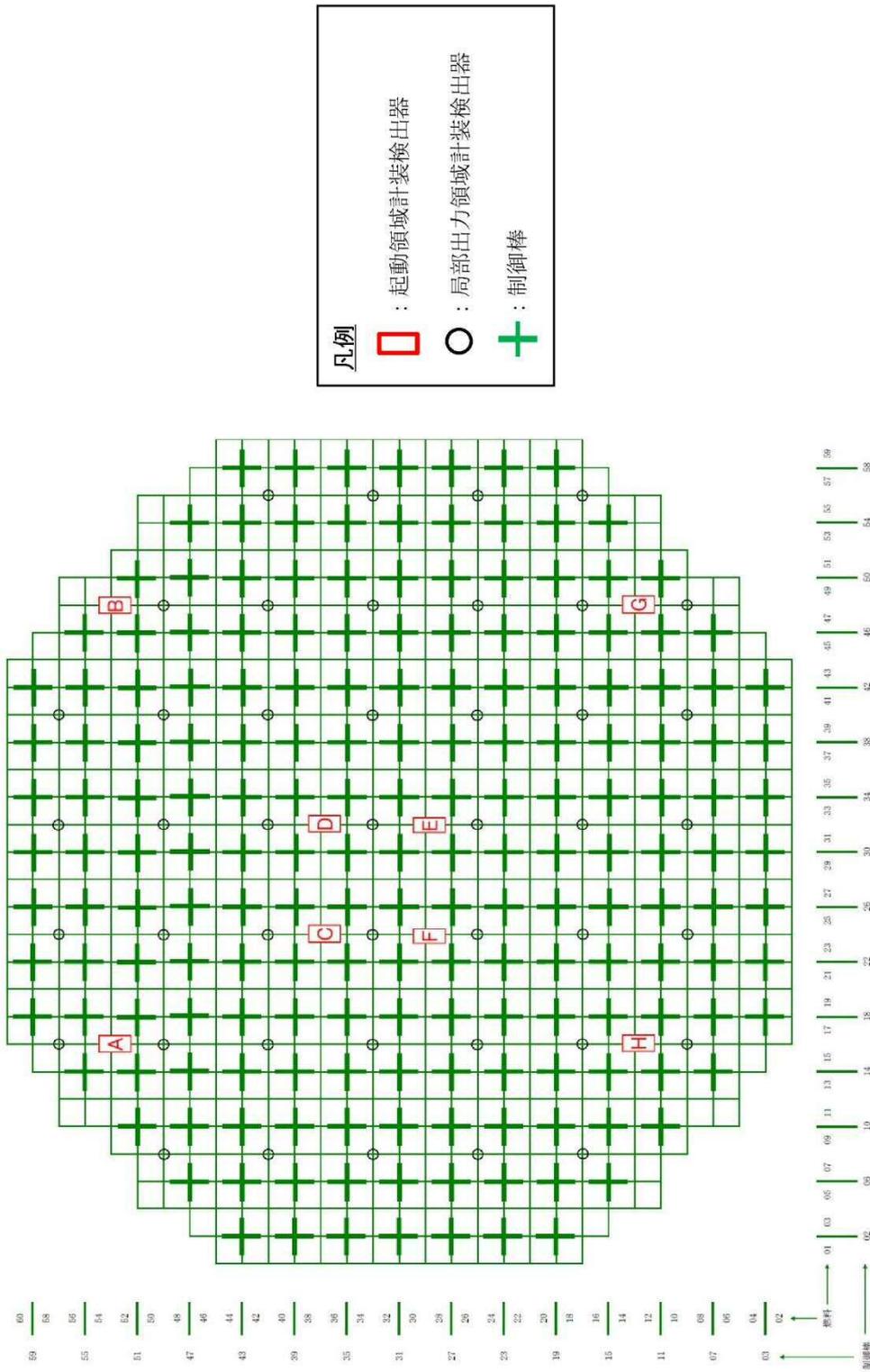
第 58—3—8 图 機器配置图 (原子炉建屋廢棄物处理棟地下 1 階)



第 58—3—9 图 機器配置图 (原子炉建屋廃棄物処理棟 1 階)

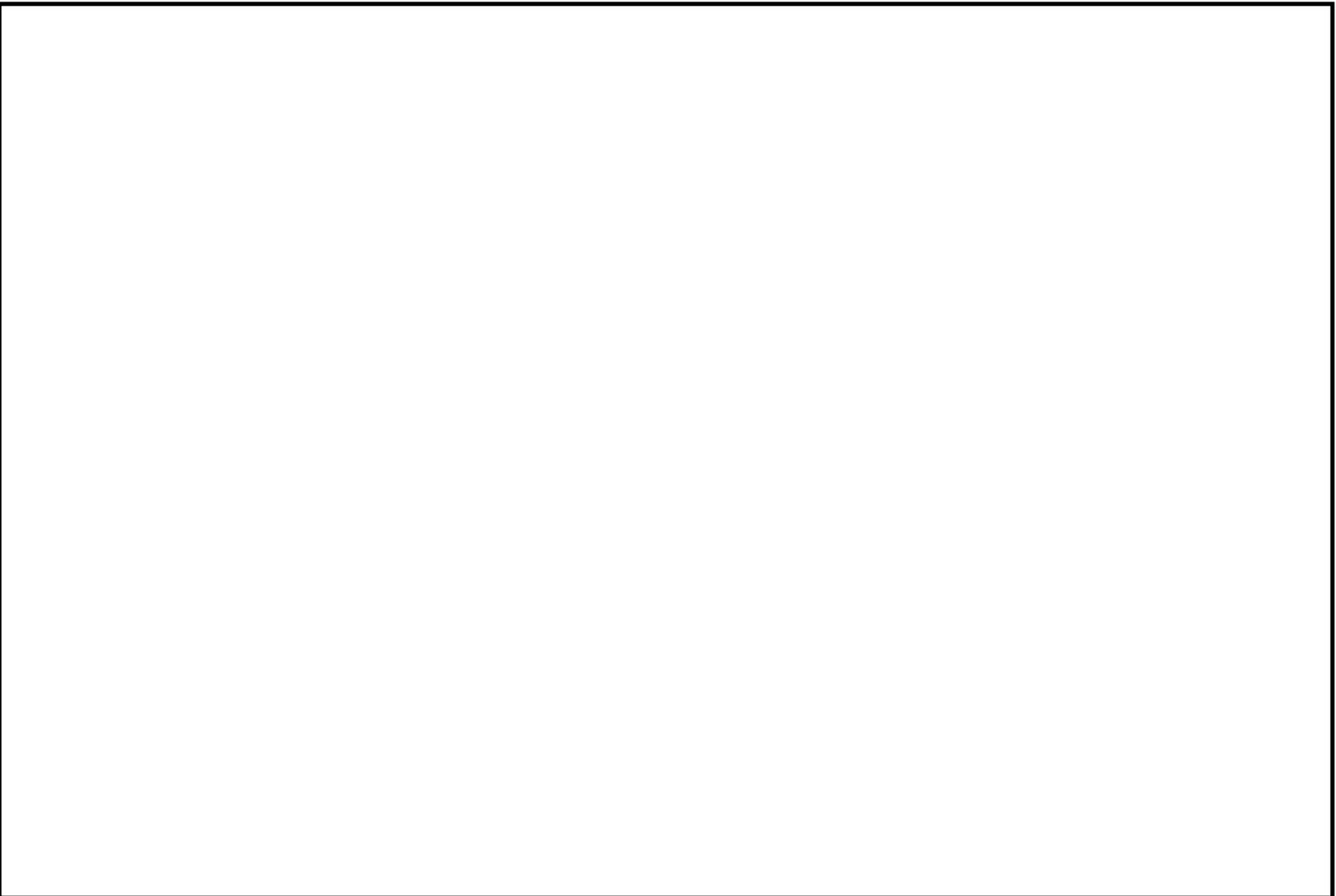


第 58-3-10 図 機器配置図（原子炉建屋廃棄物処理棟 3 階）



※平均出力領域計装は、あらかじめグループ分けした局部出力領域計装の各増幅器からの出力信号を平均化する機能で、2チャンネル設ける。

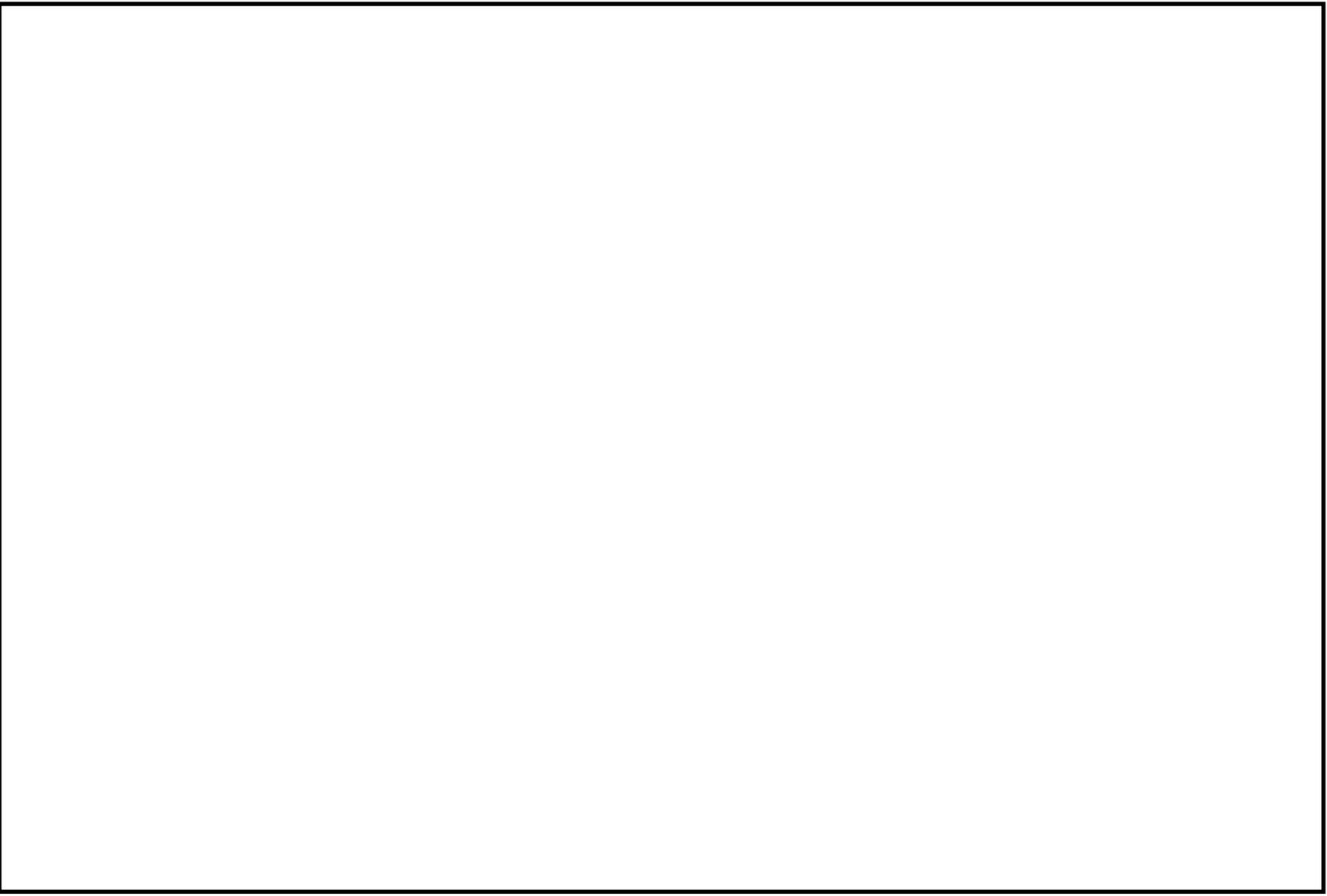
第 58-3-11 機器配置図 (核計装配置図)



第 58—3—12 図 機器配置図 (その他の建屋, 屋外)

・ 配備又は保管場所については、訓練等を通じて見直しを行う。

第 58—3—13 図 機器配置図 (原子炉建屋付属棟 3 階)



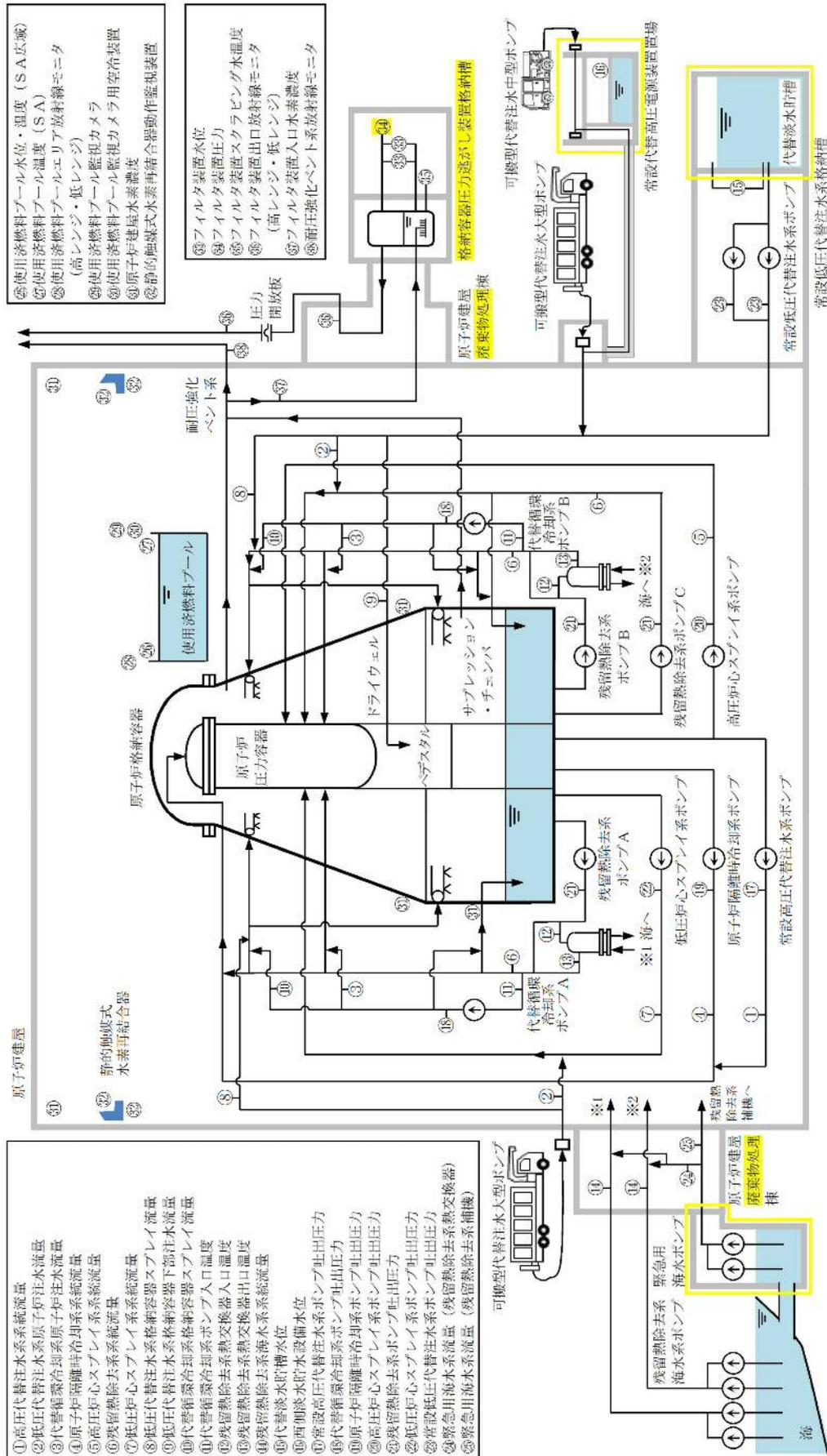
第 58—3—14 図 機器配置図 (原子炉建屋付属棟 4 階)

・ 配備又は保管場所については、訓練等を通じて見直しを行う。

第 58—3—15 図 機器配置図（緊急時対策所建屋 2 階）

58-4

系統図



- ⑤ 使用済燃料プール水位・温度 (SA広減)
- ⑥ 使用済燃料プール温度 (SA)
- ⑦ 使用済燃料プールエリア放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)
- ⑧ 使用済燃料プール監視カメラ
- ⑨ 使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置
- ⑩ 原子炉建屋水素濃度
- ⑪ 静的触媒式水素再結合器動作監視装置

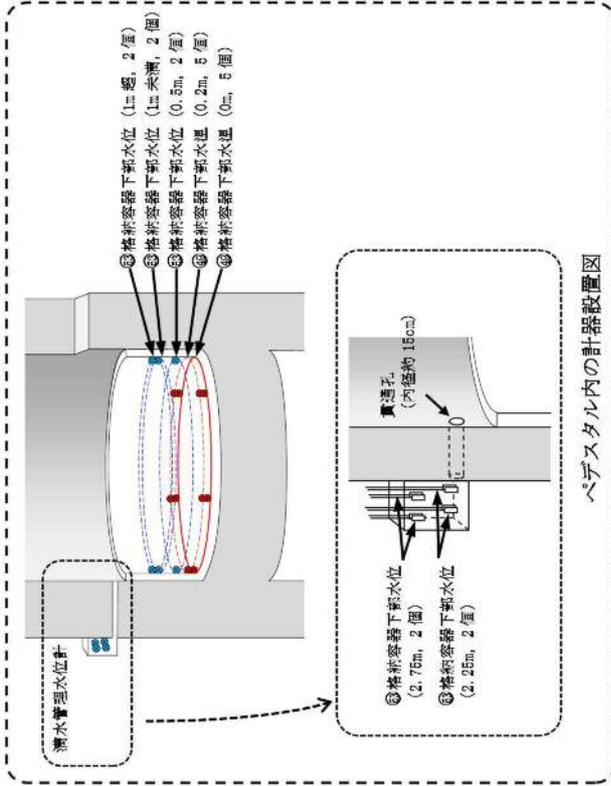
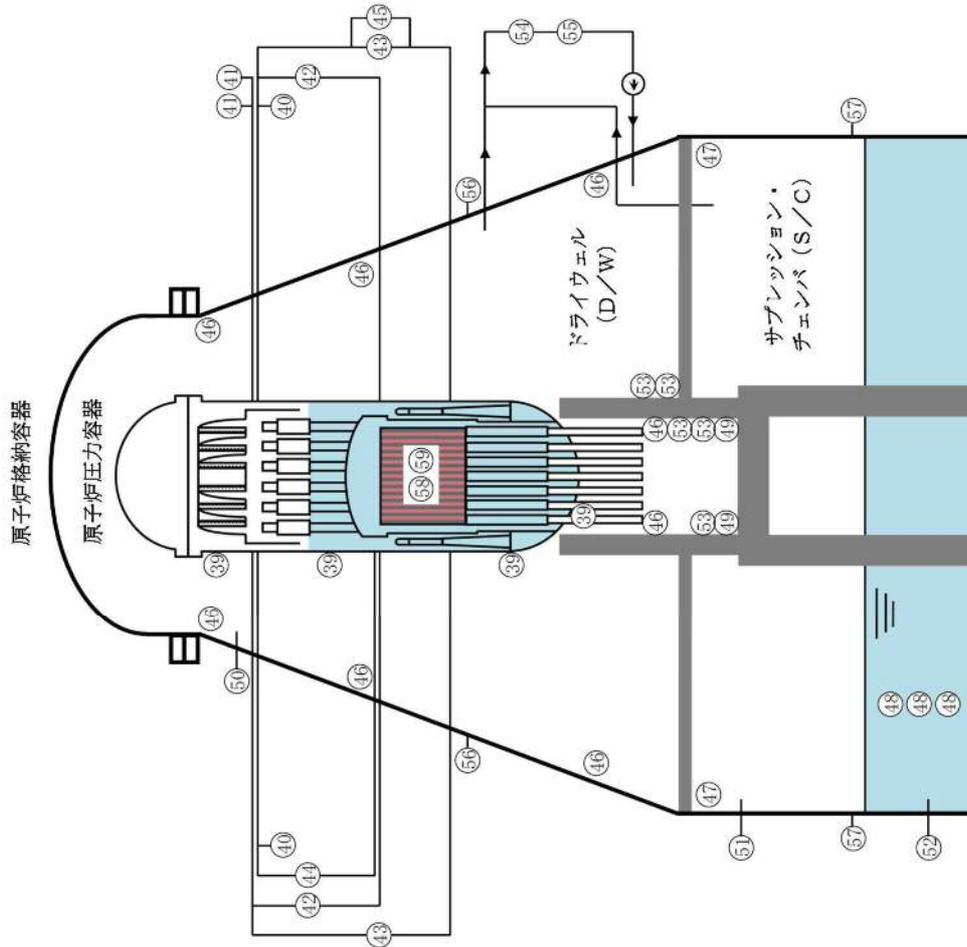
- ⑫ フィルタ装置水位
- ⑬ フィルタ装置圧力
- ⑭ フィルタ装置スクラビング水温度
- ⑮ フィルタ装置出口放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)
- ⑯ フィルタ装置入口水素濃度
- ⑰ 耐圧強化ベント系放射線モニタ

- ⑳ 原子炉建屋
- ㉑ 静的触媒式水素再結合器
- ㉒
- ㉓

- ① 高圧代替注水水系系統流量
- ② 低圧代替注水水系原子炉注水流量
- ③ 代替循環冷却系原子炉注水流量
- ④ 原子炉隔離時冷却系系統流量
- ⑤ 高圧炉心スプライン系系統流量
- ⑥ 残留熱除去系系統流量
- ⑦ 低圧代替注水水系系統流量
- ⑧ 代替循環冷却系ポンプ下部注水流量
- ⑨ 代替循環冷却系ポンプ上部注水流量
- ⑩ 代替循環冷却系ポンプ入口温度
- ⑪ 代替循環冷却系ポンプ出口温度
- ⑫ 残留熱除去系熱交換器入口温度
- ⑬ 残留熱除去系熱交換器出口温度
- ⑭ 代替淡水貯槽水位
- ⑮ 西側淡水貯槽水位
- ⑯ 常設高圧代替注水系ポンプ吐出圧力
- ⑰ 原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力
- ⑱ 原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力
- ⑲ 高圧炉心スプライン系ポンプ吐出圧力
- ㉑ 残留熱除去系ポンプ吐出圧力
- ㉒ 低圧炉心スプライン系ポンプ吐出圧力
- ㉓ 常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力
- ㉔ 緊急用海水系流量 (残留熱除去系補機)
- ㉕ 緊急用海水系流量 (残留熱除去系補機)

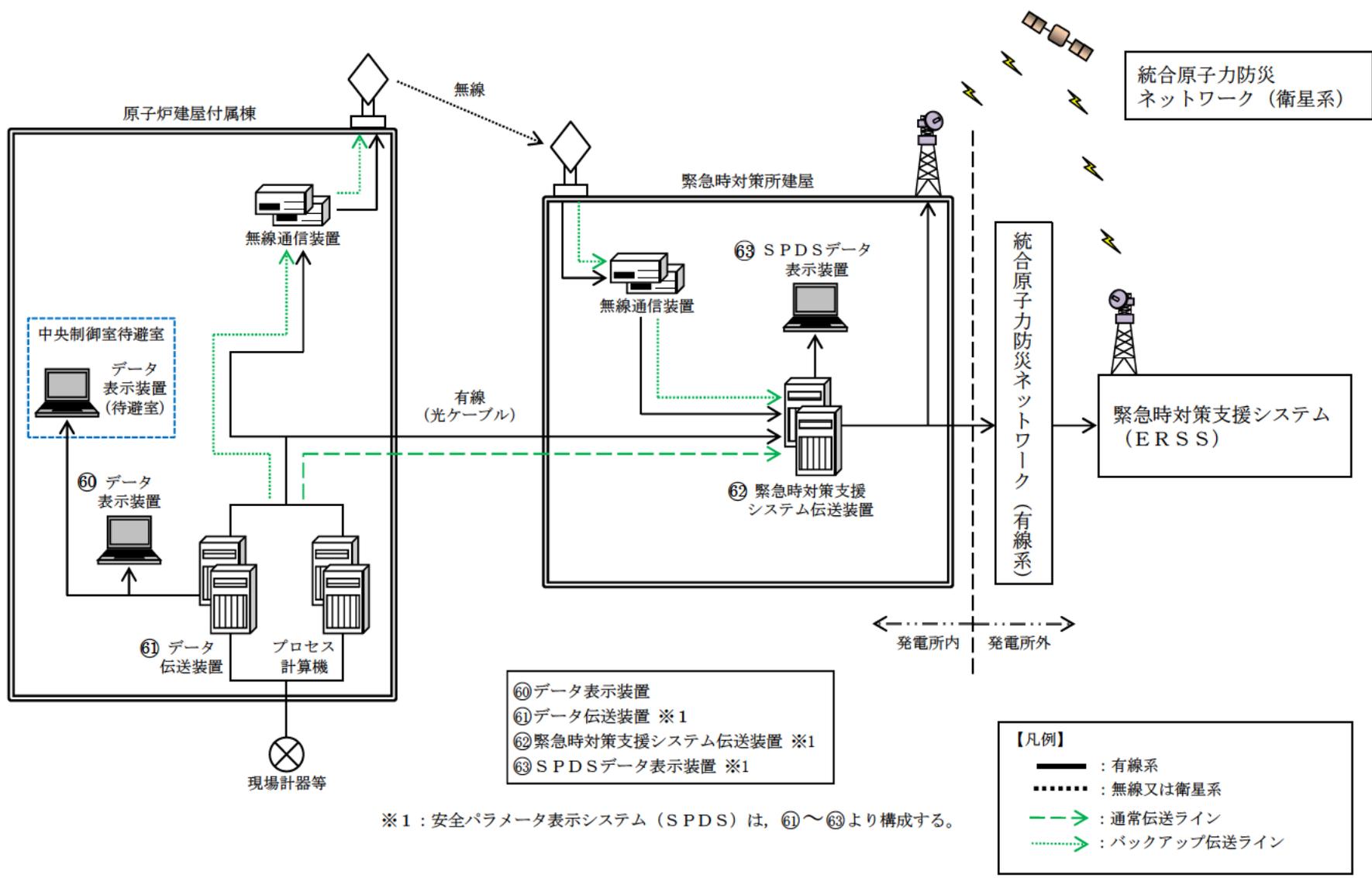
第 58-4-1 図 主要設備 系統概要図 (1/3)

- ③ 原子炉圧力密着温度
- ④ 原子炉圧力 (S/A)
- ⑤ 原子炉圧力 (広帯域)
- ⑥ 原子炉水位 (炉心域)
- ⑦ 原子炉水位 (S/A広帯域)
- ⑧ ドライウエル緊密気温度
- ⑨ サプレッション・チェンバ緊密気温度
- ⑩ 格納容器下排水
- ⑪ ドライウエル圧力
- ⑫ サプレッション・チェンバ圧力
- ⑬ サプレッション・プール水位
- ⑭ 格納容器下排水位
- ⑮ 格納容器内水素濃度 (S/A)
- ⑯ 格納容器内酸素濃度 (S/A)
- ⑰ 格納容器緊密気放射線モニタ (D/W)
- ⑱ サプレッション・チェンバ緊密気放射線モニタ (S/C)
- ⑲ 運動傾斜計装
- ⑳ 平均口方傾斜計装



第 58-4-2 図 主要設備 系統概要図 (2/3)

第 58-4-3 図 主要設備 系統概要図 (3/3)



58-5

試験検査

第 58-5-1 表 試験検査一覽表 (1/2)

計器分類	パラメータ	図番号
水位計	原子炉水位 (広帯域)	第 58-5-1 図
	原子炉水位 (燃料域)	
	原子炉水位 (S A 広帯域)	
	原子炉水位 (S A 燃料域)	
	サブプレッション・プール水位	
	フィルタ装置水位	
	代替淡水貯槽水位	
	格納容器下部水位	第 58-5-2 図
	西側淡水貯水設備水位	第 58-5-3 図
	使用済燃料プール水位・温度 (S A 広域)	第 58-5-4 図
圧力計	原子炉圧力	第 58-5-5 図
	原子炉圧力 (S A)	
	ドライウェル圧力	
	サブプレッション・チェンバ圧力	
	フィルタ装置圧力	
	常設高圧代替注水系ポンプ吐出圧力	
	常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力	
	代替循環冷却系ポンプ吐出圧力	
	原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力	
	高圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力	
	残留熱除去系ポンプ吐出圧力	
低圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力		
流量計	高圧代替注水系系統流量	第 58-5-6 図
	低圧代替注水系原子炉注水流量	
	代替循環冷却系原子炉注水流量	
	原子炉隔離時冷却系系統流量	
	高圧炉心スプレイ系系統流量	
	残留熱除去系系統流量	
	低圧炉心スプレイ系系統流量	
	低圧代替注水系格納容器スプレイ流量	
	低圧代替注水系格納容器下部注水流量	
	代替循環冷却系格納容器スプレイ流量	
	残留熱除去系海水系系統流量	

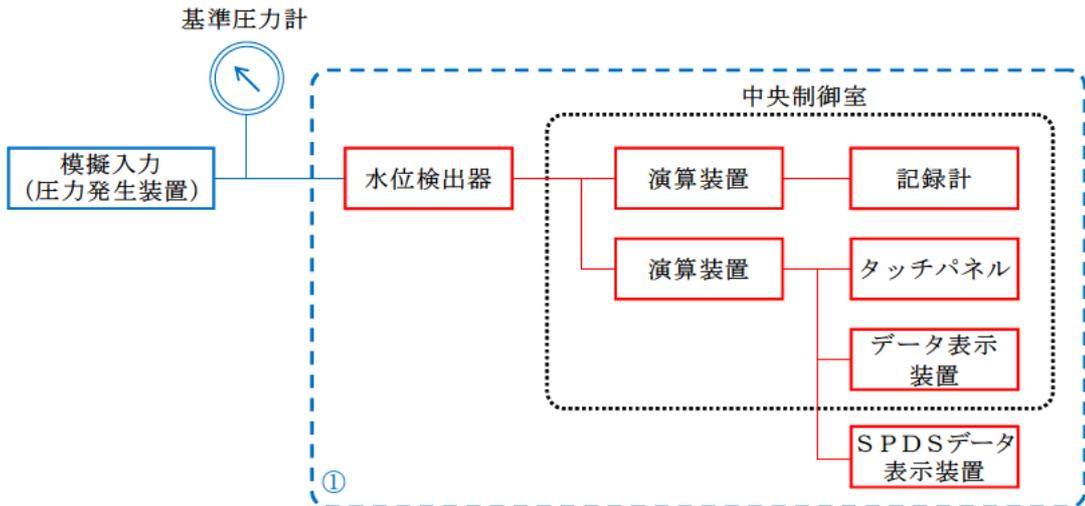
第 58-5-1 表 試験検査一覧表 (2/2)

計器分類	パラメータ	図番号
流量計	緊急用海水系流量 (残留熱除去系熱交換器)	第 58-5-6 図
	緊急用海水系流量 (残留熱除去系補機)	
温度計	原子炉圧力容器温度	第 58-5-7 図
	ドライウェル雰囲気温度	
	サブプレッション・チェンバ雰囲気温度	
	フィルタ装置スクラビング水温度	
	代替循環冷却系ポンプ入口温度	
	残留熱除去系熱交換器入口温度	
	残留熱除去系熱交換器出口温度	
	静的触媒式水素再結合器動作監視装置	
	使用済燃料プール温度 (SA)	第 58-5-8 図
	サブプレッション・プール水温度	
	格納容器下部水温	
	使用済燃料プール水位・温度 (SA 広域)	
水素及び酸素濃度計	格納容器内水素濃度 (SA)	第 58-5-9 図
	格納容器内酸素濃度 (SA)	
	フィルタ装置入口水素濃度	
	原子炉建屋水素濃度 (原子炉建屋原子炉棟 6 階)	第 58-5-10 図
	原子炉建屋水素濃度 (原子炉建屋原子炉棟地下 1 階, 2 階)	
放射線量率計	格納容器雰囲気放射線モニタ (D/W)	第 58-5-11 図
	格納容器雰囲気放射線モニタ (S/C)	
	フィルタ装置出口放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	
	耐圧強化ベント系放射線モニタ	
	使用済燃料プールエリア放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	
原子炉出力	起動領域計装	第 58-5-12 図
	平均出力領域計装	
使用済燃料プール監視カメラ, 使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置		第 58-5-13 図
安全パラメータ表示システム (SPDS), データ表示装置		第 58-5-14 図
可搬型計測器 ^{※1}		第 58-5-15 図

※1: 可搬型計測器は、「原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度, 圧力, 水位及び流量 (注水量) 計測用」及び「原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の圧力, 水位及び流量 (注水量) 計測用」を指す。

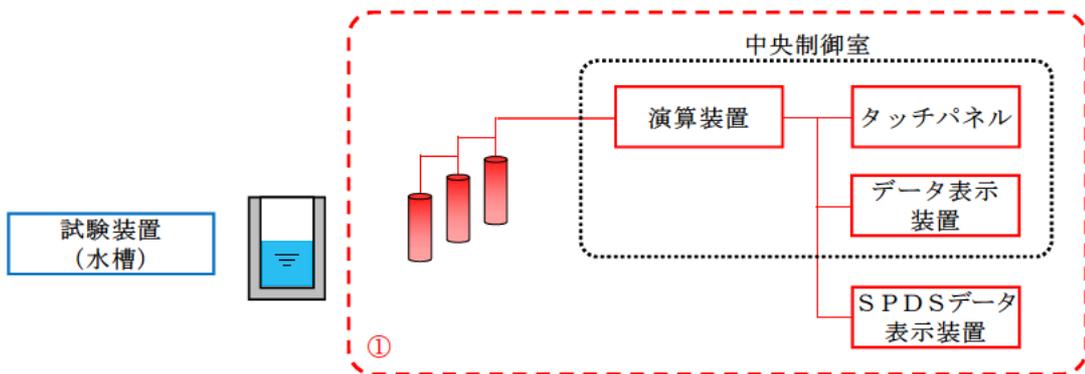
○計装設備の試験検査について

計装設備は、原子炉の停止中又は計器を除外可能な期間に点検及び検査をすることとしており、点検及び検査内容は第 58-5-1~14 図のとおりである。



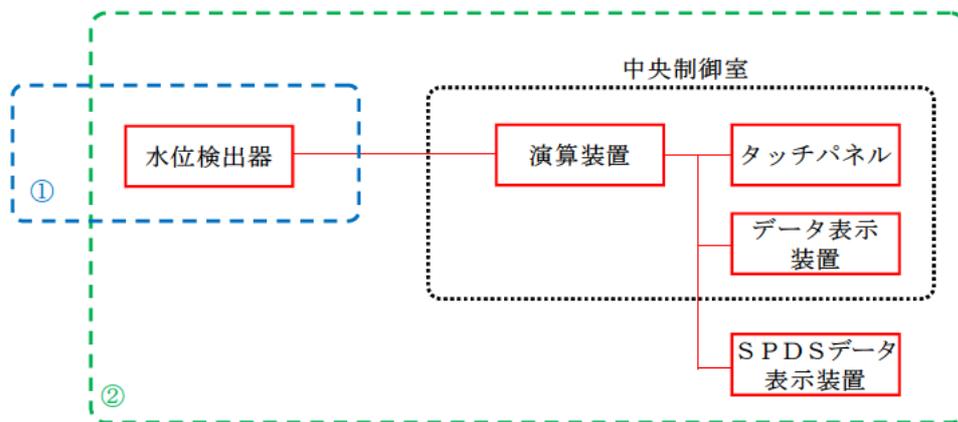
①検出器、記録計に模擬入力を与え、計器の単体校正並びに検出器から記録計、タッチパネル、データ表示装置（中央制御室）及びSPDSデータ表示装置（緊急時対策所）までのループ校正を実施（点検・検査）

第 58-5-1 図 水位計の試験検査



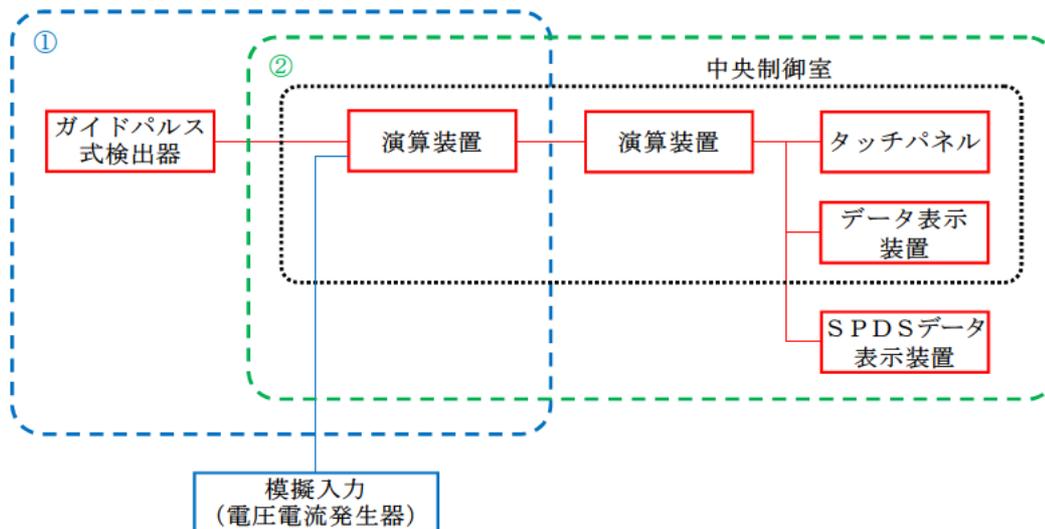
①試験装置（水槽）を用いて検出器が動作することを、中央制御室のタッチパネル、データ表示装置（中央制御室）及びSPDSデータ表示装置（緊急時対策所）で確認（点検・検査）

第 58-5-2 図 水位計の試験検査
(格納容器下部水位)



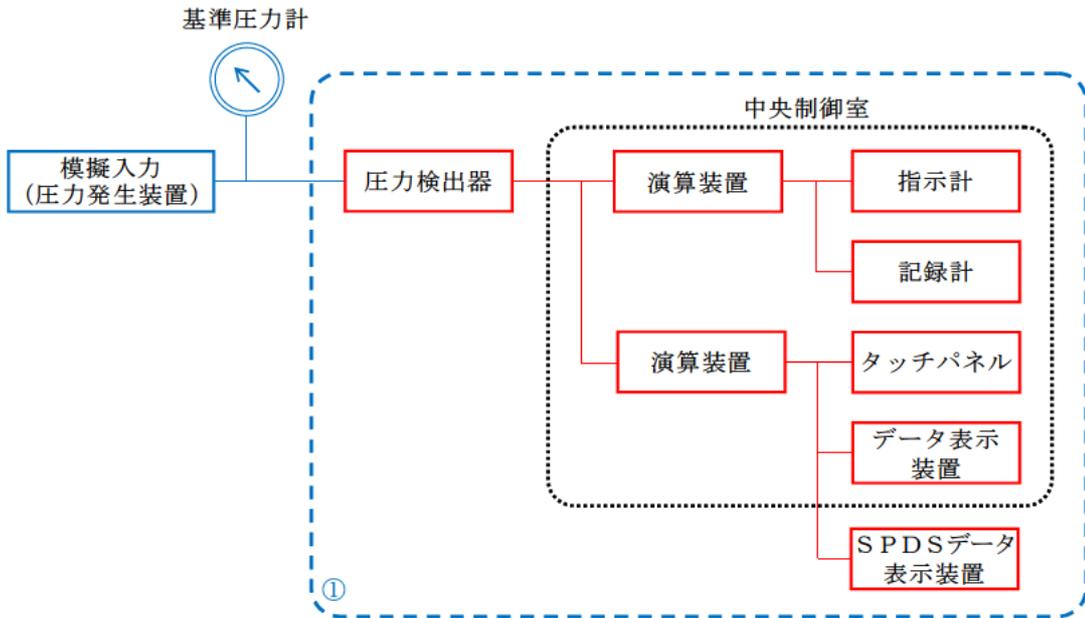
- ①検出器の単体校正を実施（点検）
- ②検出器に模擬入力を与え、検出器からタッチパネル、データ表示装置（中央制御室）及びSPDSデータ表示装置（緊急時対策所）までのループ校正を実施（点検・検査）

第 58-5-3 図 水位計の試験検査
(西側淡水貯水設備水位)



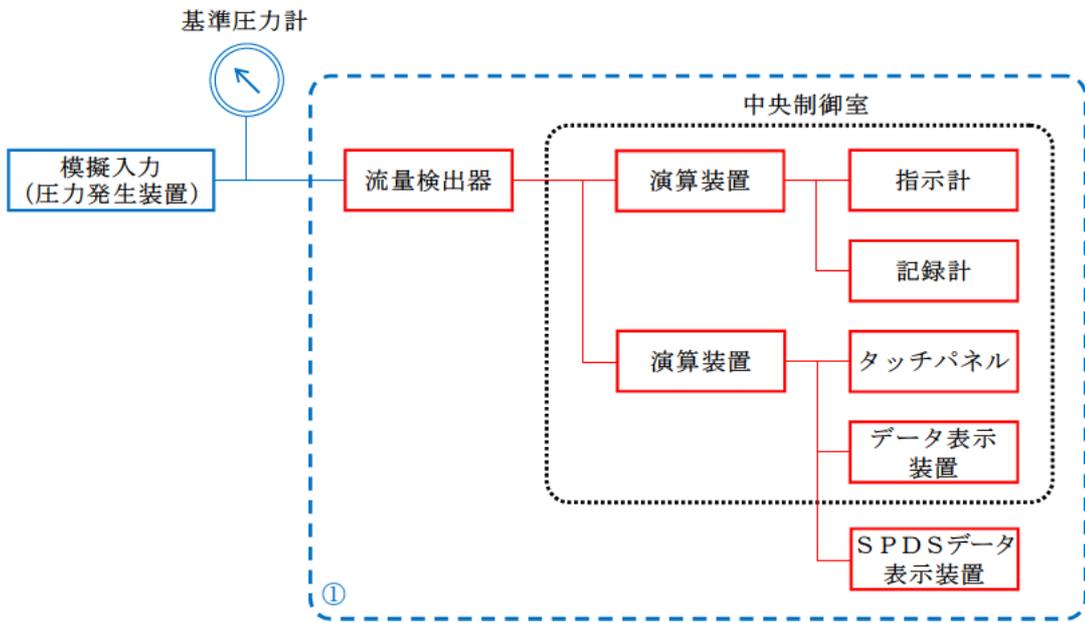
- ①試験装置を用いて検出器から演算装置までのループ校正を実施（点検・検査）
- ②演算装置に模擬入力を与え、演算装置からタッチパネル、データ表示装置（中央制御室）及びSPDSデータ表示装置（緊急時対策所）までのループ校正を実施（点検・検査）

第 58-5-4 図 水位計の試験検査
(使用済燃料プール水位・温度 (SA広域))



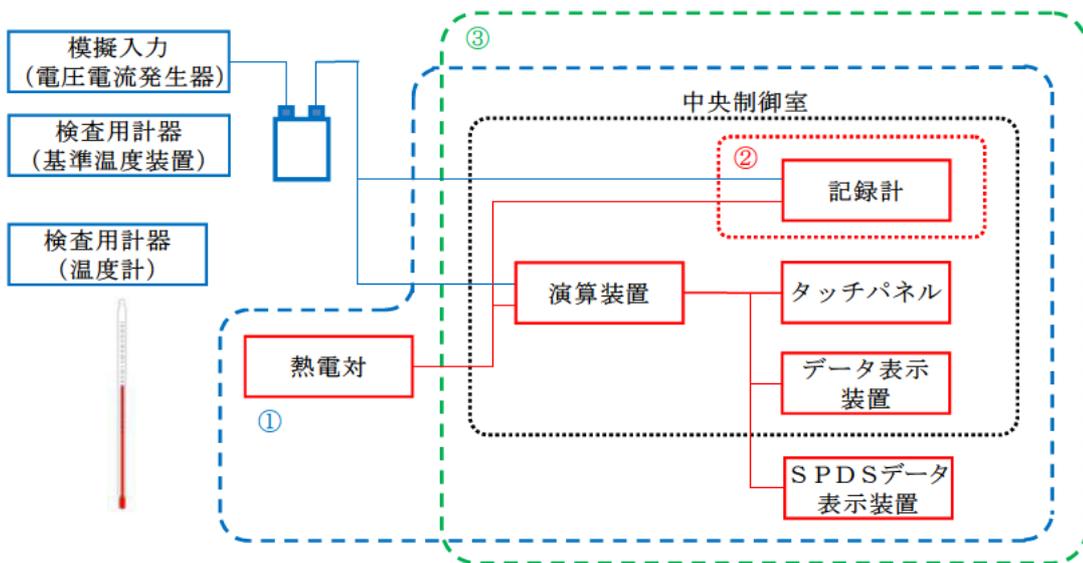
①検出器，記録計に模擬入力を与え計器の単体校正並びに検出器から指示計・記録計，タッチパネル，データ表示装置（中央制御室）及びSPDSデータ表示装置（緊急時対策所）までのループ校正を実施（点検・検査）

第 58-5-5 図 圧力計の試験検査



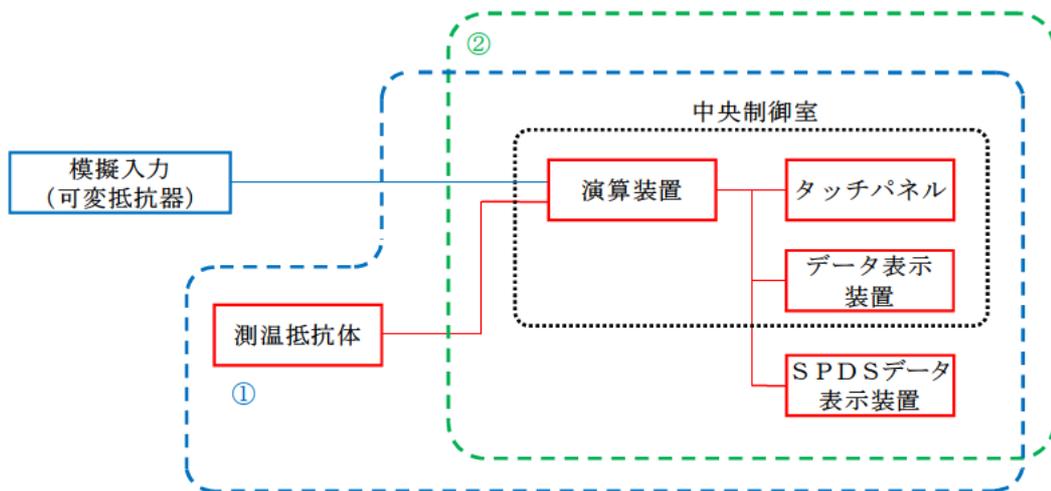
①検出器，記録計に模擬入力を与え計器の単体校正並びに検出器から指示計・記録計，タッチパネル，データ表示装置（中央制御室）及びSPDSデータ表示装置（緊急時対策所）までのループ校正を実施（点検・検査）

第 58-5-6 図 流量計の試験検査



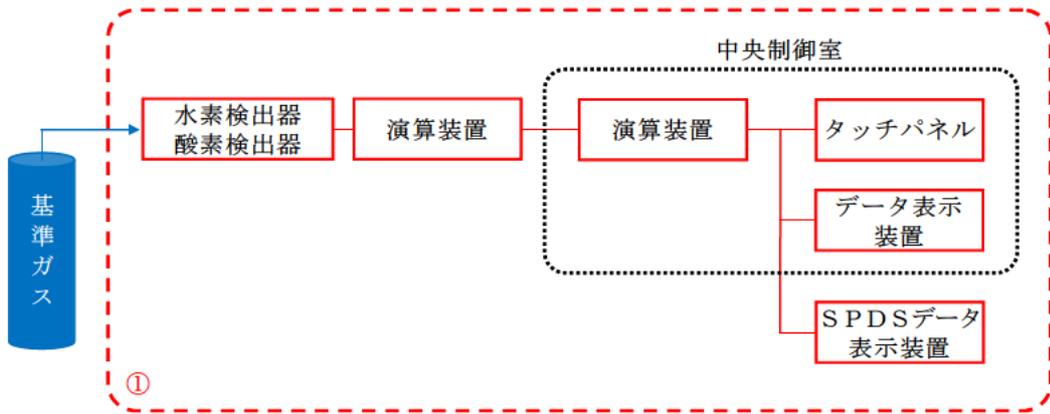
- ①検出器の温度 1 点確認，絶縁抵抗測定による電気試験を実施（点検・検査）
- ②記録計に模擬入力を与え計器の単体校正を実施（点検）
- ③演算装置に模擬入力を与え，演算装置から記録計，タッチパネル，データ表示装置（中央制御室）及びSPDSデータ表示装置（緊急時対策所）までのループ校正を実施（点検・検査）

第 58-5-7 図 温度計の試験検査



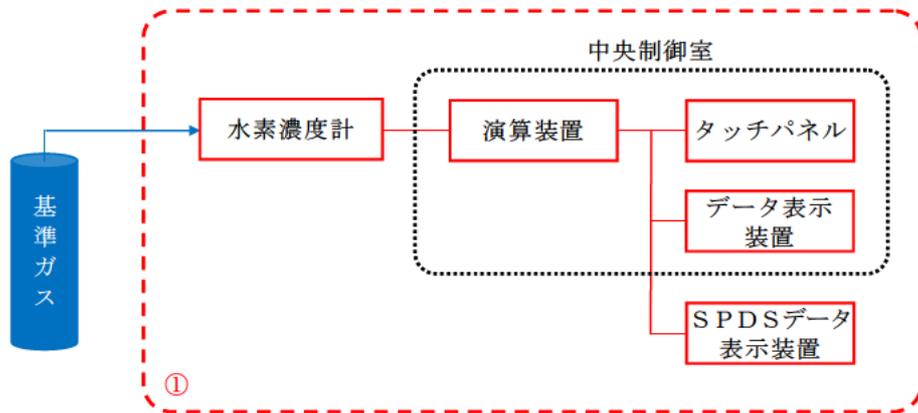
- ①検出器の温度 1 点確認，絶縁抵抗測定による電気試験を実施（点検・検査）
- ②演算装置に模擬入力を与え，演算装置からタッチパネル，データ表示装置（中央制御室）及びSPDSデータ表示装置（緊急時対策所）までのループ校正を実施（点検・検査）

第 58-5-8 図 温度計の試験検査



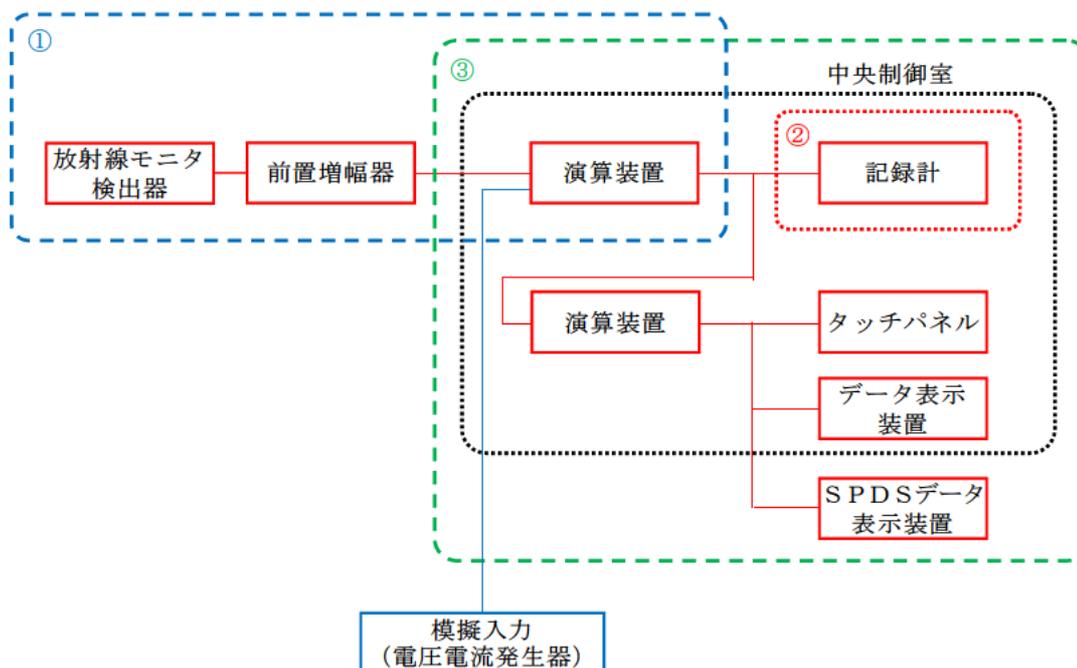
①基準ガスによる検出器のガス校正並びに中央制御室（タッチパネル，データ表示装置）並びにSPDSデータ表示装置までのループ試験を実施（点検・検査）

第 58-5-9 図 水素及び酸素濃度計の試験検査



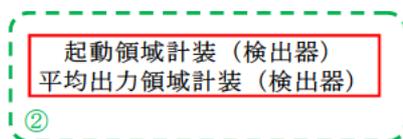
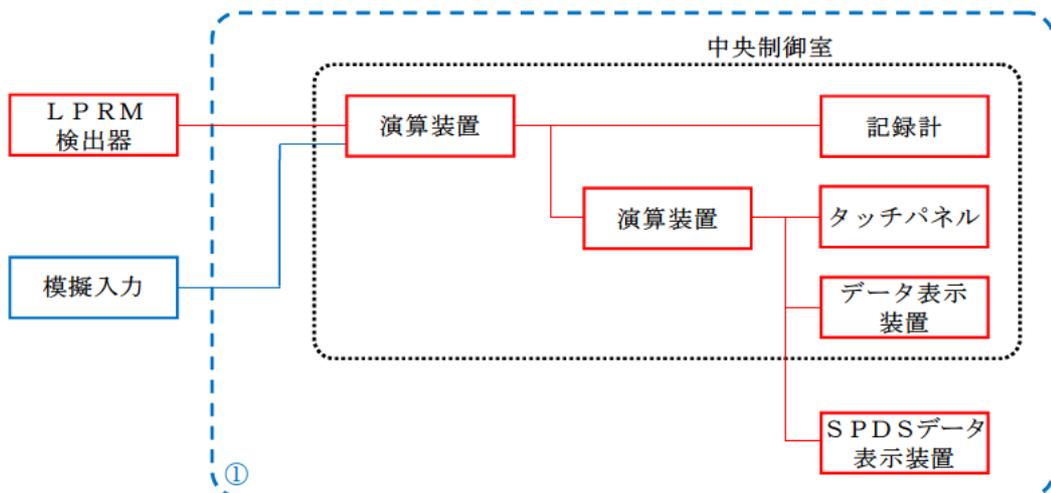
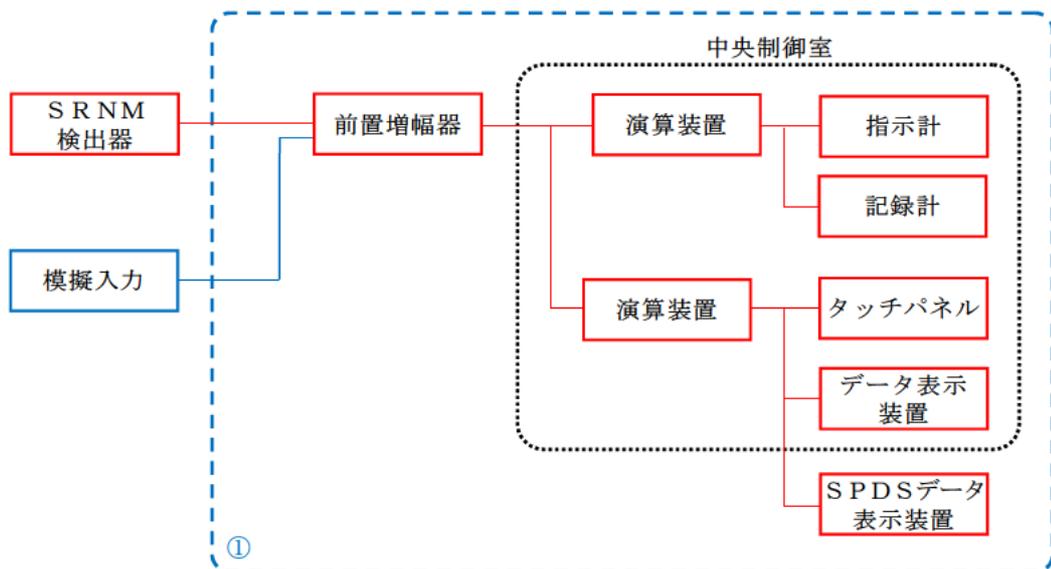
①基準ガスによる検出器の校正及び，中央制御室（タッチパネル，データ表示装置）並びにSPDSデータ表示装置までのループ試験を実施（点検・検査）

第 58-5-10 図 水素濃度計の試験検査



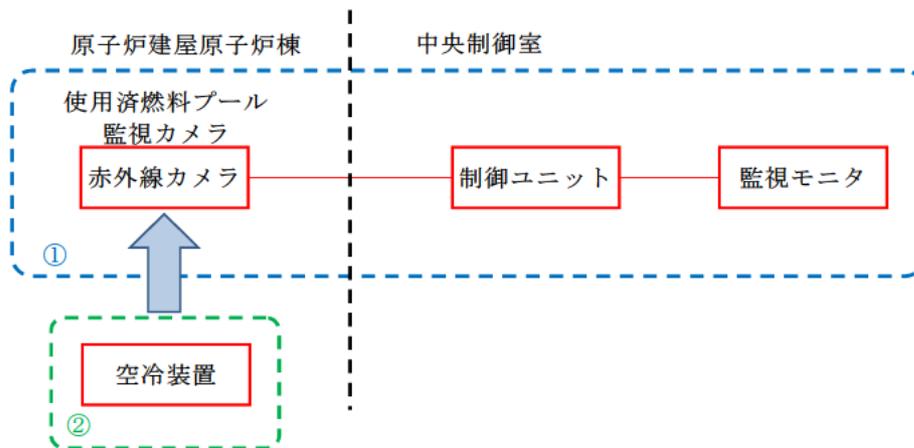
- ①線源校正室にて、標準線源を用いて検出器の線源校正を実施（点検・検査）
- ②記録計にて模擬入力を与え計器の単体校正を実施（点検）
- ③演算装置に模擬入力を与え、演算装置から記録計，タッチパネル，データ表示装置（中央制御室）及びSPDSデータ表示装置（緊急時対策所）までのループ校正を実施（点検・検査）

第 58-5-11 放射線量率計の試験検査



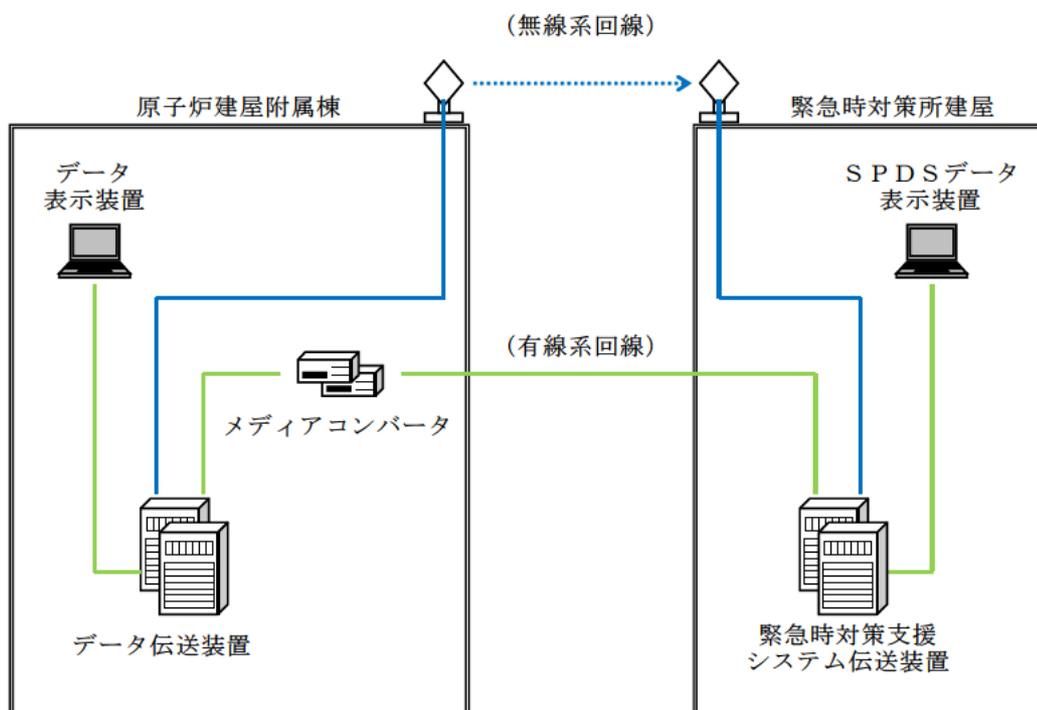
- ①計測機器，記録計に模擬入力を与え計器の単体校正並びに計測機器から記録計，タッチパネル，データ表示装置（中央制御室）及びSPDSデータ表示装置（緊急時対策所）までのループ校正を実施（点検・検査）
- ②検出器点検として，プラトー特性測定，絶縁抵抗測定を実施（点検）

第 58-5-12 図 原子炉出力の試験検査



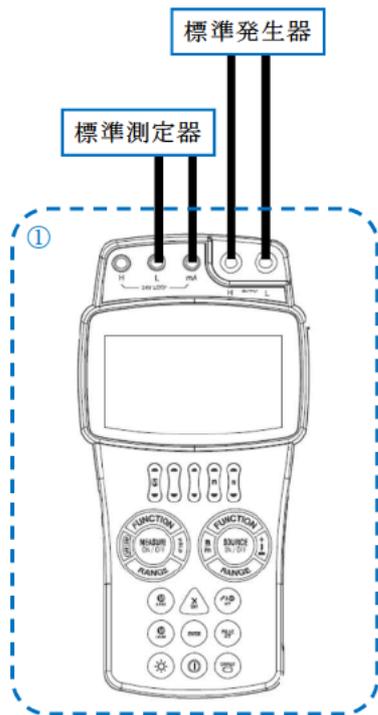
- ①使用済燃料プール監視カメラの外観点検及び表示確認を実施（点検・検査）
- ②空冷装置の外観点検及び動作確認を実施（点検・検査）

第 58-5-13 図 使用済燃料プール監視カメラ及び使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置の試験検査

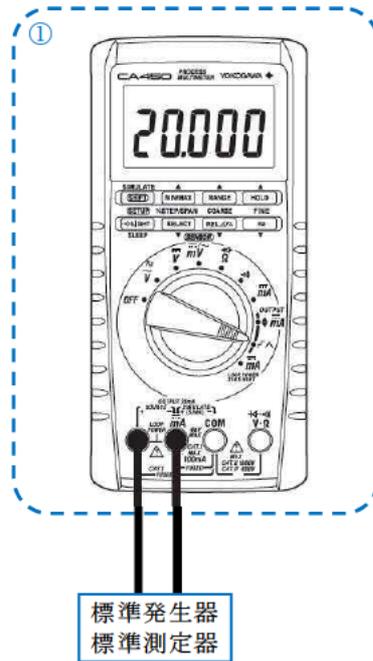


※試験区間：中央制御室 ～ 緊急時対策所

第 58-5-14 図 安全パラメータ表示システム (SPDS), データ表示装置の試験検査



原子炉压力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量（注水量）計測用



原子炉压力容器及び原子炉格納容器内の圧力、水位及び流量（注水量）計測用

①可搬型計測器に模擬入力を与え計器の単体校正を実施（点検・検査）

第 58-5-15 図 可搬型計測器の試験検査

58-6

容量設定根拠

1. 概要

本説明書は、計測制御系統施設の以下の計測装置の構成並びに計測範囲及び警報動作範囲について説明するものである。

- (1) 起動領域計測装置及び出力領域計測装置
- (2) 原子炉圧力容器本体の入口又は出口の原子炉冷却材の圧力、温度又は流量（代替注水の流量を含む。）を計測する装置
- (3) 原子炉圧力容器本体内の圧力又は水位を計測する装置
- (4) 原子炉格納容器本体内の圧力、温度、酸素ガス濃度又は水素ガス濃度を計測する装置
- (5) 原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置
- (6) 原子炉格納容器本体の水位を計測する装置
- (7) 原子炉建屋内の水素ガス濃度を計測する装置
- (8) 放射線管理用計測装置
- (9) その他重大事故等対処設備の計測装置

2. 基本方針

重大事故等時において、原子炉施設の主要なプロセス量を計測して、その計測結果を中央制御室において監視するため、以下に示す計測装置を設置する。また、重大事故等時において期待されるパラメータに対して、その計測結果を中央制御室において監視するため、以下に示す計測装置を設置する。

2.1 起動領域計測装置及び出力領域計測装置

本計測装置は、炉心中性子束レベル（起動領域、出力領域）を計測して、その計測結果を中央制御室に指示し、記録する目的で設置する。

2.2 原子炉压力容器本体の入口又は出口の原子炉冷却材の圧力、温度又は流量（代替注水の流量を含む。）を計測する装置

本計測装置は、原子炉压力容器本体の入口又は出口の原子炉冷却材の圧力（常設高圧代替注水系ポンプ吐出圧力、常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力、代替循環冷却系ポンプ吐出圧力、原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力、高圧炉心スプレー系ポンプ吐出圧力、残留熱除去系ポンプ吐出圧力、低圧炉心スプレー系ポンプ吐出圧力）、温度（代替循環冷却系ポンプ入口温度、残留熱除去系熱交換器入口温度、残留熱除去系熱交換器出口温度）及び流量（高圧代替注水系系統流量、低圧代替注水系原子炉注水流量、代替循環冷却系原子炉注水流量、原子炉隔離時冷却系系統流量、高圧炉心スプレー系系統流量、残留熱除去系系統流量、低圧炉心スプレー系系統流量）を計測して、その計測結果を中央制御室に指示し、記録する目的で設置する。

2.3 原子炉压力容器本体内の圧力又は水位を計測する装置

本計測装置は、原子炉压力容器本体内の圧力（原子炉圧力、原子炉圧力（S A））及び水位（原子炉水位（広帯域）、原子炉水位（燃料域）、原子炉水位（S A広帯域）、原子炉水位（S A燃料域））を計測して、その計測結果を中央制御室に指示し、記録する目的で設置する。

2.4 原子炉格納容器本体内の圧力、温度、酸素ガス濃度又は水素ガス濃度を計測する装置

本計測装置は、原子炉格納容器本体内の圧力（ドライウエル圧力、サブプレッション・チェンバ圧力）、温度（ドライウエル雰囲気温度、サブプレッション・チェンバ雰囲気温度、サブプレッション・プール水温度）、酸素

濃度（格納容器内酸素濃度（S A））及び水素濃度（格納容器内水素濃度（S A））を計測して、その計測結果を中央制御室に指示し、記録する目的で設置する。

原子炉格納容器本体内の温度（格納容器下部水温）を計測する装置は、格納容器破損及びデブリ落下・堆積を検知して、その検知結果を中央制御室に指示し、記録する目的で設置する。

2.5 原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置

本計測装置は、原子炉格納容器本体への冷却材流量（低圧代替注水系格納容器スプレイ流量、低圧代替注水系格納容器下部注水流量、代替循環冷却系格納容器スプレイ流量）を計測して、その計測結果を中央制御室に指示し、記録する目的で設置する。

2.6 原子炉格納容器本体の水位を計測する装置

本計測装置は、原子炉格納容器本体の水位（サプレッション・プール水位）を計測して、その計測結果を中央制御室に指示し、記録する目的で設置する。

原子炉格納容器本体の水位（格納容器下部水位）を計測する装置は、熔融炉心の冷却に必要な水深があることを計測して、その計測結果を中央制御室に指示し、記録する目的で設置する。

2.7 原子炉建屋内の水素ガス濃度を計測する装置

本計測装置は、原子炉建屋内の水素濃度を計測して、その計測結果を中央制御室に指示し、記録する目的で設置する。

2.8 放射線管理用計測装置

本計測装置は、原子炉格納容器内の放射線量率（格納容器雰囲気放射線モニタ（D/W）、格納容器雰囲気放射線モニタ（S/C））、フィルタ装置出口の放射線量率（フィルタ装置出口放射線モニタ（高レンジ・低レンジ））、耐圧強化ベント系の放射線量率（耐圧強化ベント系放射線モニタ）及び使用済燃料プールの放射線量率（使用済燃料プールエリア放射線モニタ（高レンジ・低レンジ））を計測して、その計測結果を中央制御室に指示し、記録する目的で設置する。

2.9 その他重大事故等対処設備の計測装置

本計測装置は、その他重大事故等の対応に必要な原子炉施設の状態を把握するためのパラメータ（原子炉圧力容器温度、フィルタ装置水位、フィルタ装置圧力、フィルタ装置スクラビング水温度、フィルタ装置入口水素濃度、残留熱除去系海水系系統流量、緊急用海水系流量（残留熱除去系熱交換器）、緊急用海水系流量（残留熱除去系補機）、代替淡水貯槽水位、西側淡水貯水設備水位、静的触媒式水素再結合器動作監視装置、使用済燃料プール水位・温度（S A広域）、使用済燃料プール温度（S A））、使用済燃料プール監視カメラを計測して、その計測結果を中央制御室に指示し、記録する目的で設置する。

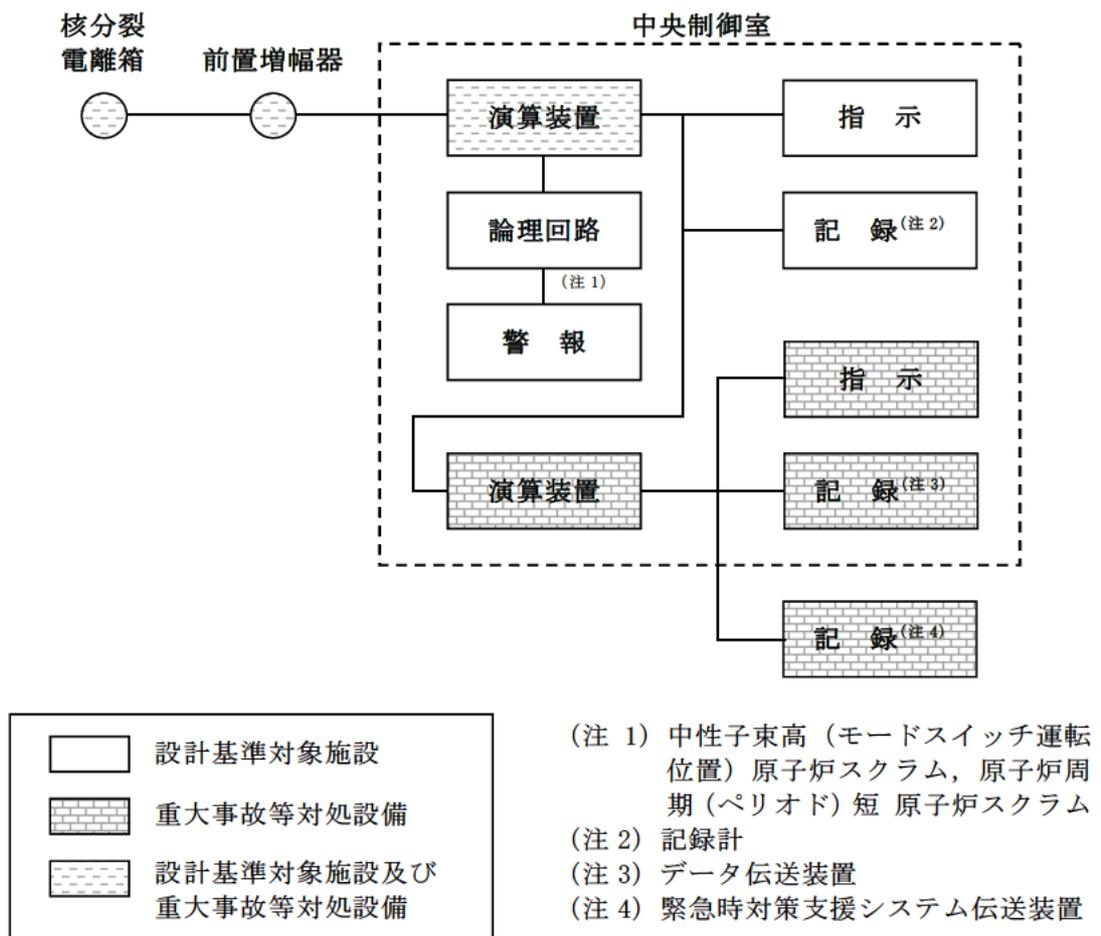
3. 計測装置の構成

3.1 起動領域計測装置及び出力領域計測装置

3.1.1 起動領域計測装置

(1) 起動領域計装

起動領域計装は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、起動領域中性子束の検出信号は、核分裂電離箱からのパルス信号を前置増幅器で増幅し、演算装置にて中性子束レベル信号に変換する処理を行った後、中性子束レベルを中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-1 図「起動領域計装の概略構成図」参照。)

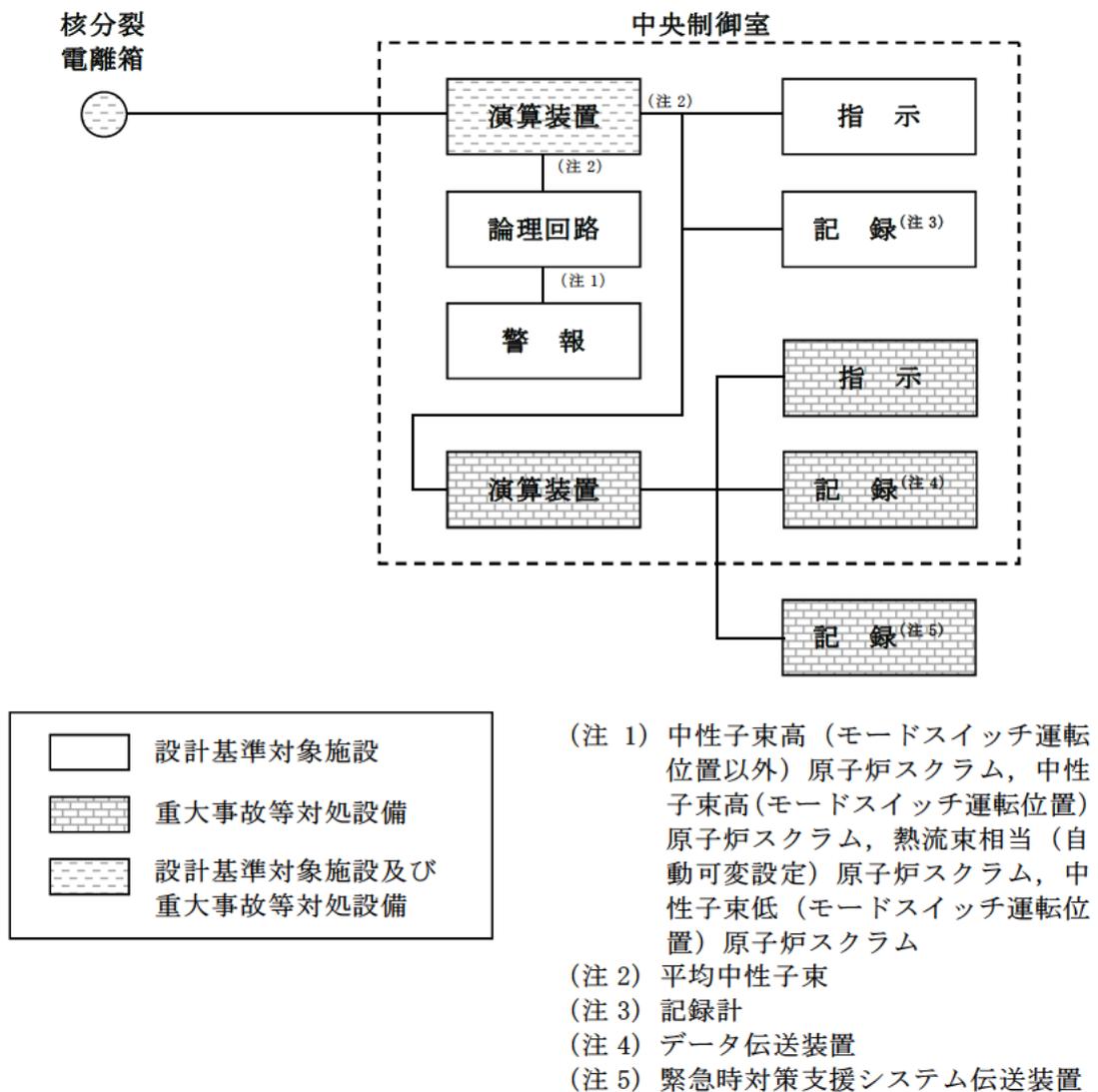


第 58-6-1 図 起動領域計装の概略構成図

3.1.2 出力領域計測装置

(1) 平均出力領域計装

平均出力領域計装は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、出力領域中性子束の検出信号は、核分裂電離箱からの電流信号を、演算装置にて中性子束レベル信号に変換する処理を行った後、中性子束レベルを中央制御室に指示し、記録する。(第58-6-2図「平均出力領域計装の概略構成図」参照。)



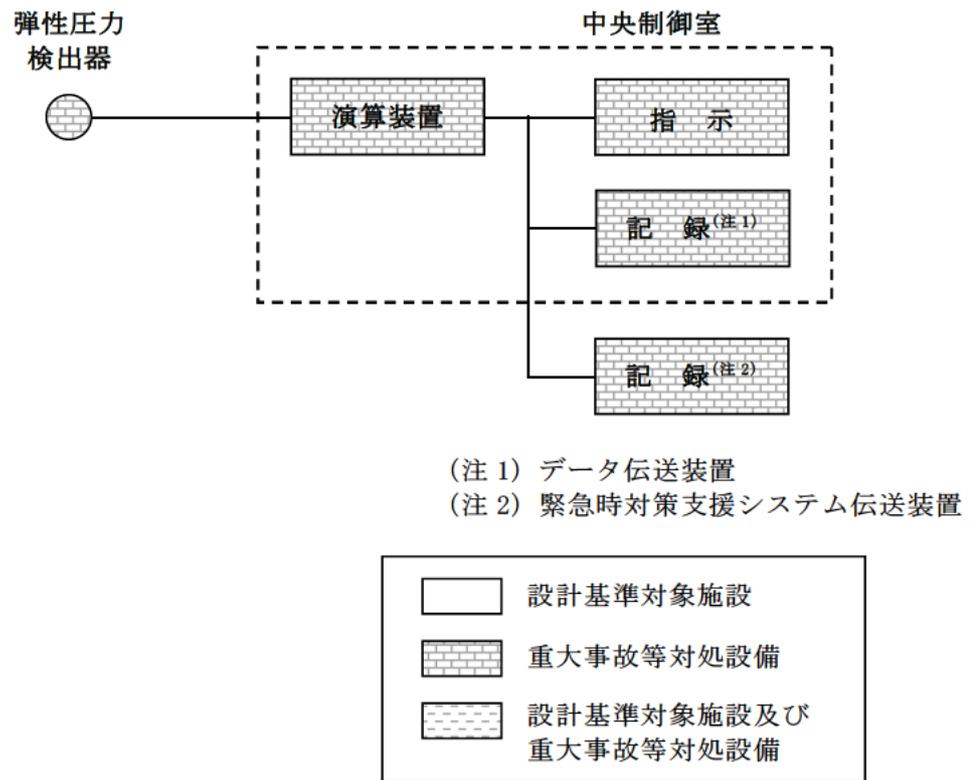
第58-6-2図 平均出力領域計装の概略構成図

3.2 原子炉压力容器本体の入口又は出口の原子炉冷却材の圧力、温度又は流量
(代替注水の流量を含む。)を計測する装置

3.2.1 原子炉压力容器本体の入口又は出口の原子炉冷却材の圧力

(1) 常設高圧代替注水系ポンプ吐出圧力

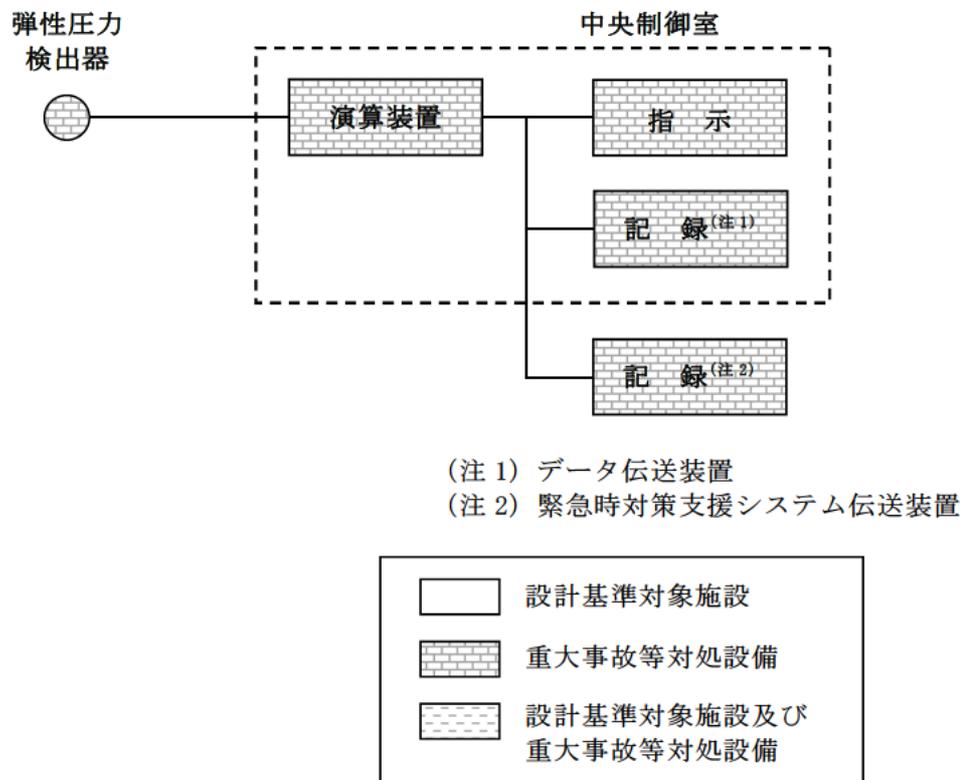
常設高圧代替注水系ポンプ吐出圧力は、重大事故等対処設備の機能を有しており、常設高圧代替注水系ポンプ吐出圧力の検出信号は、弾性圧力検出器からの電流信号を、演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、常設高圧代替注水系ポンプ吐出圧力を中央制御室に指示し、記録する。(第58-6-3図「常設高圧代替注水系ポンプ吐出圧力の概略構成図」参照。)



第58-6-3図 常設高圧代替注水系ポンプ吐出圧力の概略構成図

(2) 常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力

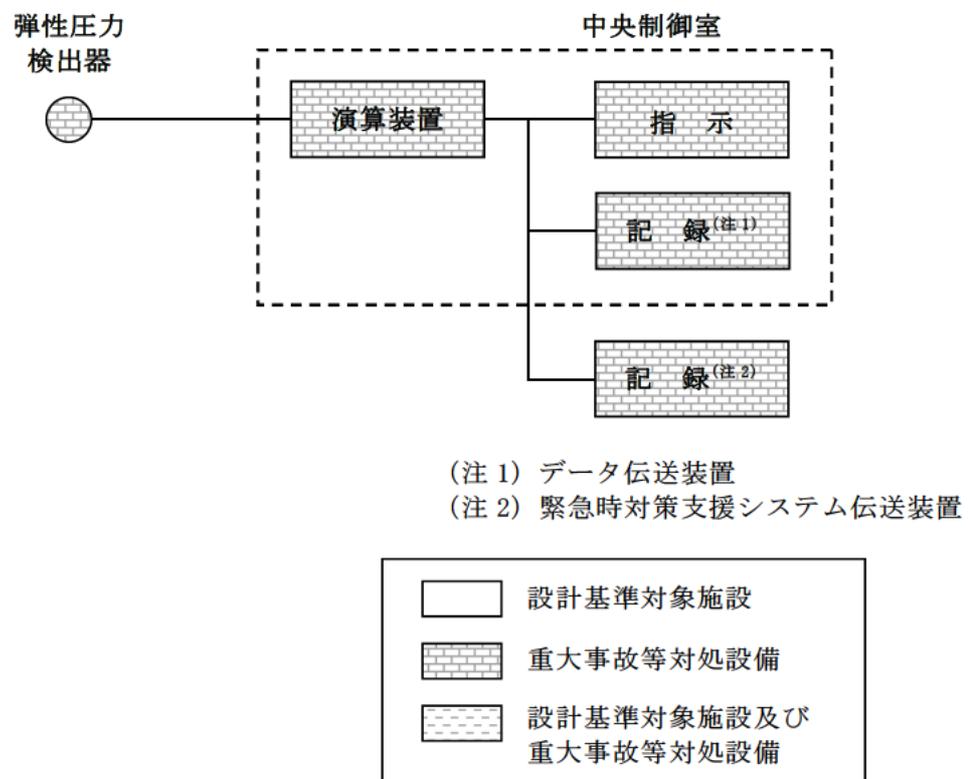
常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力は、重大事故等対処設備の機能を有しており、常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力の検出信号は、弾性圧力検出器からの電流信号を、演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力を中央制御室に指示し、記録する。(第58-6-4図「常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力の概略構成図」参照。)



第58-6-4図 常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力の概略構成図

(3) 代替循環冷却系ポンプ吐出圧力

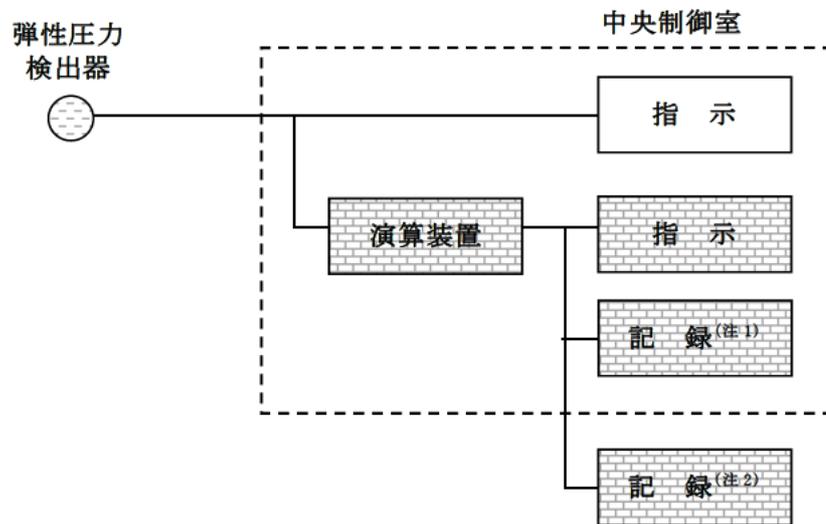
代替循環冷却系ポンプ吐出圧力は、重大事故等対処設備の機能を有しており、代替循環冷却系ポンプ吐出圧力の検出信号は、弾性圧力検出器からの電流信号を、演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、代替循環冷却系ポンプ吐出圧力を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-5 図「代替循環冷却系ポンプ吐出圧力の概略構成図」参照。)



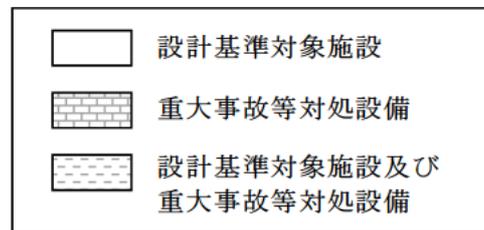
第 58-6-5 図 代替循環冷却系ポンプ吐出圧力の概略構成図

(4) 原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力

原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力の検出信号は、弾性圧力検出器からの電流信号を、演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-6 図「原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力の概略構成図」参照。)



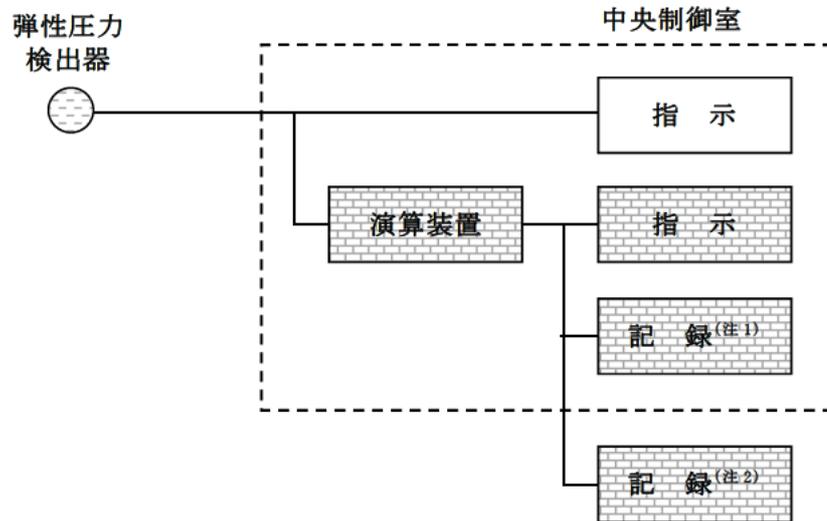
(注 1) データ伝送装置
(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置



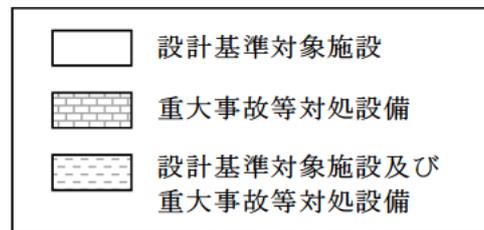
第 58-6-6 図 原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力の概略構成図

(5) 高圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力

高圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、高圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力の検出信号は、弾性圧力検出器からの電流信号を、演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、高圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-7 図「高圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力の概略構成図」参照。)



(注 1) データ伝送装置
(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置

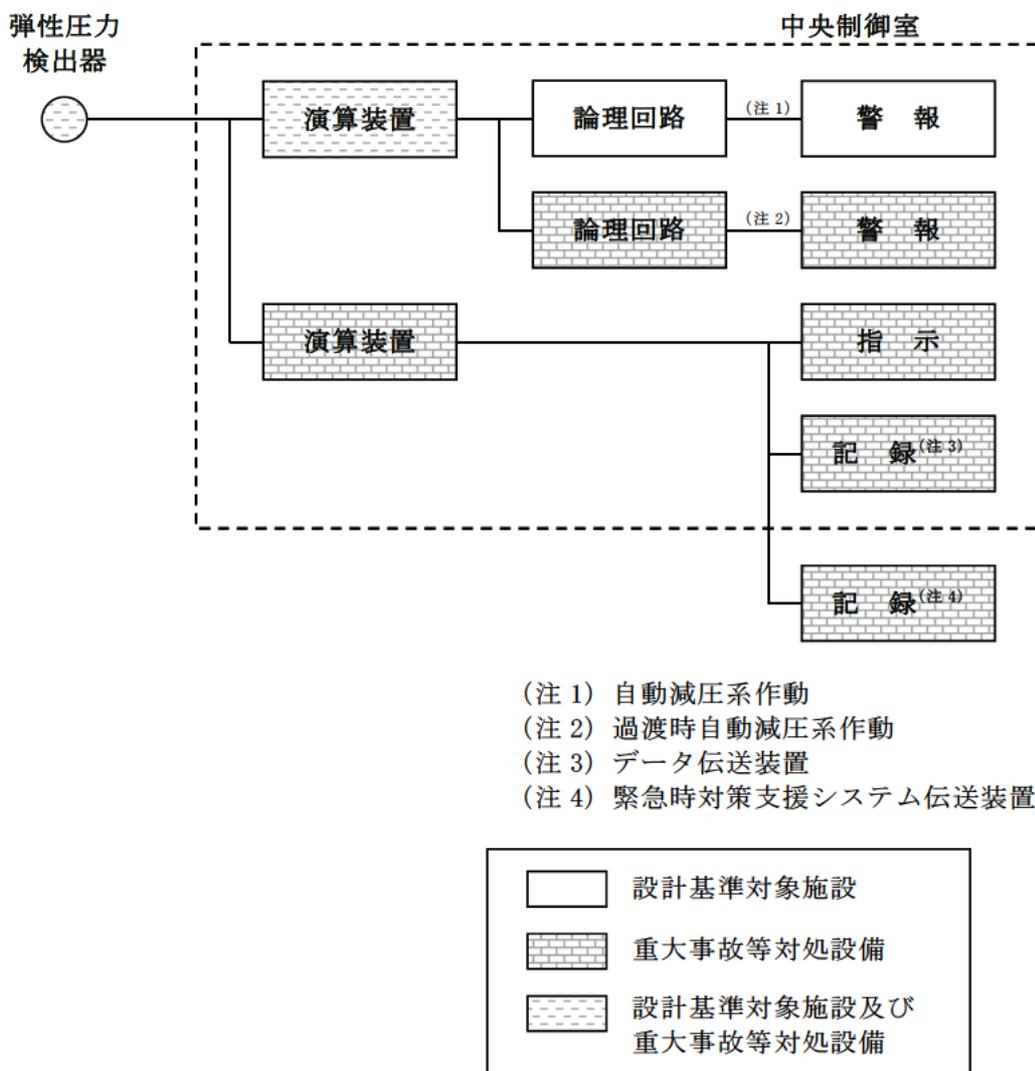


第 58-6-7 図 高圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力の概略構成図

(6) 残留熱除去系ポンプ吐出圧力

残留熱除去系ポンプ吐出圧力は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、残留熱除去系ポンプ吐出圧力の検出信号は、弾性圧力検出器からの電流信号を、演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、残留熱除去系ポンプ吐出圧力を中央制御室に指示し、記録する。

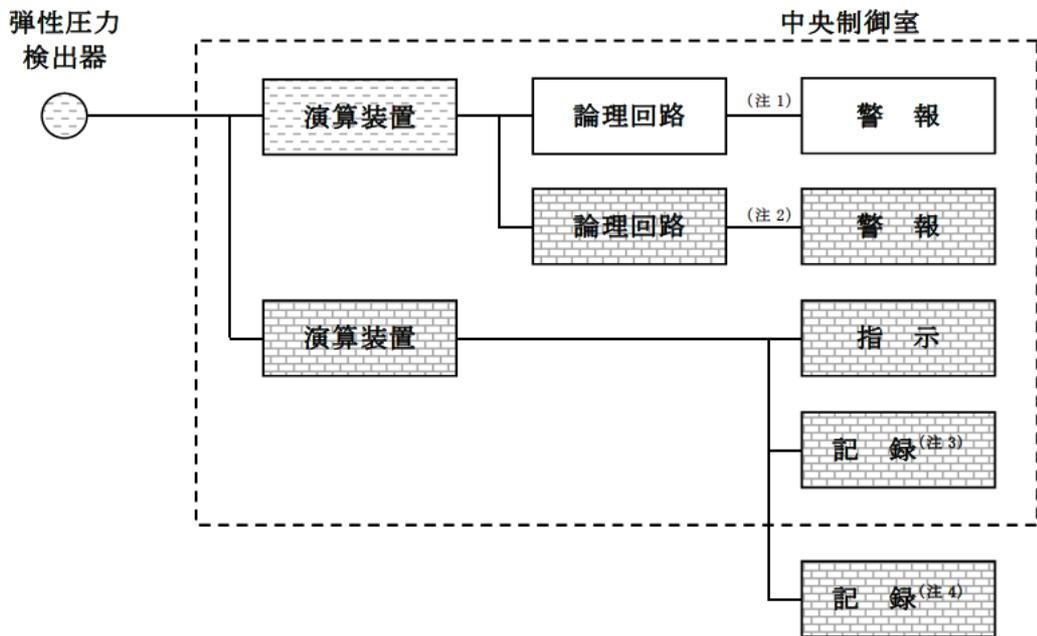
(第 58-6-8 図「残留熱除去系ポンプ吐出圧力の概略構成図」参照。)



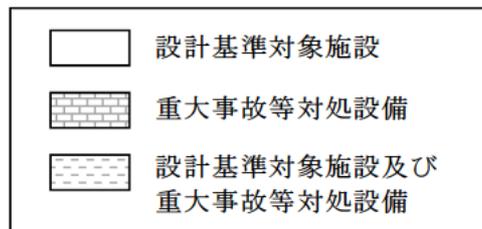
第 58-6-8 図 残留熱除去系ポンプ吐出圧力の概略構成図

(7) 低圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力

低圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、低圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力の検出信号は、弾性圧力検出器からの電流信号を、演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、低圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-9 図「低圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力の概略構成図」参照。)



- (注 1) 自動減圧系作動
- (注 2) 過渡時自動減圧系作動
- (注 3) データ伝送装置
- (注 4) 緊急時対策支援システム伝送装置

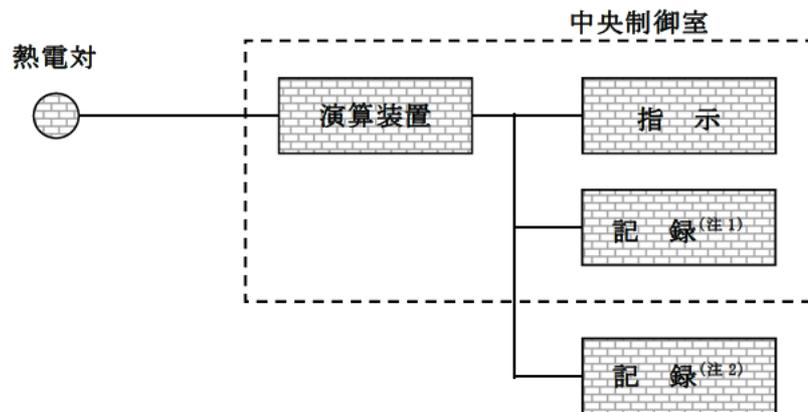


第 58-6-9 図 低圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力の概略構成図

3.2.2 原子炉压力容器本体の入口又は出口の原子炉冷却材の温度

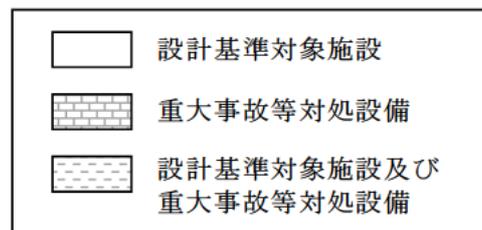
(1) 代替循環冷却系ポンプ入口温度

代替循環冷却系ポンプ入口温度は、重大事故等対処設備の機能を有しており、代替循環冷却系ポンプ入口温度の検出信号は、熱電対からの起電力を、演算装置にて温度信号に変換する処理を行った後、代替循環冷却系ポンプ入口温度を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-10 図「代替循環冷却系ポンプ入口温度の概略構成図」参照。)



(注 1) データ伝送装置

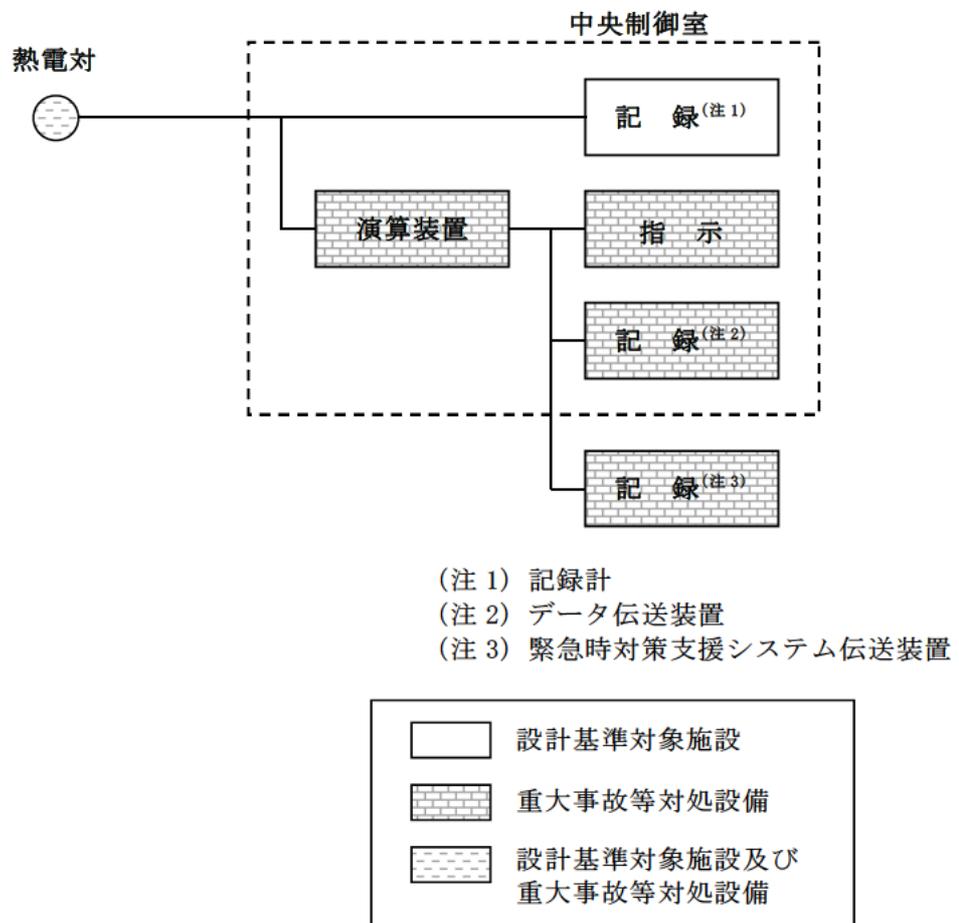
(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置



第 58-6-10 図 代替循環冷却系ポンプ入口温度の概略構成図

(2) 残留熱除去系熱交換器入口温度

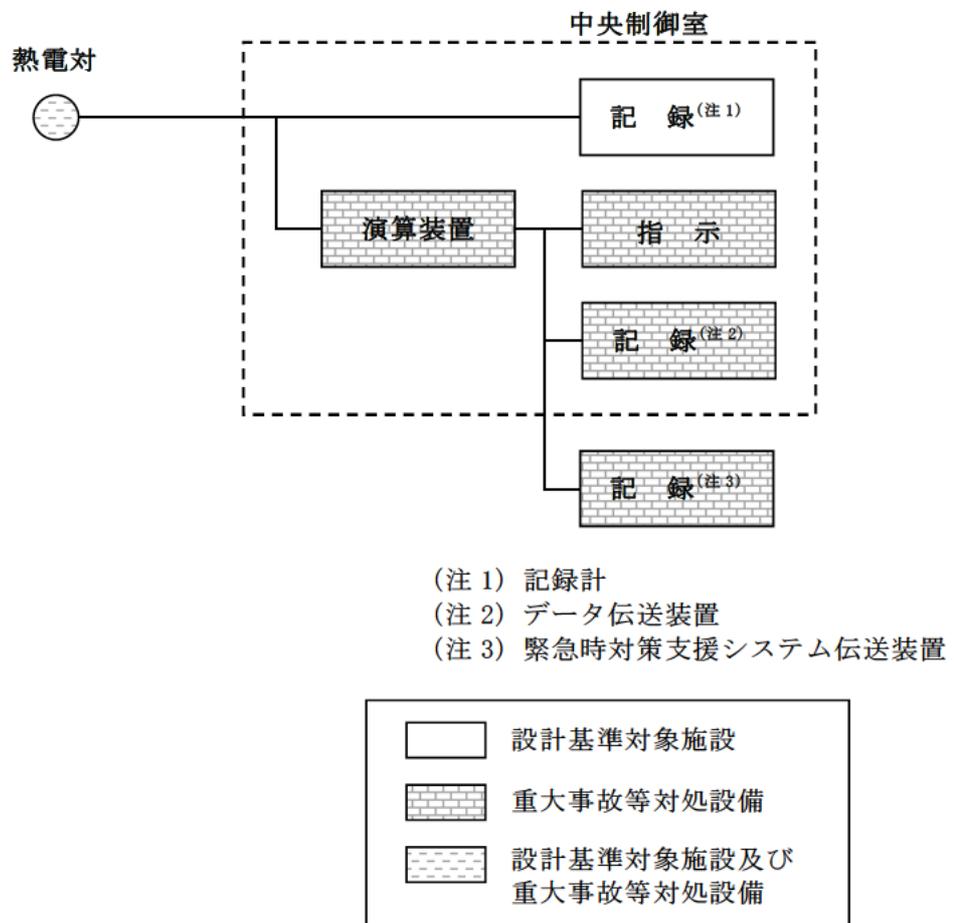
残留熱除去系熱交換器入口温度は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、残留熱除去系熱交換器入口温度の検出信号は、熱電対からの起電力を、演算装置にて温度信号に変換する処理を行った後、残留熱除去系熱交換器入口温度を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-11 図「残留熱除去系熱交換器入口温度の概略構成図」参照。)



第 58-6-11 図 残留熱除去系熱交換器入口温度の概略構成図

(3) 残留熱除去系熱交換器出口温度

残留熱除去系熱交換器出口温度は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、残留熱除去系熱交換器出口温度の検出信号は、熱電対からの起電力を、演算装置にて温度信号に変換する処理を行った後、残留熱除去系熱交換器出口温度を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-12 図「残留熱除去系熱交換器出口温度の概略構成図」参照。)

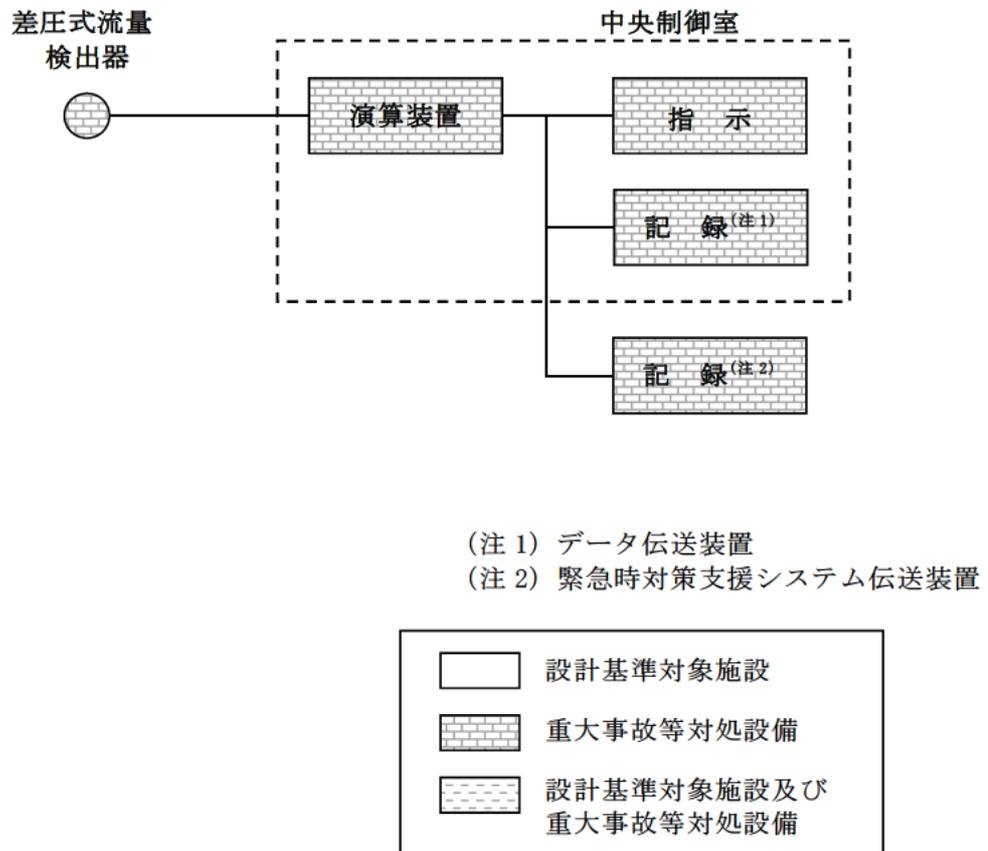


第 58-6-12 図 残留熱除去系熱交換器出口温度の概略構成図

3.2.3 原子炉压力容器本体の入口又は出口の原子炉冷却材の流量

(1) 高圧代替注水系系統流量

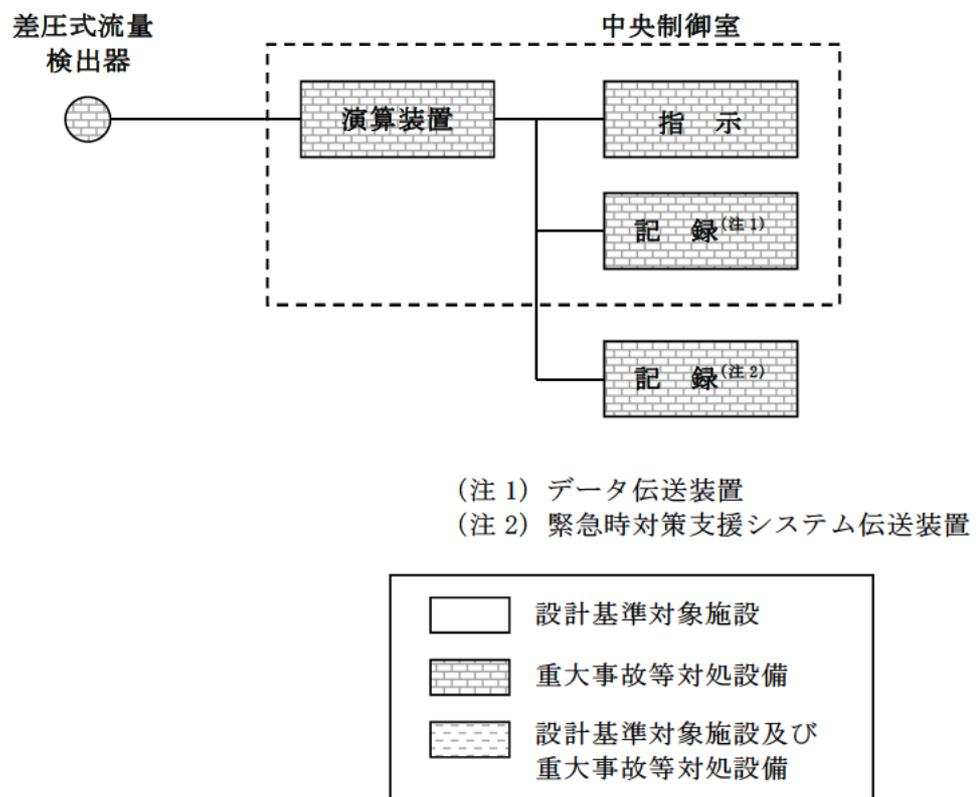
高圧代替注水系系統流量は、重大事故等対処設備の機能を有しており、高圧代替注水系系統流量の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を、演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後、高圧代替注水系系統流量を中央制御室に指示し、記録する。(第58-6-13図「高圧代替注水系系統流量の概略構成図」参照。)



第58-6-13図 高圧代替注水系系統流量の概略構成図

(2) 低圧代替注水系原子炉注水流量

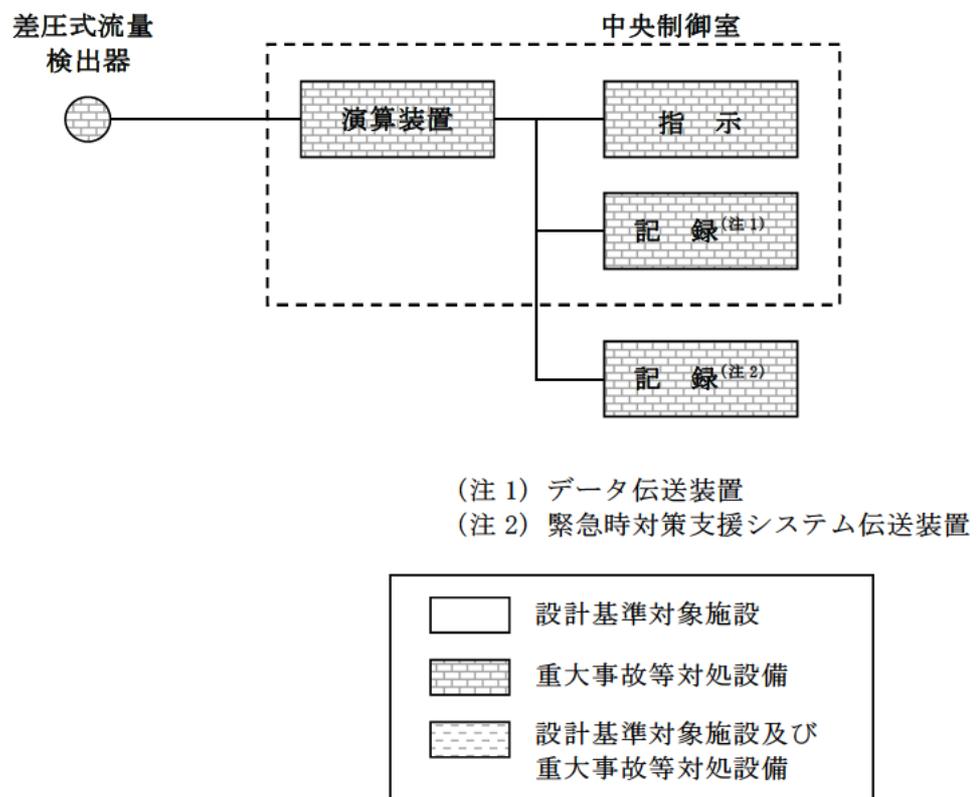
低圧代替注水系原子炉注水流量は、重大事故等対処設備の機能を有しており、低圧代替注水系原子炉注水流量の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を、演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後、低圧代替注水系原子炉注水流量を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-14 図「低圧代替注水系原子炉注水流量の概略構成図」参照。)



第 58-6-14 図 低圧代替注水系原子炉注水流量の概略構成図

(3) 代替循環冷却系原子炉注水流量

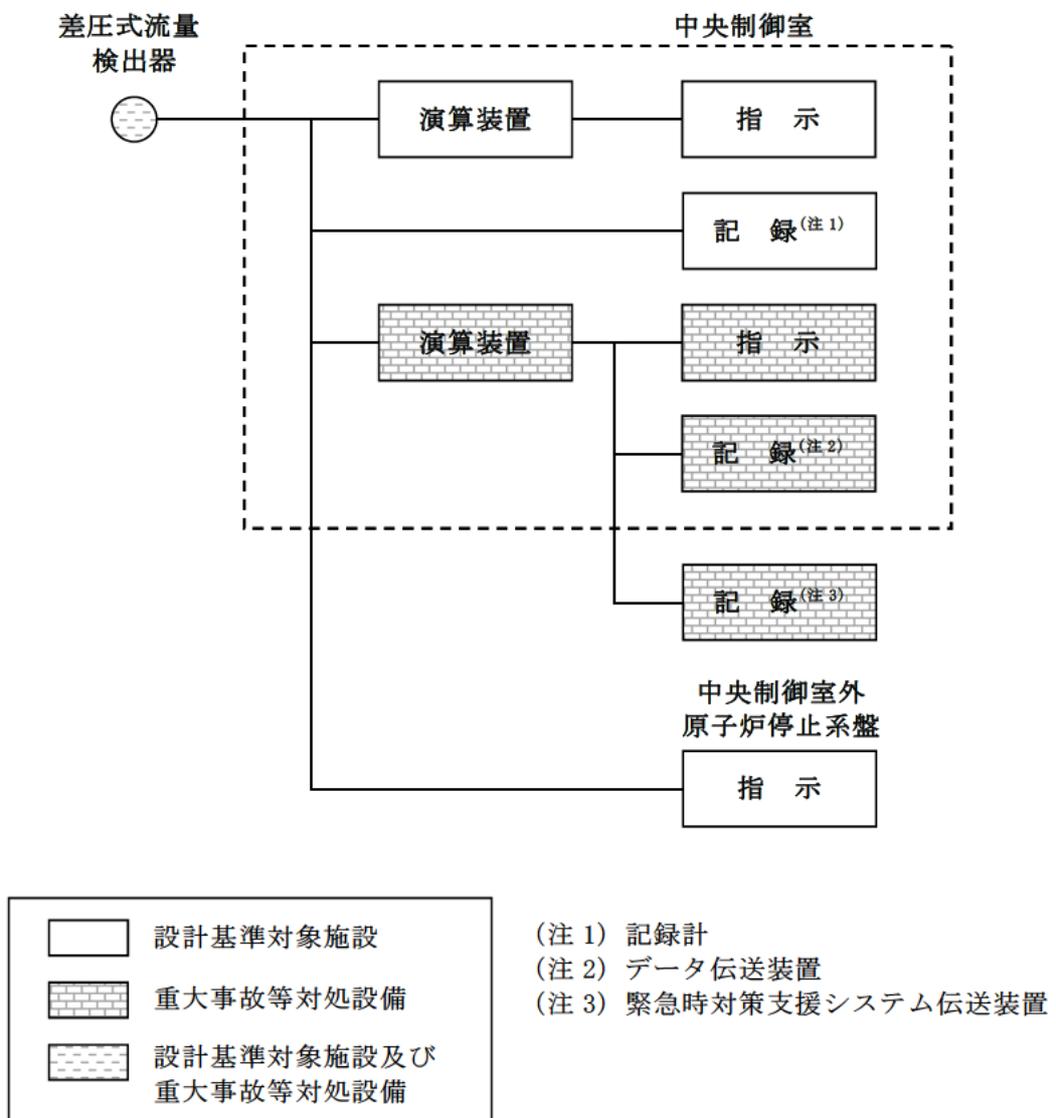
代替循環冷却系原子炉注水流量は、重大事故等対処設備の機能を有しており、代替循環冷却系原子炉注水流量の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を、演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後、代替循環冷却系原子炉注水流量を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-15 図「代替循環冷却系原子炉注水流量の概略構成図」参照。)



第 58-6-15 図 代替循環冷却系原子炉注水流量の概略構成図

(4) 原子炉隔離時冷却系系統流量

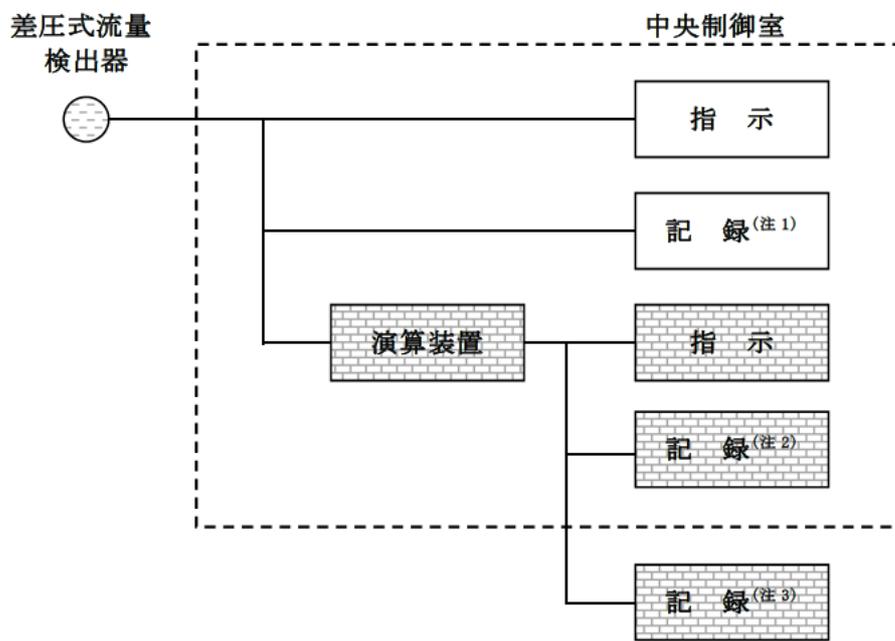
原子炉隔離時冷却系系統流量は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉隔離時冷却系系統流量の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を、演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後、原子炉隔離時冷却系系統流量を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-16 図「原子炉隔離時冷却系系統流量の概略構成図」参照。)



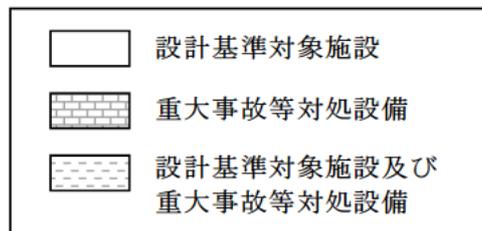
第 58-6-16 図 原子炉隔離時冷却系系統流量の概略構成図

(5) 高圧炉心スプレイ系系統流量

高圧炉心スプレイ系系統流量は，設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており，高圧炉心スプレイ系系統流量の検出信号は，差圧式流量検出器からの電流信号を，演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後，高圧炉心スプレイ系系統流量を中央制御室に指示し，記録する。(第 58-6-17 図「高圧炉心スプレイ系系統流量の概略構成図」参照。)



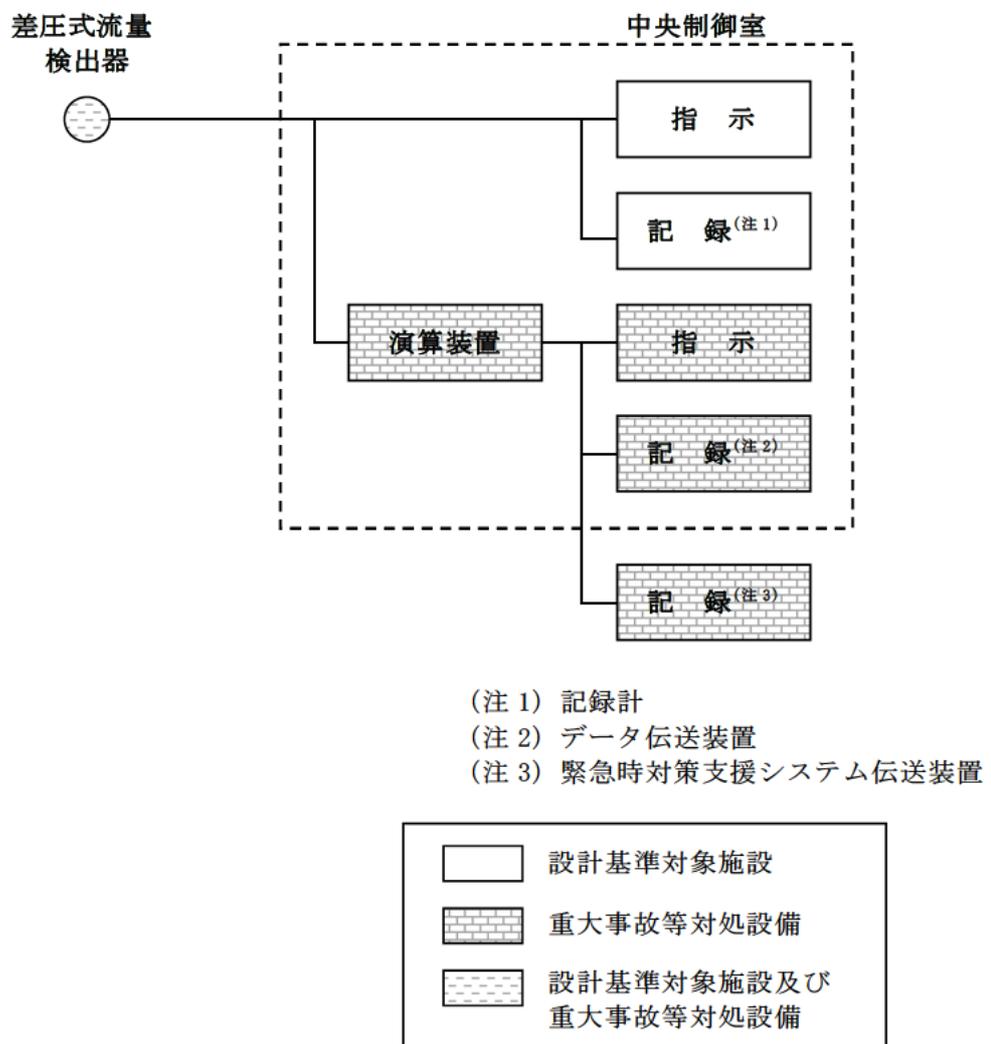
- (注 1) 記録計
- (注 2) データ伝送装置
- (注 3) 緊急時対策支援システム伝送装置



第 58-6-17 図 高圧炉心スプレイ系系統流量の概略構成図

(6) 残留熱除去系系統流量

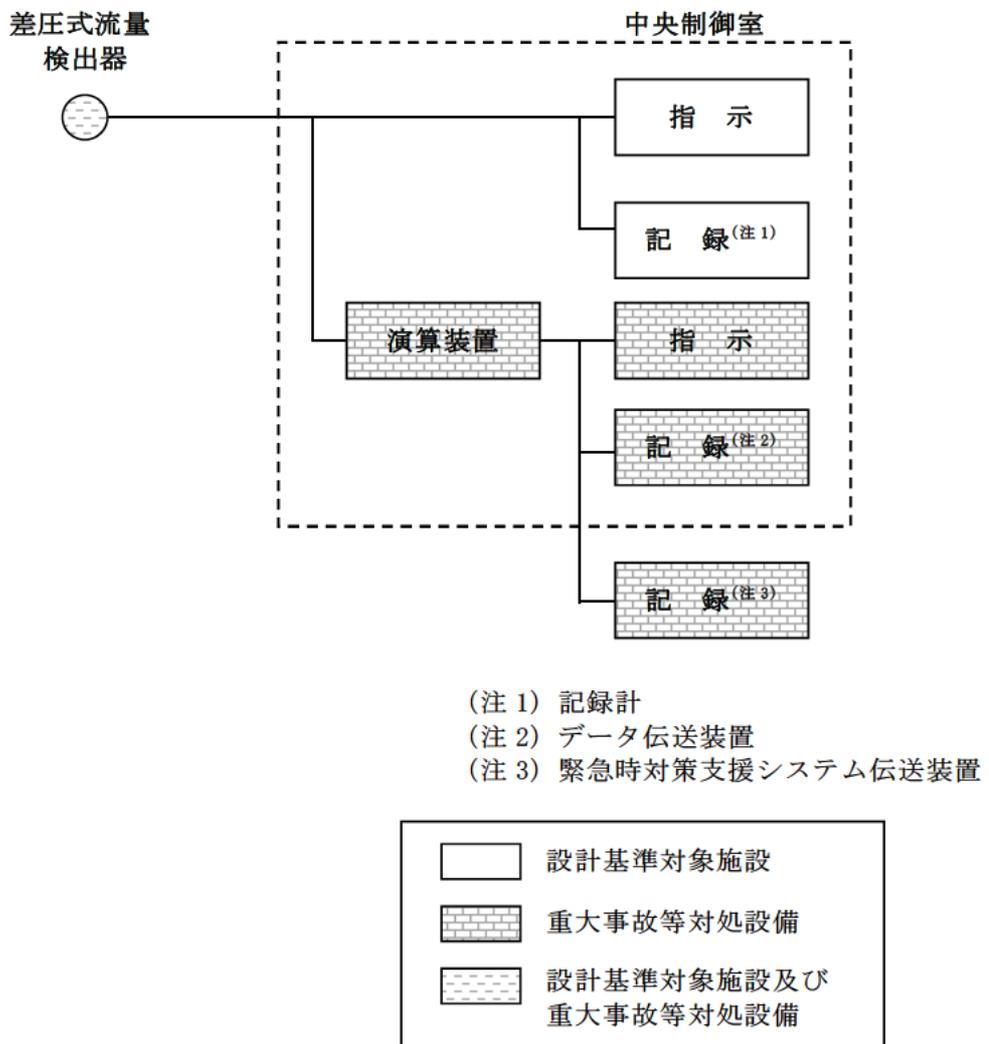
残留熱除去系系統流量は，設計基準対象施設及び重大事故等対象設備の機能を有しており，残留熱除去系系統流量の検出信号は，差圧式流量検出器からの電流信号を，演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後，残留熱除去系系統流量を中央制御室に指示し，記録する。（第 58-6-18 図「残留熱除去系系統流量の概略構成図」参照。）



第 58-6-18 図 残留熱除去系系統流量の概略構成図

(7) 低圧炉心スプレイ系系統流量

低圧炉心スプレイ系系統流量は，設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており，低圧炉心スプレイ系系統流量の検出信号は，差圧式流量検出器からの電流信号を，演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後，低圧炉心スプレイ系系統流量を中央制御室に指示し，記録する。(第 58-6-19 図「低圧炉心スプレイ系系統流量の概略構成図」参照。)



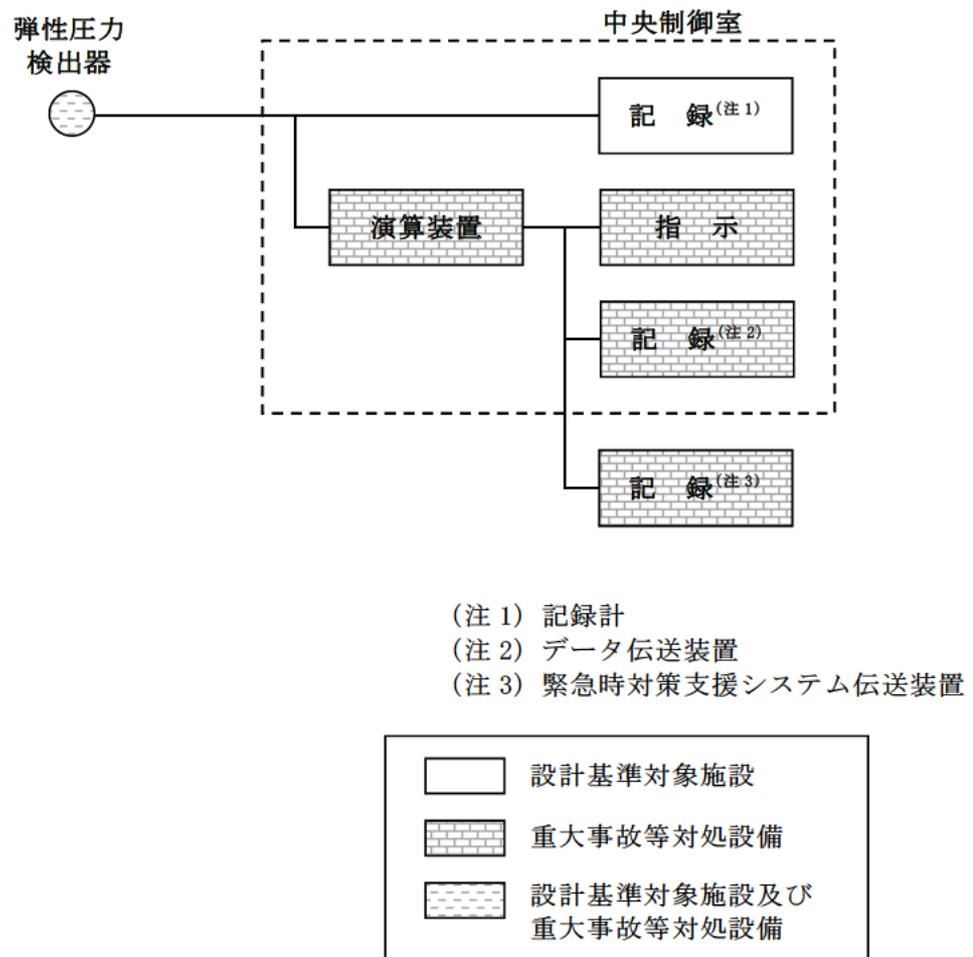
第 58-6-19 図 低圧炉心スプレイ系系統流量の概略構成図

3.3 原子炉压力容器本体内の圧力又は水位を計測する装置

3.3.1 原子炉压力容器本体内の圧力

(1) 原子炉圧力

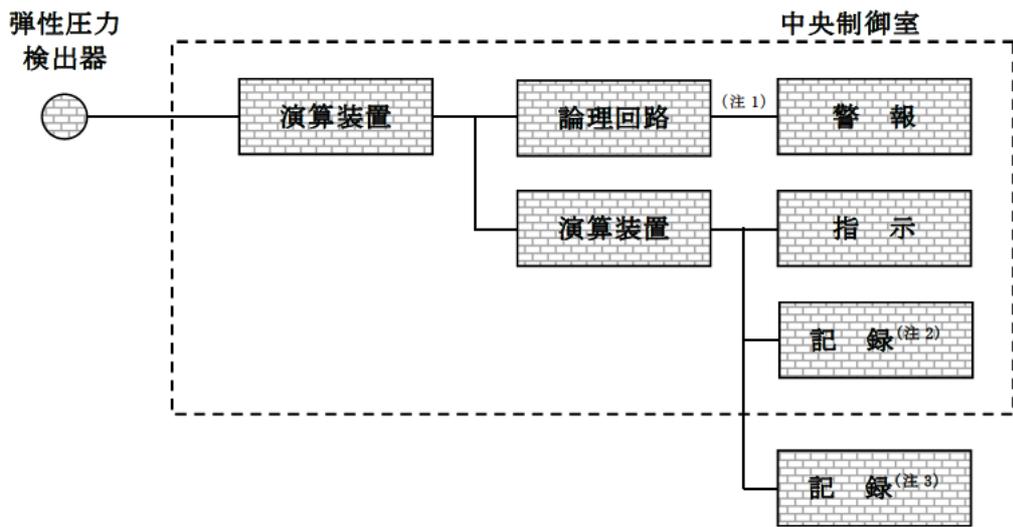
原子炉圧力は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉圧力の検出信号は、弾性圧力検出器からの電流信号を、演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、原子炉圧力を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-20 図「原子炉圧力の概略構成図」参照。)



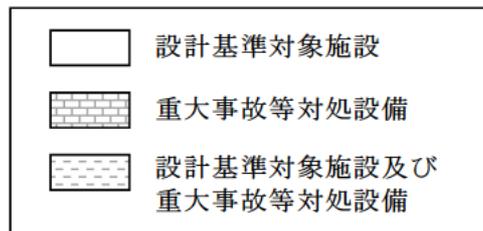
第 58-6-20 図 原子炉圧力の概略構成図

(2) 原子炉圧力 (S A)

原子炉圧力 (S A) は、重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉圧力 (S A) の検出信号は、弾性圧力検出器からの電流信号を、演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-21 図「原子炉圧力 (S A) の概略構成図」参照。)



- (注 1) 代替制御棒挿入
- (注 1) 代替原子炉再循環ポンプトリップ
- (注 2) データ伝送装置
- (注 3) 緊急時対策支援システム伝送装置

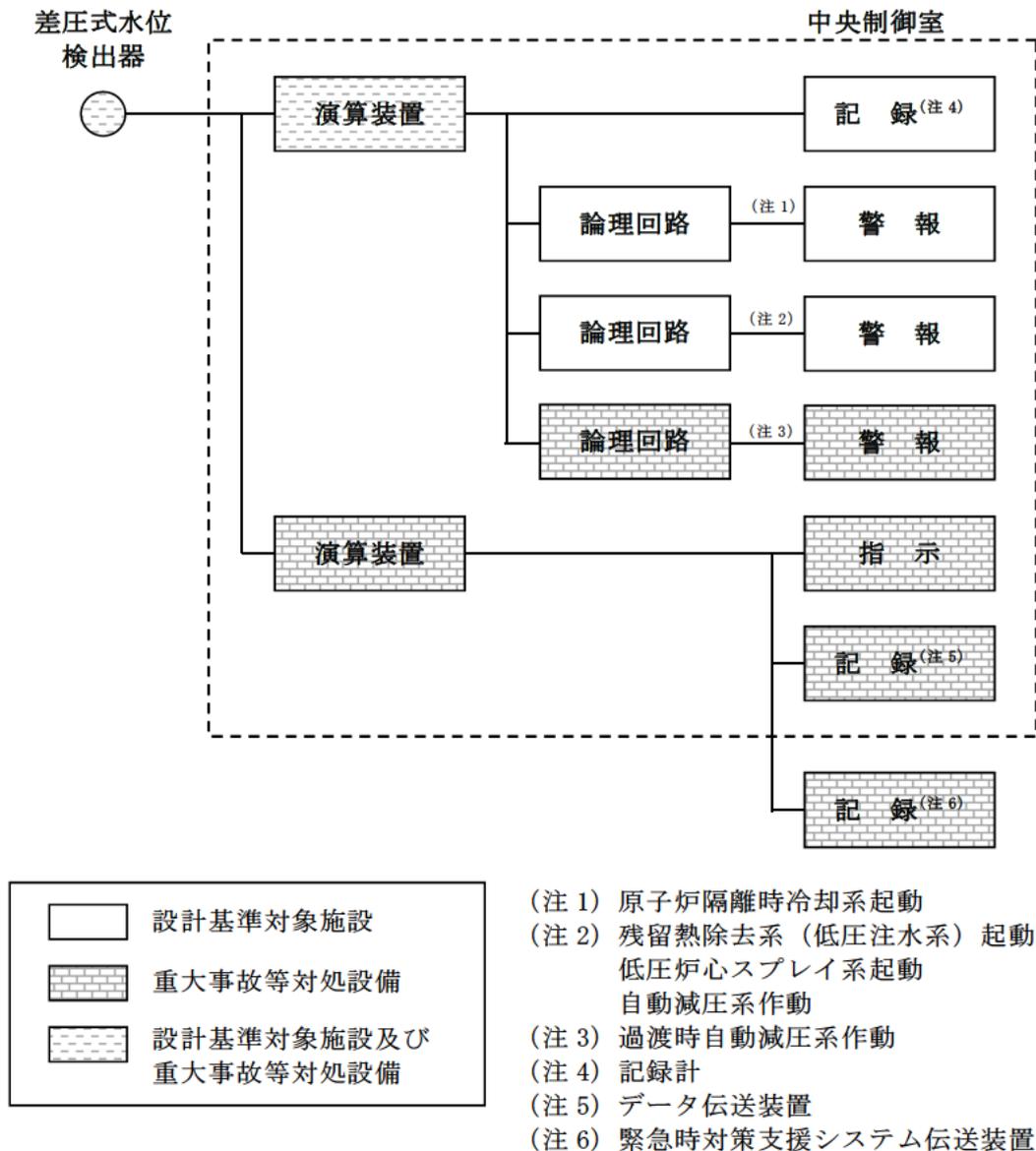


第 58-6-21 図 原子炉圧力 (S A) の概略構成図

3.3.2 原子炉压力容器本体内の水位

(1) 原子炉水位（広帯域）

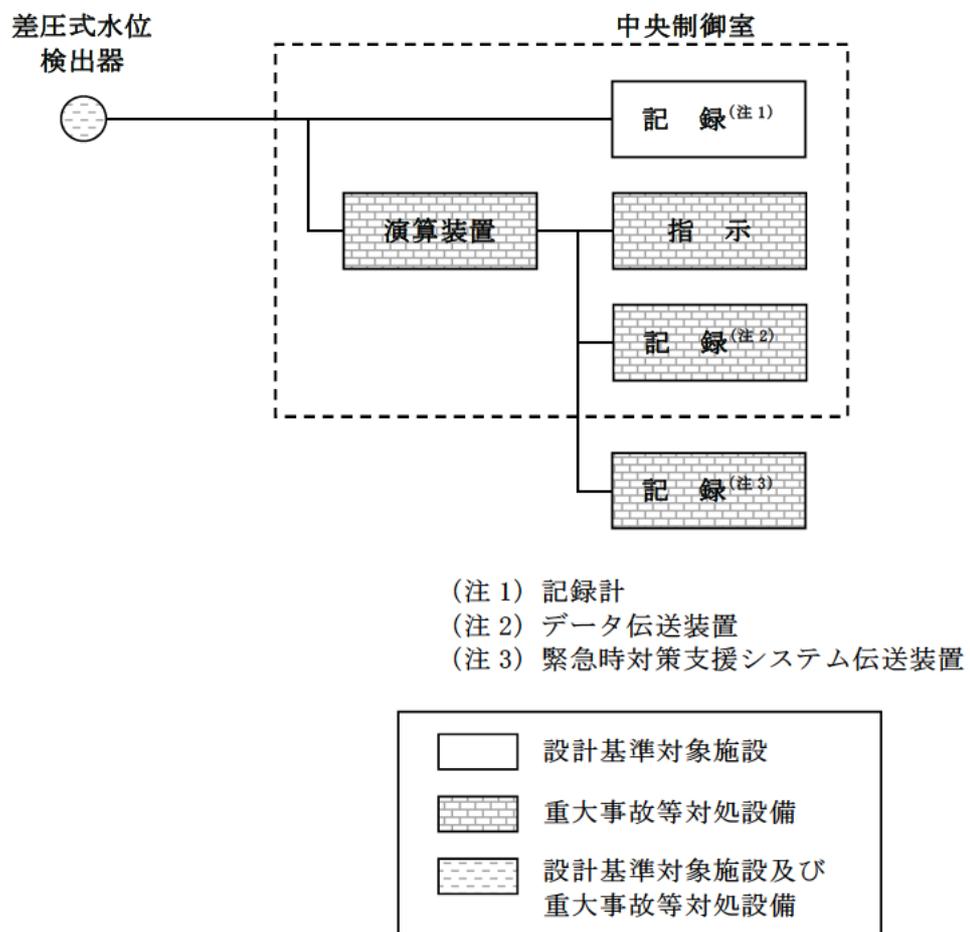
原子炉水位（広帯域）は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉水位（広帯域）の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を、演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、原子炉水位（広帯域）を中央制御室に指示し、記録する。（第 58-6-22 図「原子炉水位（広帯域）の概略構成図」参照。）



第 58-6-22 図 原子炉水位（広帯域）の概略構成図

(2) 原子炉水位（燃料域）

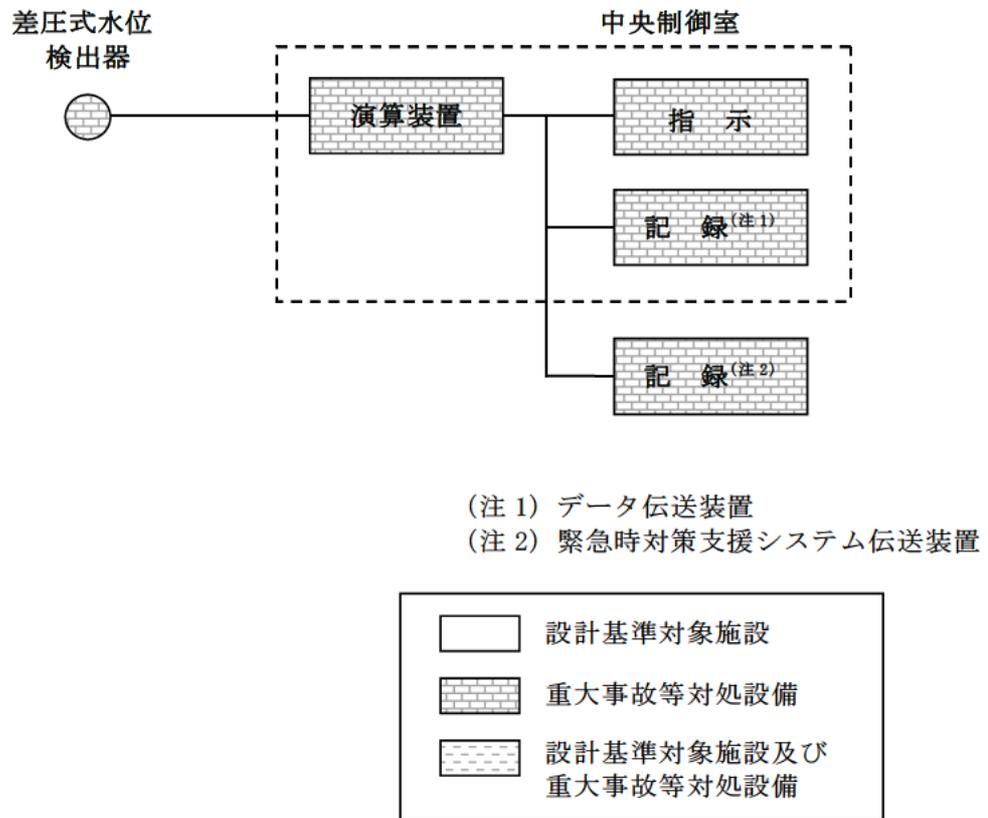
原子炉水位（燃料域）は，設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており，原子炉水位（燃料域）の検出信号は，差圧式水位検出器からの電流信号を，演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後，原子炉水位（燃料域）を中央制御室に指示し，記録する。（第 58－6－23 図「原子炉水位（燃料域）の概略構成図」参照。）



第 58－6－23 図 原子炉水位（燃料域）の概略構成図

(3) 原子炉水位（S A広帯域）、原子炉水位（S A燃料域）

原子炉水位（S A広帯域）、原子炉水位（S A燃料域）は、重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉水位（S A広帯域）、原子炉水位（S A燃料域）の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を、演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、原子炉水位（S A広帯域）、原子炉水位（S A燃料域）を中央制御室に指示し、記録する。（第 58-6-24 図「原子炉水位（S A広帯域）、原子炉水位（S A燃料域）の概略構成図」参照。）



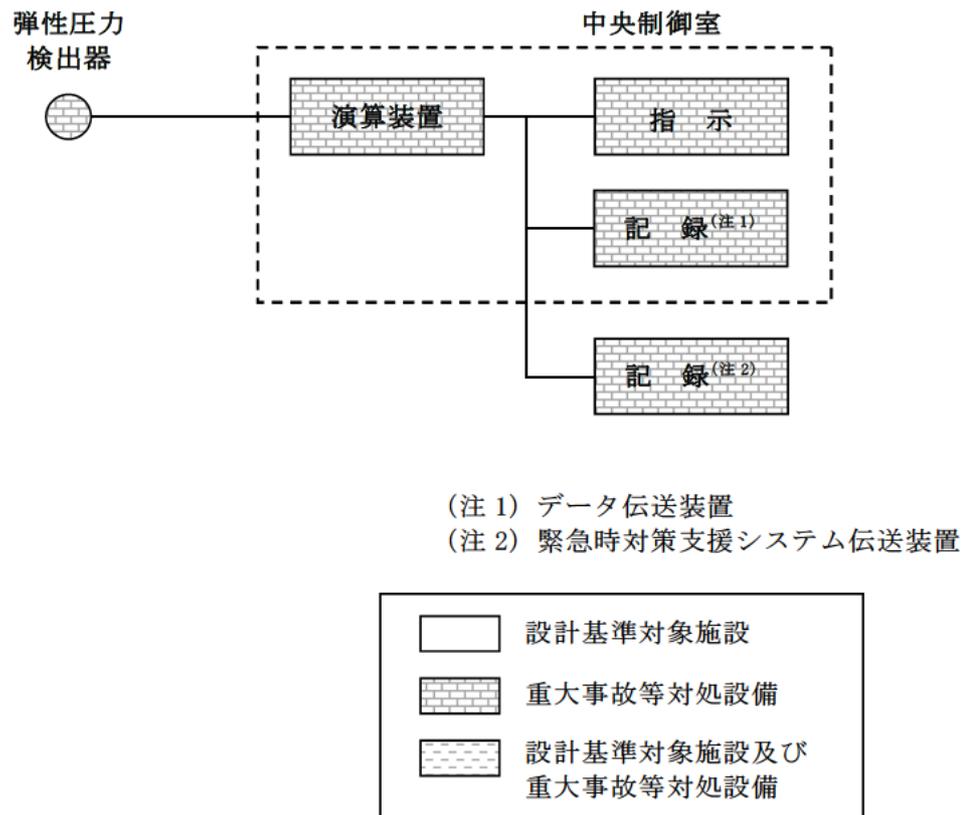
第 58-6-24 図 原子炉水位（S A広帯域）、原子炉水位（S A燃料域）の概略構成図

3.4 原子炉格納容器本体内の圧力，温度，酸素ガス濃度又は水素ガス濃度を計測する装置

3.4.1 原子炉格納容器本体内の圧力

(1) ドライウェル圧力

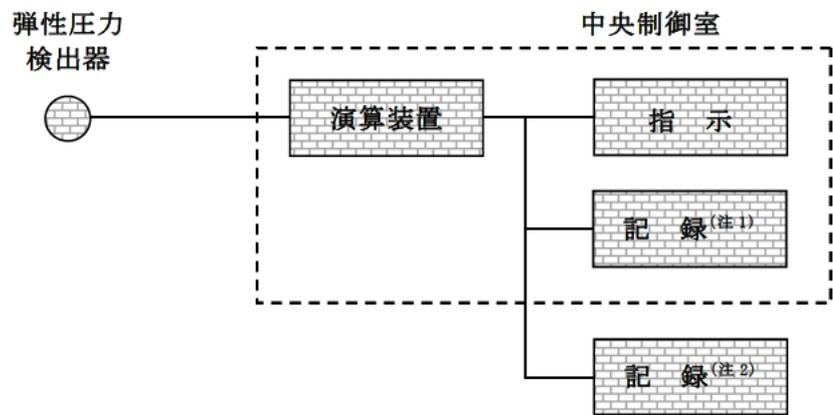
ドライウェル圧力は，重大事故等対処設備の機能を有しており，ドライウェル圧力の検出信号は，弾性圧力検出器からの電流信号を，演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後，ドライウェル圧力を中央制御室に指示し，記録する。（第 58-6-25 図「ドライウェル圧力の概略構成図」参照。）



第 58-6-25 図 ドライウェル圧力の概略構成図

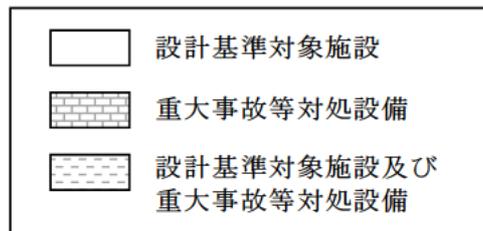
(2) サプレッション・チェンバ圧力

サプレッション・チェンバ圧力は、重大事故等対処設備の機能を有しており、サプレッション・チェンバ圧力の検出信号は、弾性圧力検出器からの電流信号を、演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後、サプレッション・チェンバ圧力を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-26 図「サプレッション・チェンバ圧力の概略構成図」参照。)



(注 1) データ伝送装置

(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置

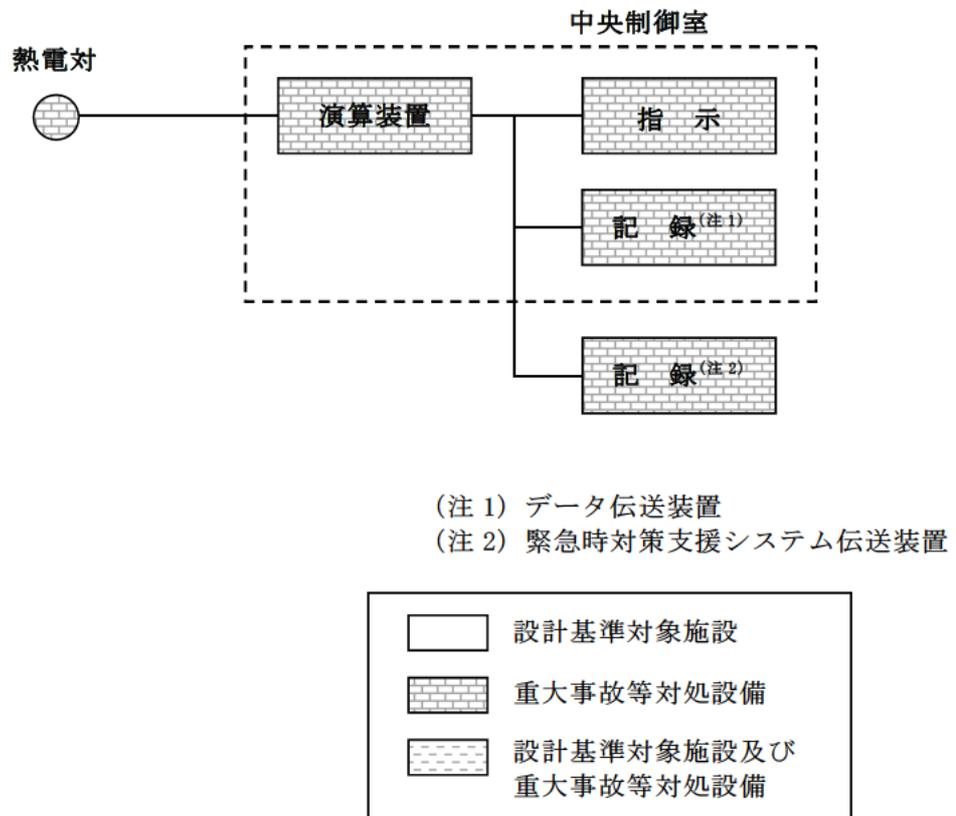


第 58-6-26 図 サプレッション・チェンバ圧力の概略構成図

3.4.2 原子炉格納容器本体内の温度

(1) ドライウェル雰囲気温度

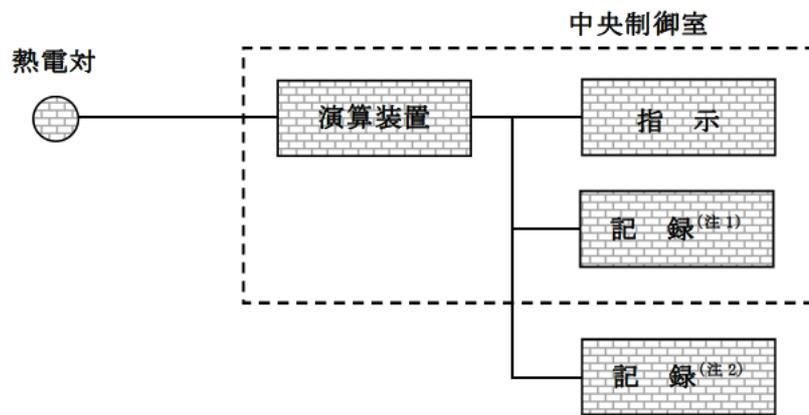
ドライウェル雰囲気温度は、重大事故等対処設備の機能を有しており、ドライウェル雰囲気温度の検出信号は、熱電対からの起電力を、演算装置にて温度信号に変換する処理を行った後、ドライウェル雰囲気温度を中央制御室に指示し、記録する。(第58-6-27図「ドライウェル雰囲気温度の概略構成図」参照。)



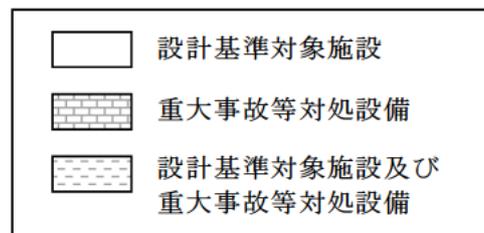
第58-6-27図 ドライウェル雰囲気温度の概略構成図

(2) サプレッション・チェンバ雰囲気温度

サプレッション・チェンバ雰囲気温度は、重大事故等対処設備の機能を有しており、サプレッション・チェンバ雰囲気温度の検出信号は、熱電対からの起電力を、演算装置にて温度信号に変換する処理を行った後、サプレッション・チェンバ雰囲気温度を中央制御室に指示し、記録する。(第58-6-28 図「サプレッション・チェンバ雰囲気温度の概略構成図」参照。)



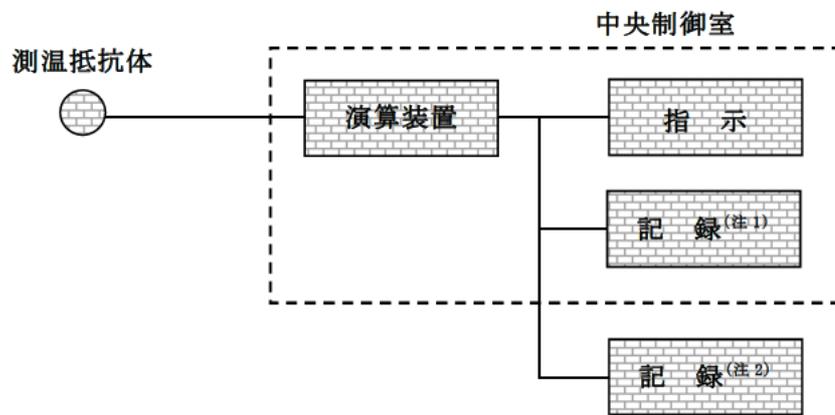
(注 1) データ伝送装置
(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置



第 58-6-28 図 サプレッション・チェンバ雰囲気温度の概略構成図

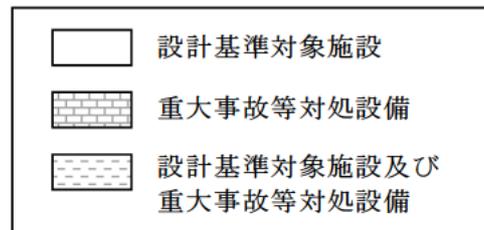
(3) サプレッション・プール水温度

サプレッション・プール水温度は、重大事故等対処設備の機能を有しており、サプレッション・プール水温度の検出信号は、测温抵抗体の抵抗値を、演算装置にて温度信号に変換する処理を行った後、サプレッション・プール水温度を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-29 図「サプレッション・プール水温度の概略構成図」参照。)



(注 1) データ伝送装置

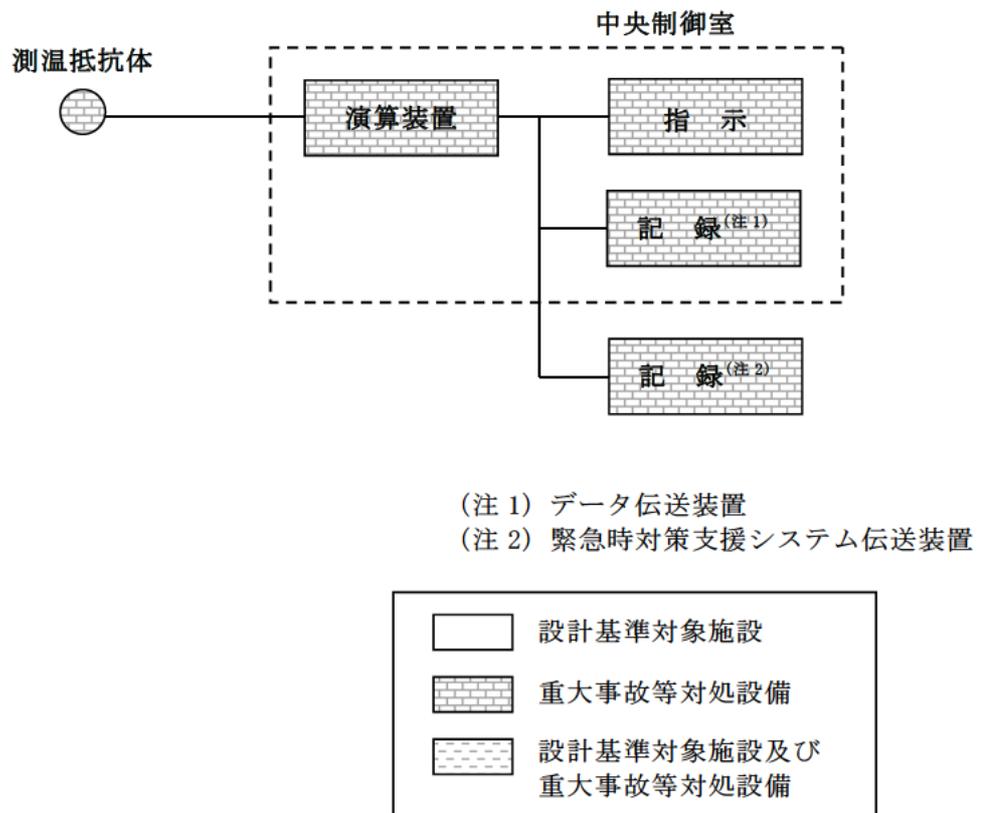
(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置



第 58-6-29 図 サプレッション・プール水温度の概略構成図

(4) 格納容器下部水温

格納容器下部水温は，重大事故等対処設備の機能を有しており，格納容器下部水温の検出信号は，測温抵抗体の抵抗値を，演算装置にて温度信号に変換する処理を行った後，格納容器下部水温を中央制御室に指示し，記録する。（第 58-6-30 図「格納容器下部水温の概略構成図」参照。）

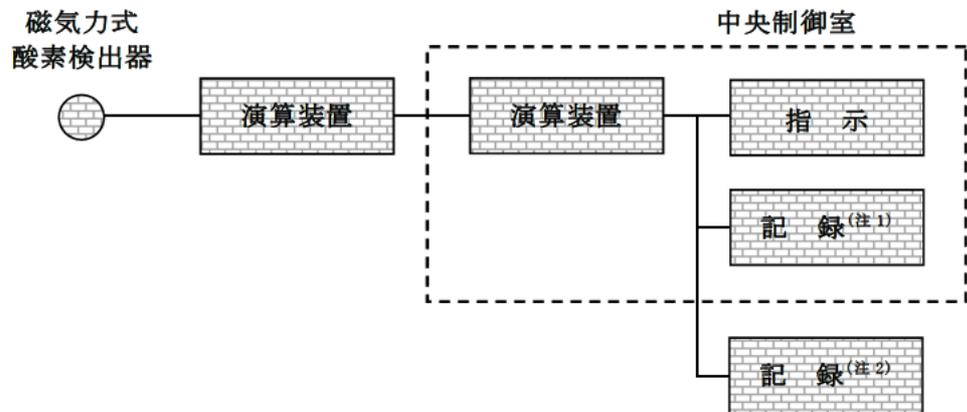


第 58-6-30 図 格納容器下部水温の概略構成図

3.4.3 原子炉格納容器本体内の酸素ガス濃度

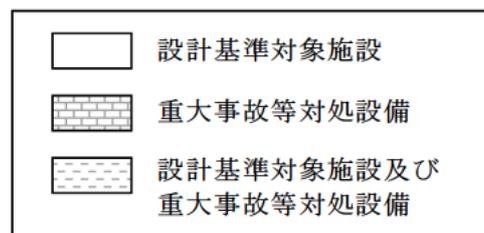
(1) 格納容器内酸素濃度 (S A)

格納容器内酸素濃度 (S A) は、重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器内酸素濃度 (S A) の検出信号は、磁気力式酸素検出器からの電流信号を、演算装置にて酸素濃度信号へ変換する処理を行った後、格納容器内酸素濃度 (S A) を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-31 図「格納容器内酸素濃度 (S A) の概略構成図」参照。)



(注 1) データ伝送装置

(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置

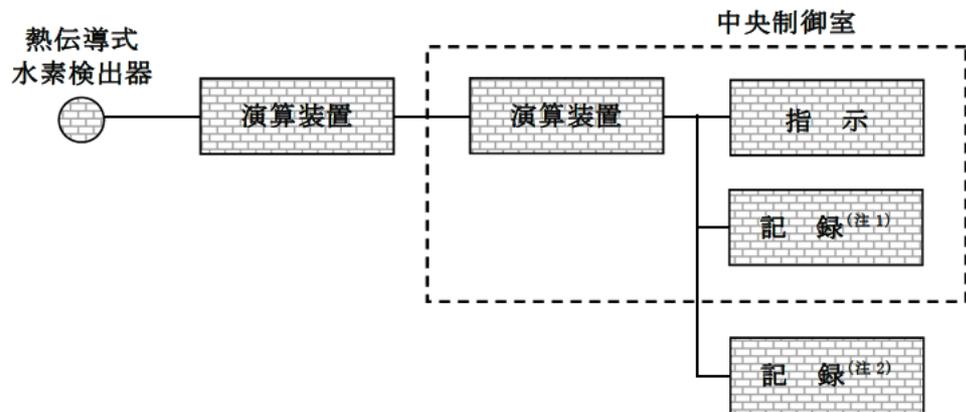


第 58-6-31 図 格納容器内酸素濃度 (S A) の概略構成図

3.4.4 原子炉格納容器本体内の水素ガス濃度

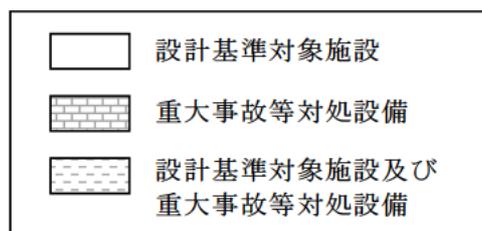
(1) 格納容器内水素濃度 (S A)

格納容器内水素濃度 (S A) は、重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器内水素濃度 (S A) の検出信号は、熱伝導式水素検出器からの電流信号を、演算装置にて水素濃度信号へ変換する処理を行った後、格納容器内水素濃度 (S A) を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-32 図「格納容器内水素濃度 (S A) の概略構成図」参照。)



(注 1) データ伝送装置

(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置

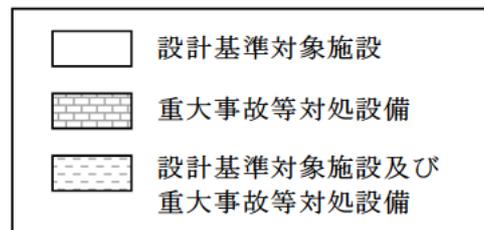
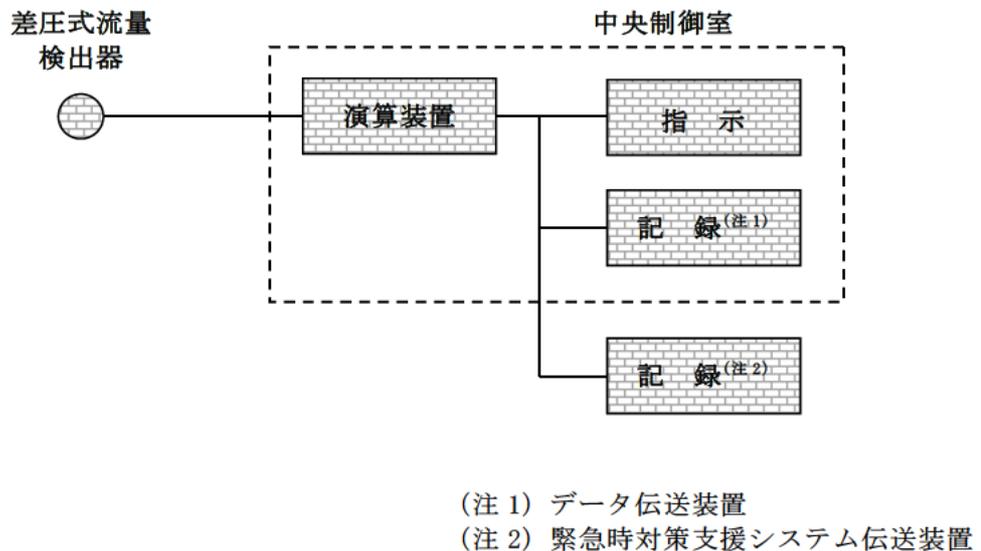


第 58-6-32 図 格納容器内水素濃度 (S A) の概略構成図

3.5 原子炉格納容器本体への冷却材流量を計測する装置

(1) 低圧代替注水系格納容器スプレイ流量

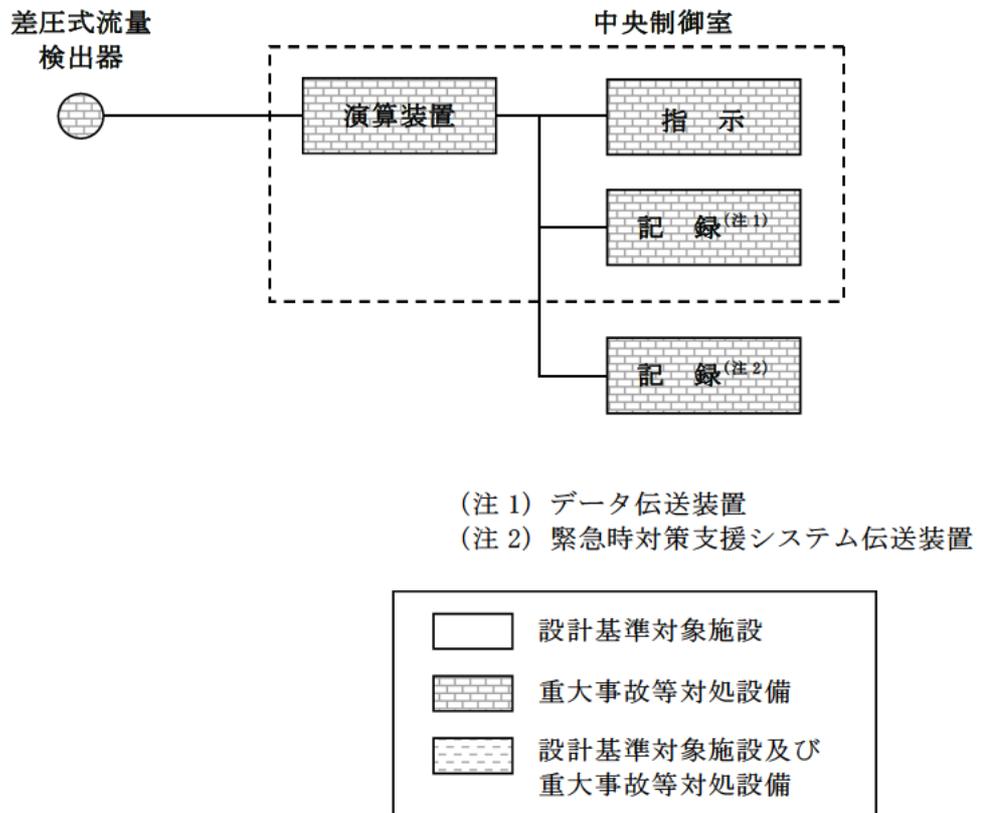
低圧代替注水系格納容器スプレイ流量は、重大事故等対処設備の機能を有しており、低圧代替注水系格納容器スプレイ流量の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を、演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後、低圧代替注水系格納容器スプレイ流量を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-33 図「低圧代替注水系格納容器スプレイ流量の概略構成図」参照。)



第 58-6-33 図 低圧代替注水系格納容器スプレイ流量の概略構成図

(2) 低圧代替注水系格納容器下部注水流量

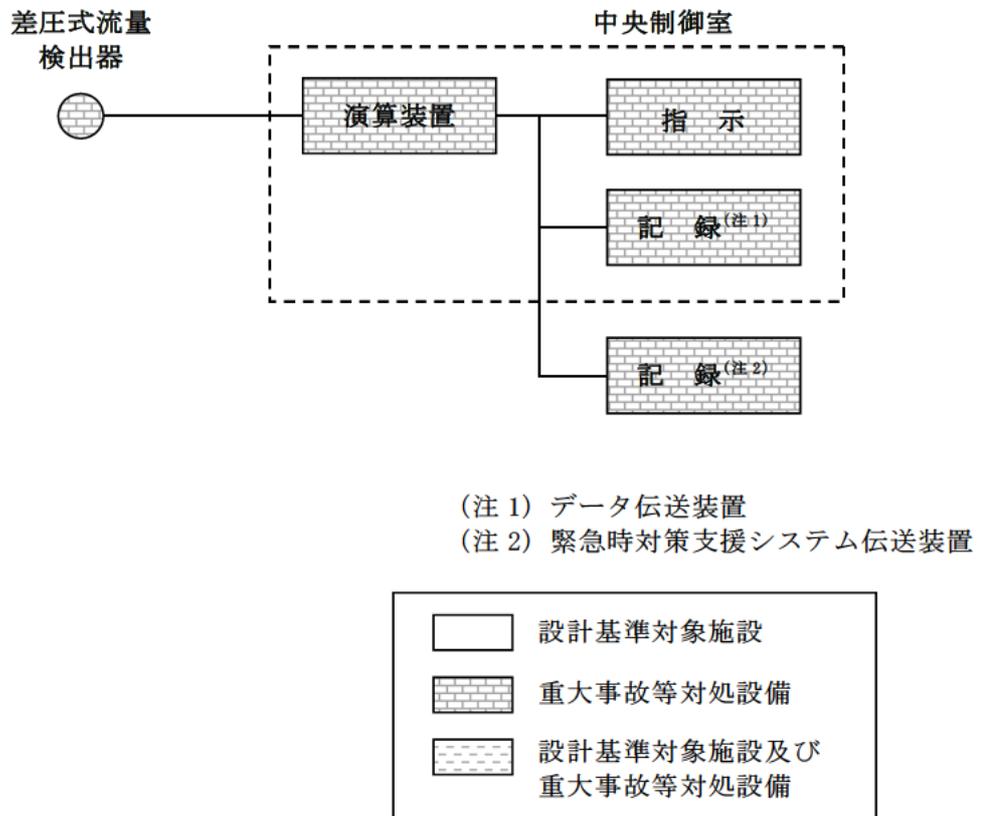
低圧代替注水系格納容器下部注水流量は、重大事故等対処設備の機能を有しており、低圧代替注水系格納容器下部注水流量の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を、演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後、低圧代替注水系格納容器下部注水流量を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-34 図「低圧代替注水系格納容器下部注水流量の概略構成図」参照。)



第 58-6-34 図 低圧代替注水系格納容器下部注水流量の概略構成図

(3) 代替循環冷却系格納容器スプレイ流量

代替循環冷却系格納容器スプレイ流量は，重大事故等対処設備の機能を有しており，代替循環冷却系格納容器スプレイ流量の検出信号は，差圧式流量検出器からの電流信号を，演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後，代替循環冷却系格納容器スプレイ流量を中央制御室に指示し，記録する。（第 58-6-35 図「代替循環冷却系格納容器スプレイ流量の概略構成図」参照。）

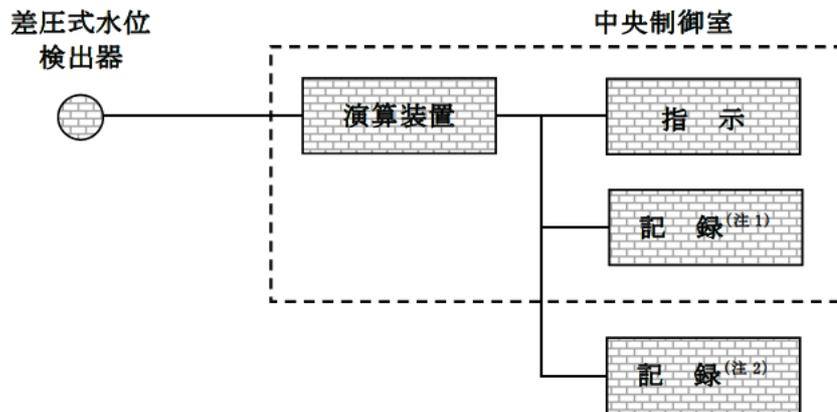


第 58-6-35 図 代替循環冷却系格納容器スプレイ流量の概略構成図

3.6 原子炉格納容器本体の水位を計測する装置

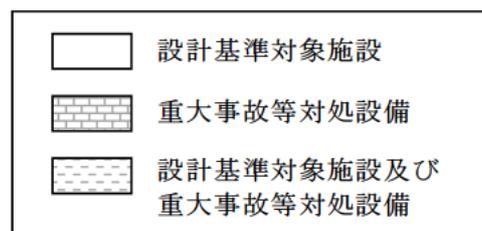
(1) サプレッション・プール水位

サプレッション・プール水位は、重大事故等対処設備の機能を有しており、サプレッション・プール水位の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を、演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、サプレッション・プール水位を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-36 図「サプレッション・プール水位の概略構成図」参照。)



(注 1) データ伝送装置

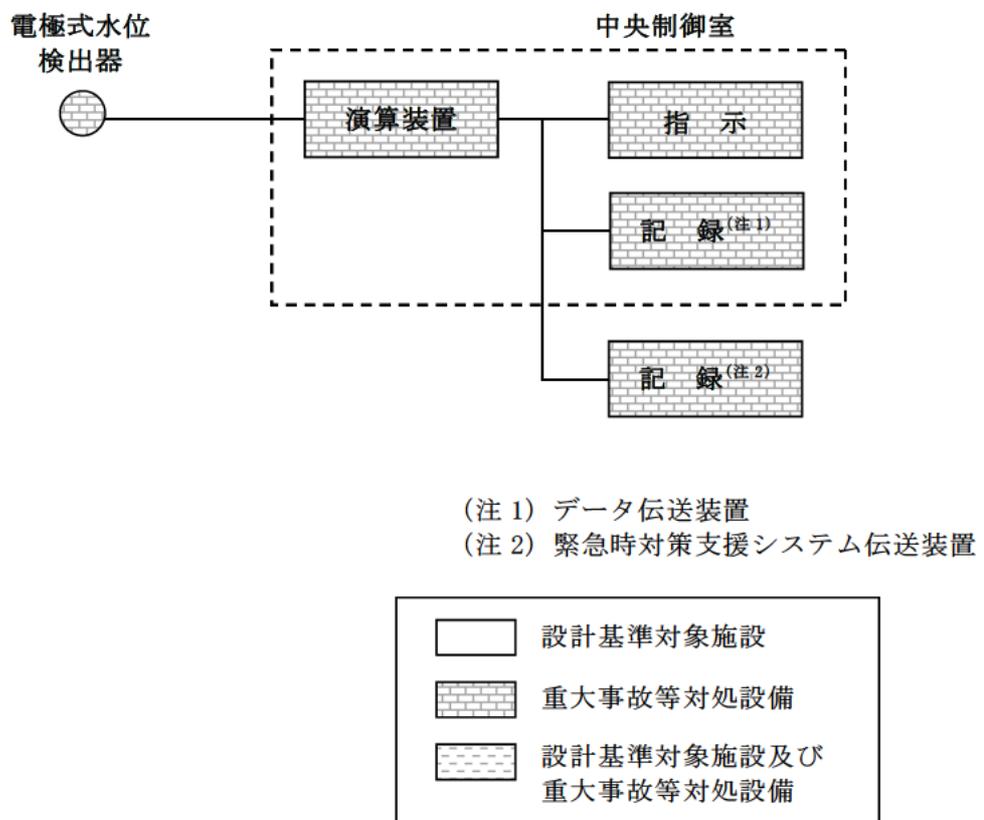
(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置



第 58-6-36 図 サプレッション・プール水位の概略構成図

(2) 格納容器下部水位

格納容器下部水位は，重大事故等対処設備の機能を有しており，格納容器下部水位の検出信号は，電極式水位検出器からの水位状態（ON-OFF 信号）を，演算装置にて電気信号へ変換する処理を行った後，中央制御室に指示し，記録する。（第 58-6-37 図「格納容器下部水位の概略構成図」参照。）

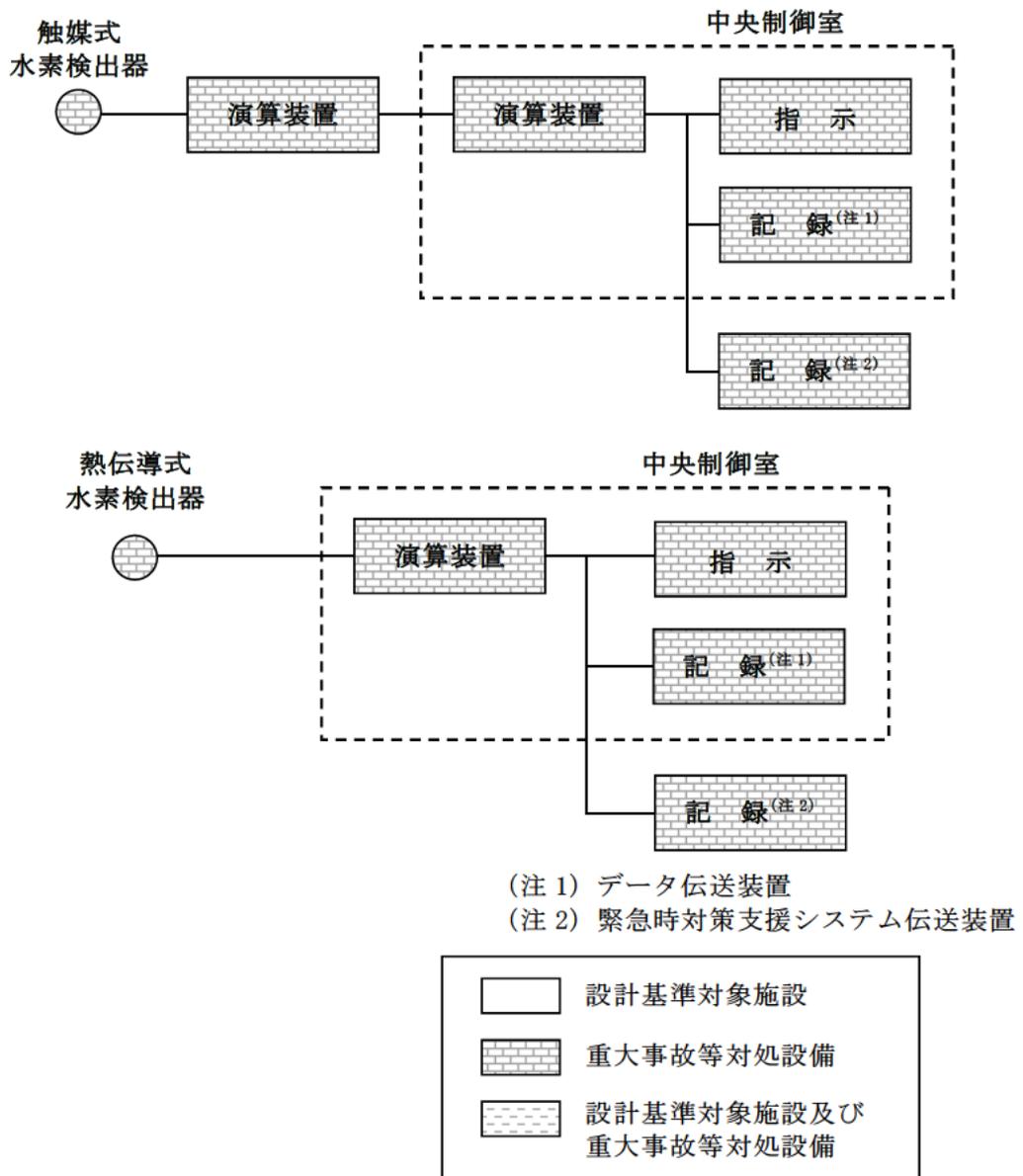


第 58-6-37 図 格納容器下部水位の概略構成図

3.7 原子炉建屋内の水素ガス濃度を計測する装置

(1) 原子炉建屋水素濃度

原子炉建屋水素濃度は、重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉建屋水素濃度の検出信号は、触媒式水素検出器及び熱伝導式水素検出器からの電流信号を、演算装置にて水素濃度信号へ変換する処理を行った後、原子炉建屋水素濃度を中央制御室に指示し、記録する。(第58-6-38図「原子炉建屋水素濃度の概略構成図」参照。)

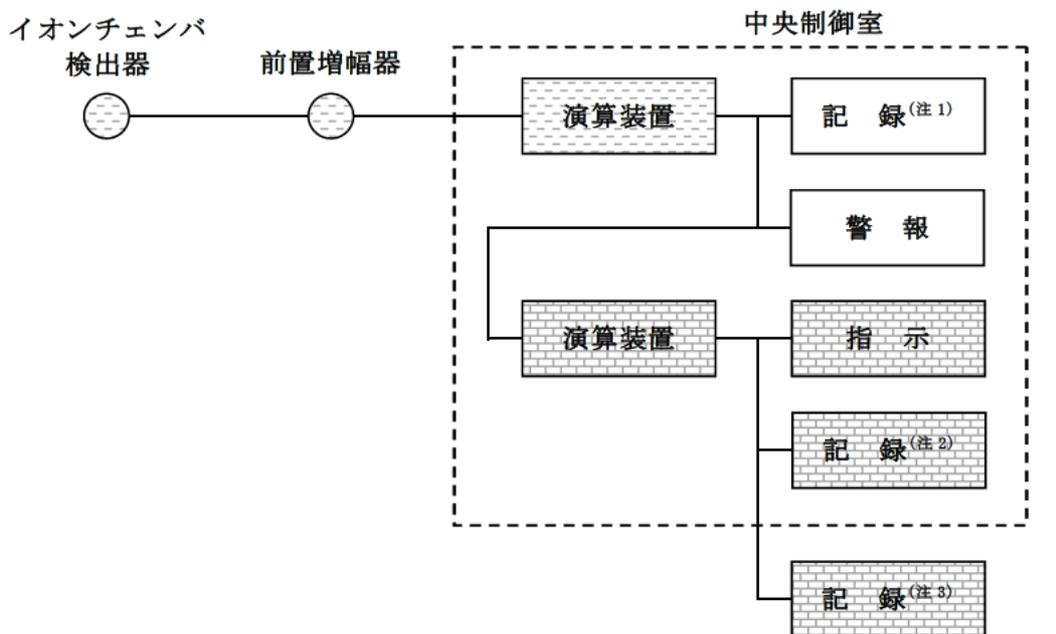


第58-6-38図 原子炉建屋水素濃度の概略構成図

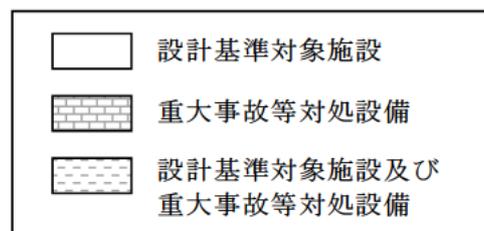
3.8 放射線管理用計測装置

(1) 格納容器雰囲気放射線モニタ (D/W)

格納容器雰囲気放射線モニタ (D/W) は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器雰囲気放射線モニタ (D/W) の検出信号は、イオンチェンバ検出器からの電流信号を前置増幅器で増幅し、演算装置にて放射線量率信号に変換する処理を行った後、放射線量率を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-39 図「格納容器雰囲気放射線モニタ (D/W) の概略構成図」参照。)



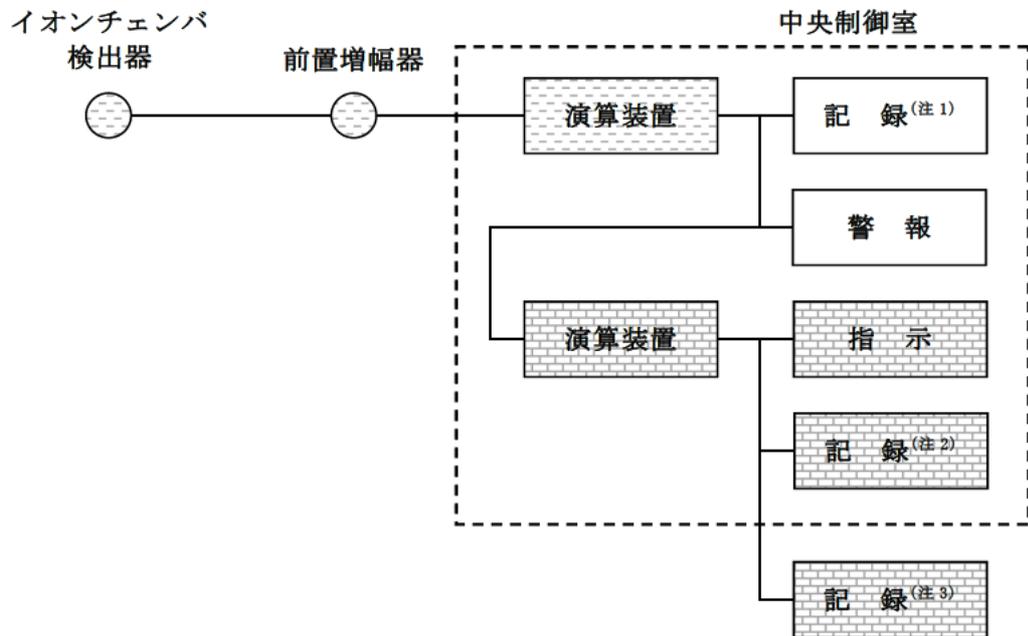
- (注 1) 記録計
- (注 2) データ伝送装置
- (注 3) 緊急時対策支援システム伝送装置



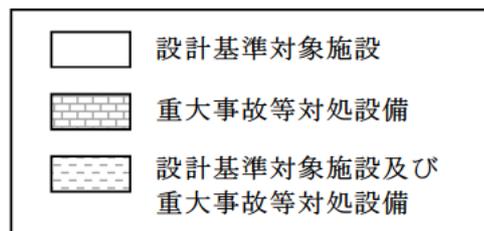
第 58-6-39 図 格納容器雰囲気放射線モニタ (D/W) の概略構成図

(2) 格納容器雰囲気放射線モニタ (S/C)

格納容器雰囲気放射線モニタ (S/C) は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、格納容器雰囲気放射線モニタ (S/C) の検出信号は、イオンチェンバ検出器からの電流信号を前置増幅器で増幅し、演算装置にて放射線量率信号に変換する処理を行った後、放射線量率を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-40 図「格納容器雰囲気放射線モニタ (S/C) の概略構成図」参照。)



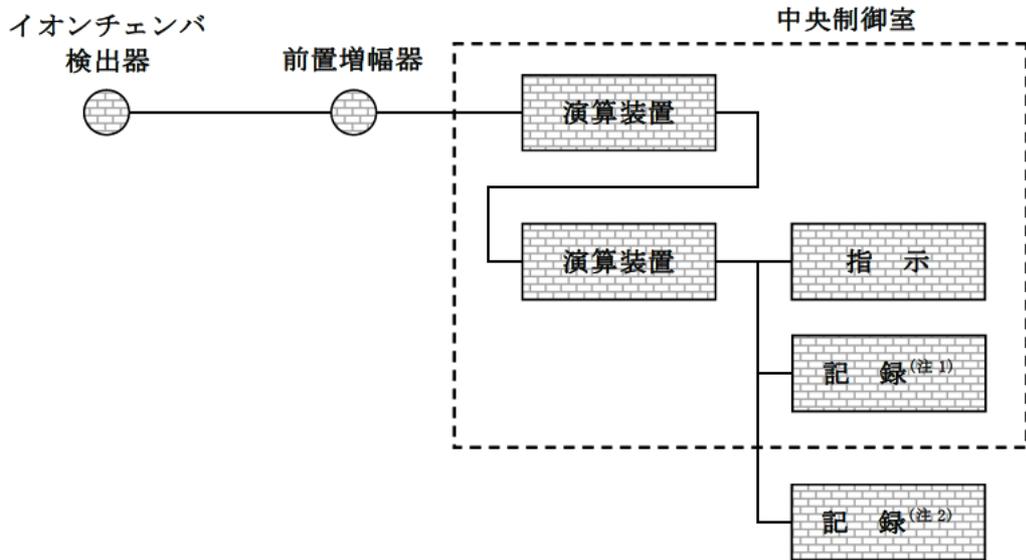
- (注 1) 記録計
- (注 2) データ伝送装置
- (注 3) 緊急時対策支援システム伝送装置



第 58-6-40 図 格納容器雰囲気放射線モニタ (S/C) の概略構成図

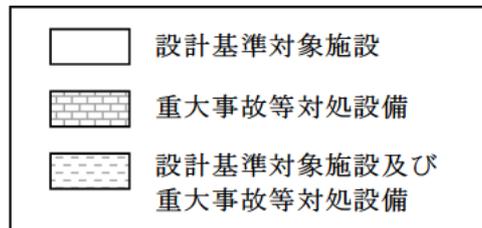
(3) フィルタ装置出口放射線モニタ（高レンジ・低レンジ）

フィルタ装置出口放射線モニタ（高レンジ・低レンジ）は、重大事故等対処設備の機能を有しており、フィルタ装置出口放射線モニタ（高レンジ・低レンジ）の検出信号は、イオンチェンバ検出器からの電流信号を前置増幅器で増幅し、演算装置にて放射線量率信号に変換する処理を行った後、放射線量率を中央制御室に指示し、記録する。（第 58-6-41 図「フィルタ装置出口放射線モニタ（高レンジ・低レンジ）の概略構成図」参照。）



(注 1) データ伝送装置

(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置

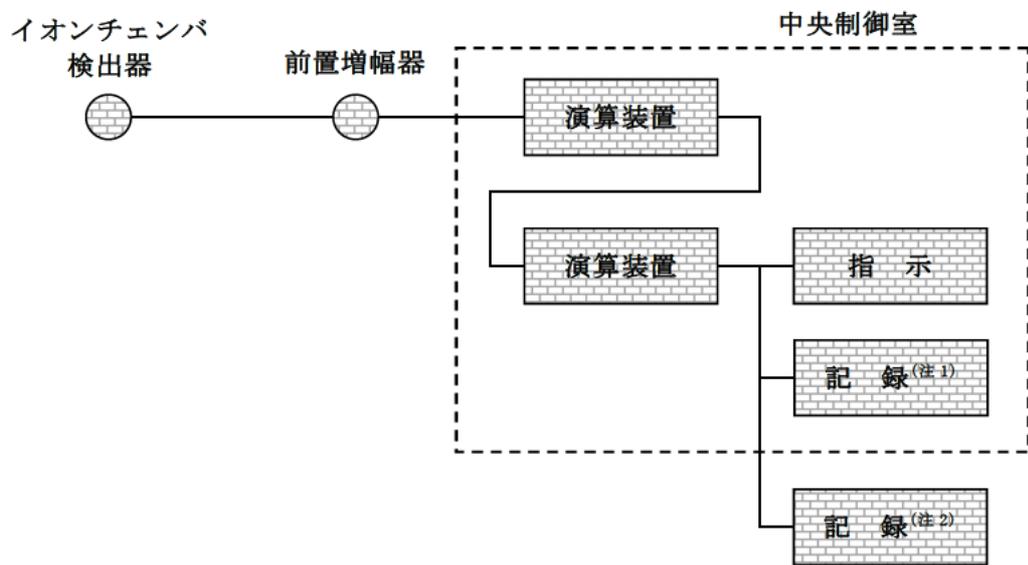


第 58-6-41 図 フィルタ装置出口放射線モニタ
（高レンジ・低レンジ）の概略構成図

(4) 耐圧強化ベント系放射線モニタ

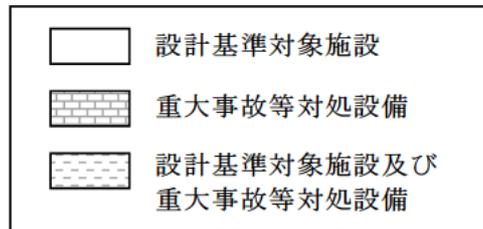
耐圧強化ベント系放射線モニタは、重大事故等対処設備の機能を有しており、耐圧強化ベント系放射線モニタの検出信号は、イオンチェンバ検出器からの電流信号を前置増幅器で増幅し、演算装置にて放射線量率信号に変換する処理を行った後、放射線量率を中央制御室に指示し、記録する。

(第 58-6-42 図「耐圧強化ベント系放射線モニタの概略構成図」参照。)



(注 1) データ伝送装置

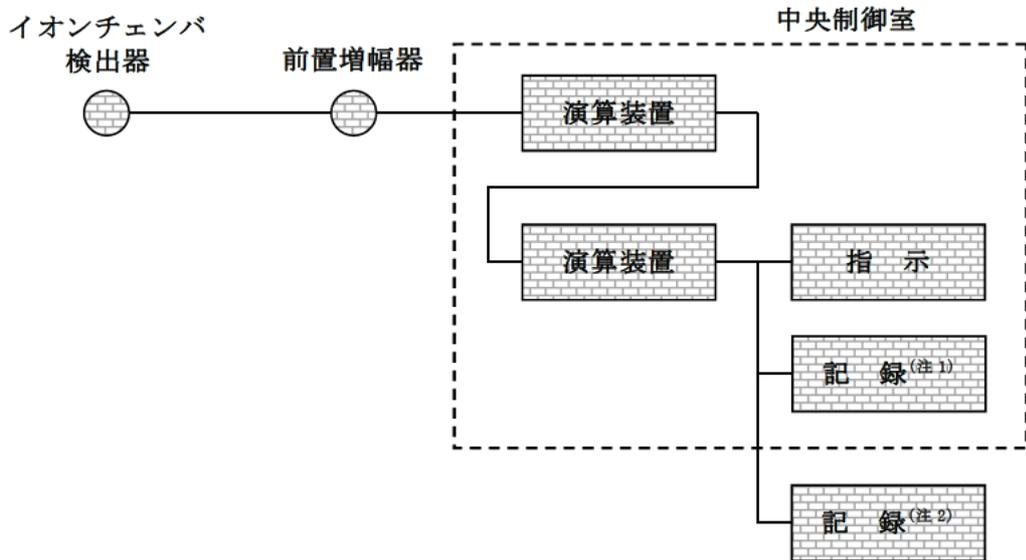
(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置



第 58-6-42 図 耐圧強化ベント系放射線モニタの概略構成図

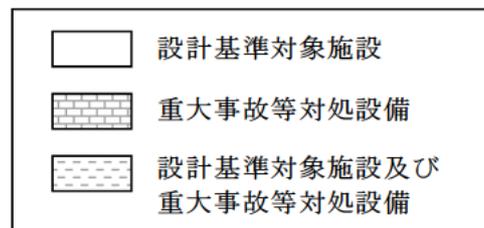
(5) 使用済燃料プールエリア放射線モニタ（高レンジ・低レンジ）

使用済燃料プールエリア放射線モニタ（高レンジ・低レンジ）は、重大事故等対処設備の機能を有しており、使用済燃料プールエリア放射線モニタ（高レンジ・低レンジ）の検出信号は、イオンチェンバ検出器からの電流信号を前置増幅器で増幅し、演算装置にて放射線量率信号に変換する処理を行った後、放射線量率を中央制御室に指示し、記録する。（第 58-6-43 図「使用済燃料プールエリア放射線モニタ（高レンジ・低レンジ）の概略構成図」参照。）



(注 1) データ伝送装置

(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置

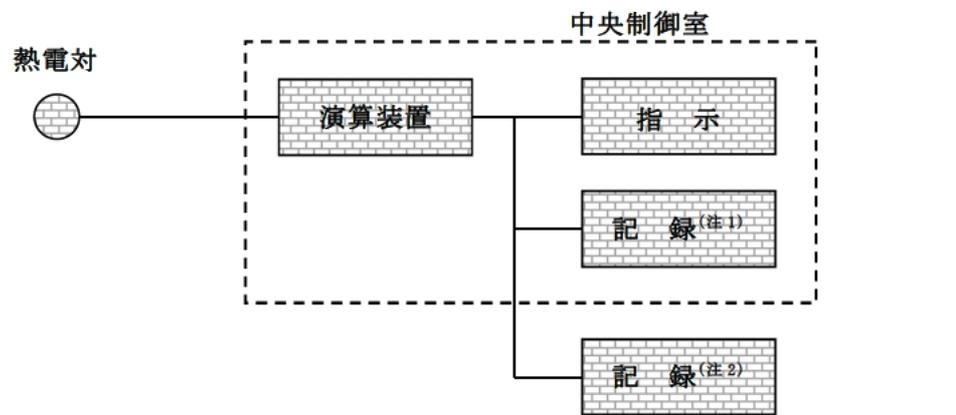


第 58-6-43 図 使用済燃料プールエリア放射線モニタ（高レンジ・低レンジ）の概略構成図

3.9 その他重大事故等対処設備の計測装置

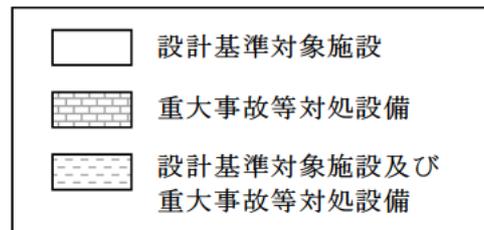
(1) 原子炉圧力容器温度

原子炉圧力容器温度は、重大事故等対処設備の機能を有しており、原子炉圧力容器温度の検出信号は、熱電対からの起電力を、演算装置にて温度信号に変換する処理を行った後、原子炉圧力容器温度を中央制御室に指示し、記録する。(第58-6-44「原子炉圧力容器温度の概略構成図」参照。)



(注1) データ伝送装置

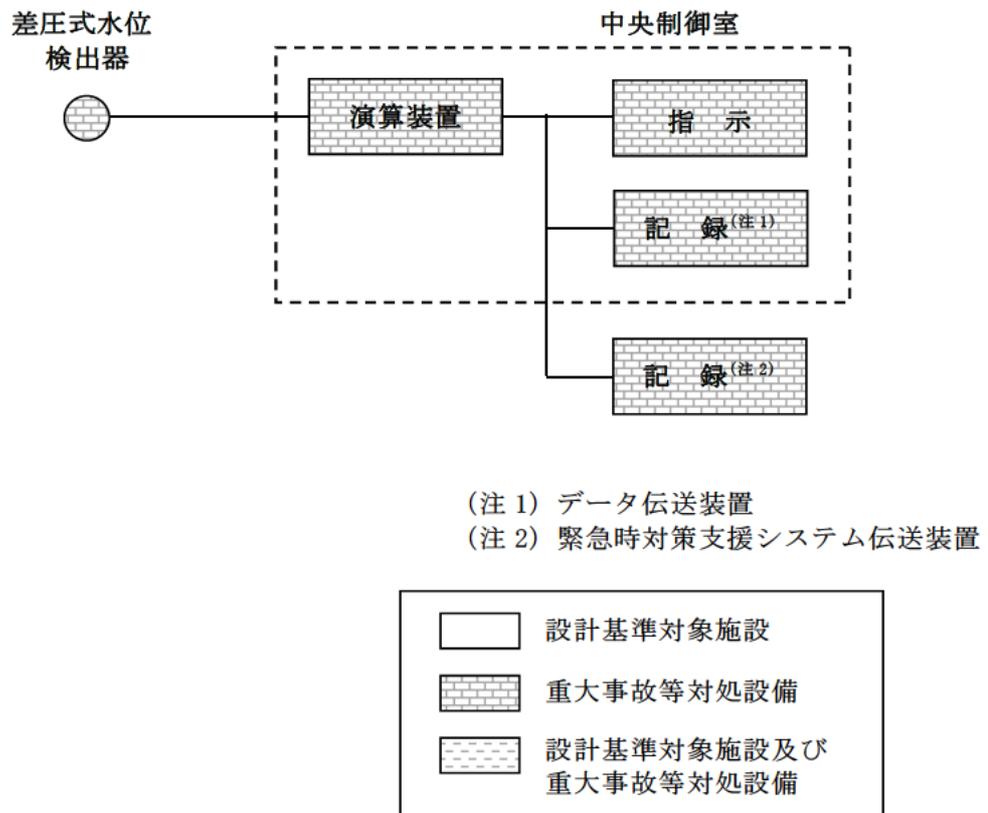
(注2) 緊急時対策支援システム伝送装置



第58-6-44 図 原子炉圧力容器温度の概略構成図

(2) フィルタ装置水位

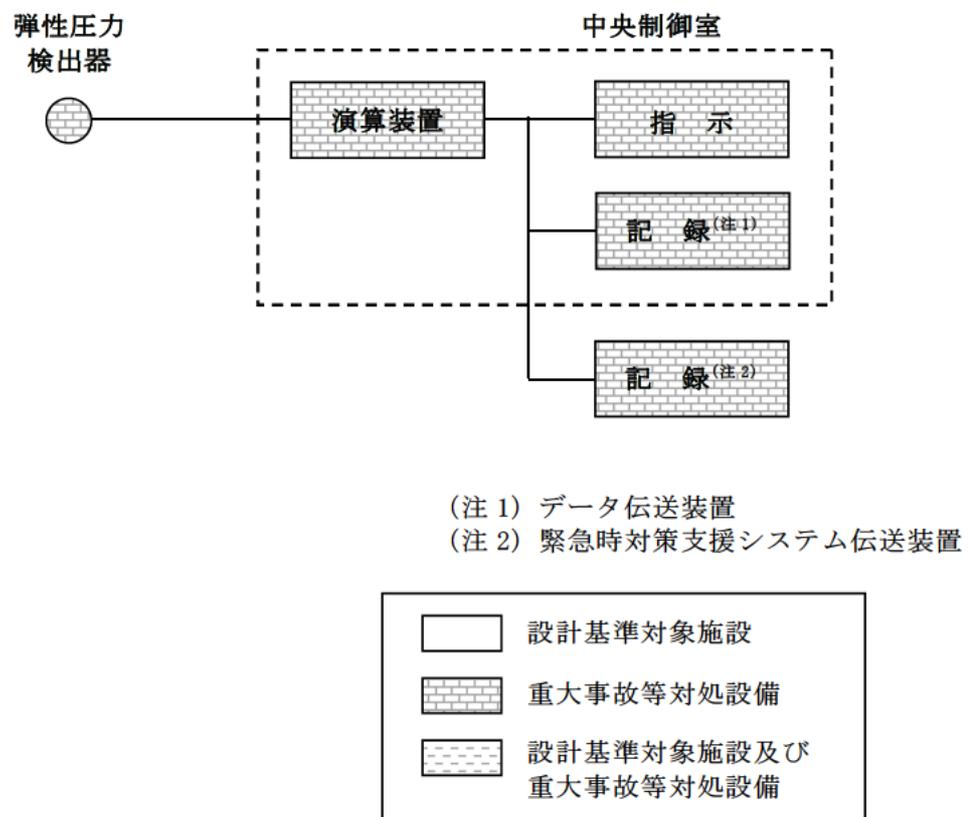
フィルタ装置水位は，重大事故等対処設備の機能を有しており，フィルタ装置水位の検出信号は，差圧式水位検出器からの電流信号を，演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後，フィルタ装置水位を中央制御室に指示し，記録する。(第 58-6-45 図「フィルタ装置水位の概略構成図」参照。)



第 58-6-45 図 フィルタ装置水位の概略構成図

(3) フィルタ装置圧力

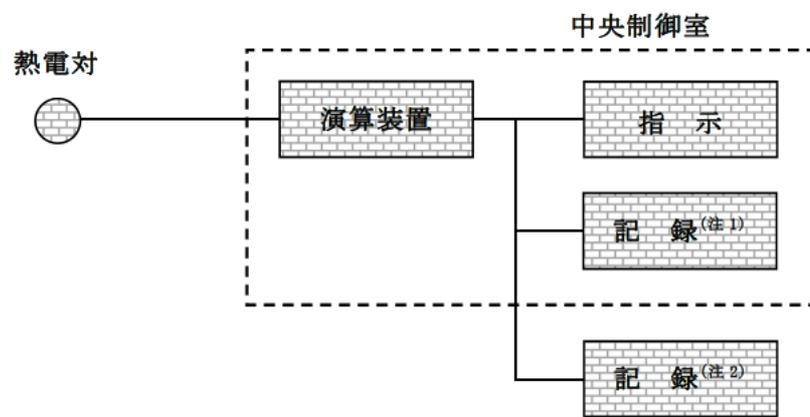
フィルタ装置圧力は，重大事故等対処設備の機能を有しており，フィルタ装置圧力の検出信号は，弾性圧力検出器からの電流信号を，演算装置にて圧力信号へ変換する処理を行った後，フィルタ装置圧力を中央制御室に指示し，記録する。（第 58-6-46 図「フィルタ装置圧力の概略構成図」参照。）



第 58-6-46 図 フィルタ装置圧力の概略構成図

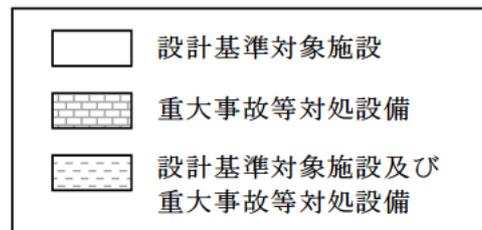
(4) フィルタ装置スクラビング水温度

フィルタ装置スクラビング水温度は、重大事故等対処設備の機能を有しており、フィルタ装置スクラビング水温度の検出信号は、熱電対からの起電力を、演算装置にて温度信号に変換する処理を行った後、フィルタ装置スクラビング水温度を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-47 図「フィルタ装置スクラビング水温度の概略構成図」参照。)



(注 1) データ伝送装置

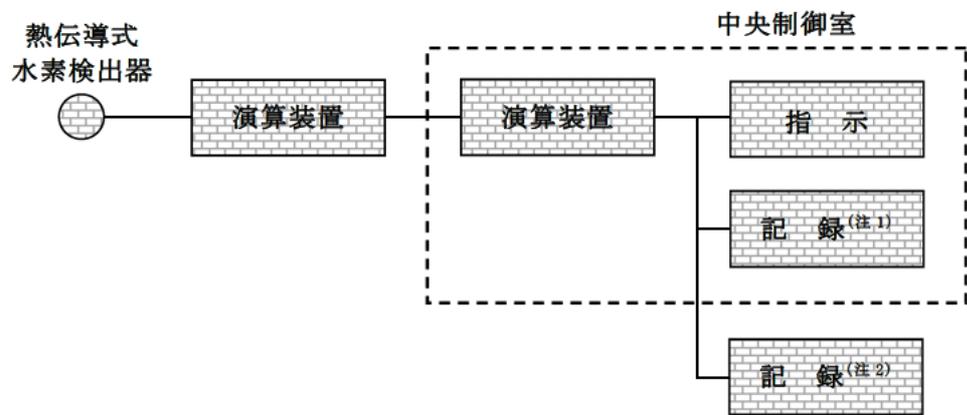
(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置



第 58-6-47 図 フィルタ装置スクラビング水温度の概略構成図

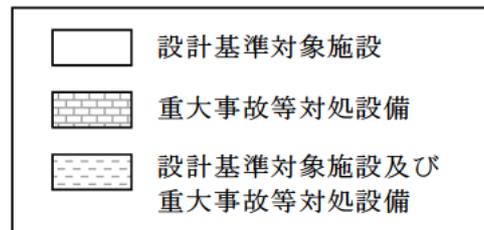
(5) フィルタ装置入口水素濃度

フィルタ装置入口水素濃度は、重大事故等対処設備の機能を有しており、フィルタ装置入口水素濃度の検出信号は、熱伝導式水素検出器からの電流信号を、演算装置にて水素濃度信号へ変換する処理を行った後、フィルタ装置水素濃度を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-48 図「フィルタ装置入口水素濃度の概略構成図」参照。)



(注 1) データ伝送装置

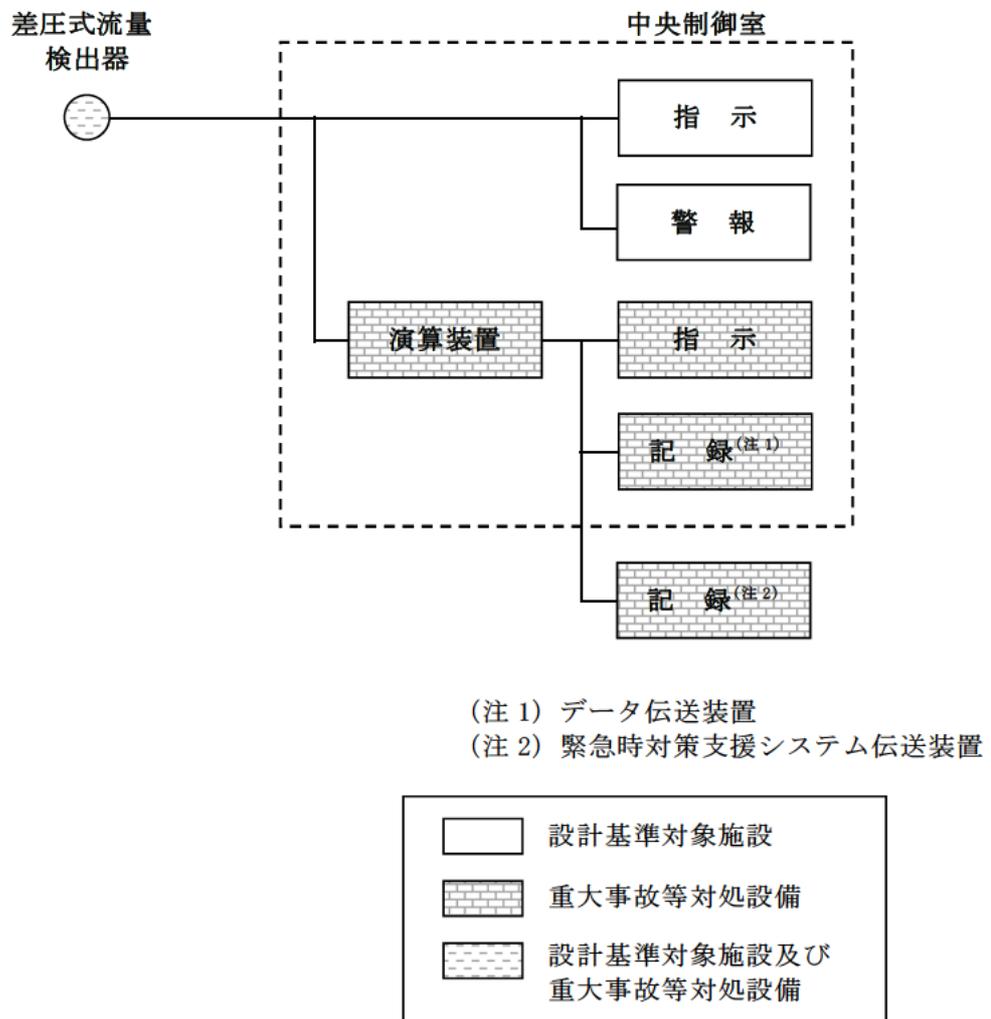
(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置



第 58-6-48 図 フィルタ装置入口水素濃度の概略構成図

(6) 残留熱除去系海水系系統流量

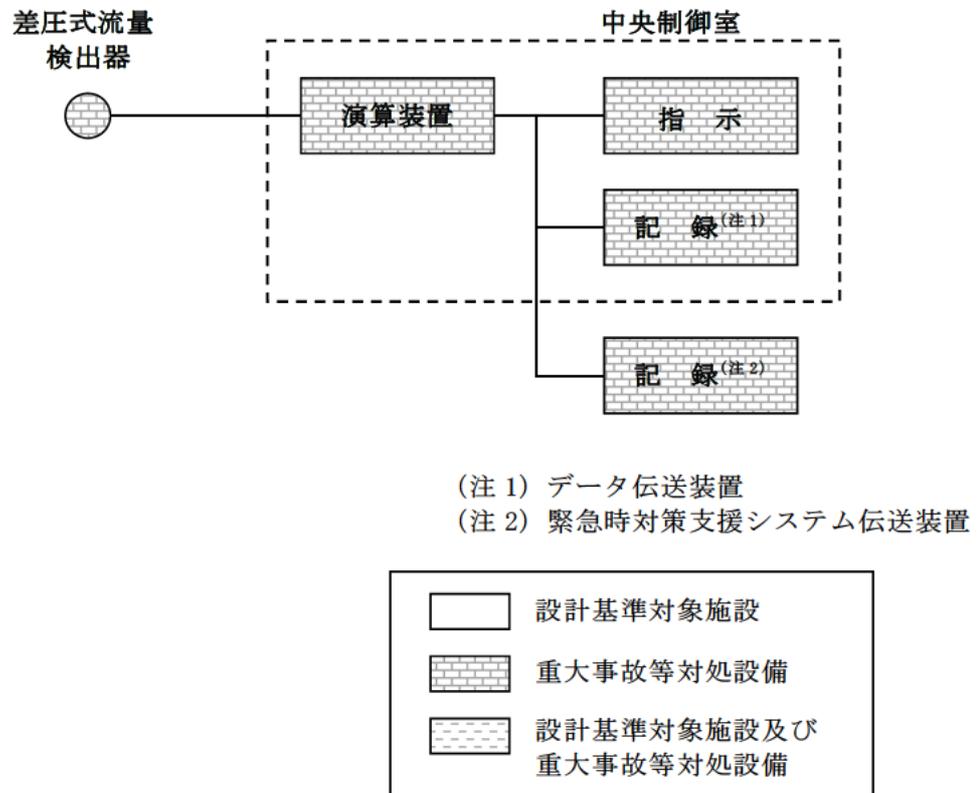
残留熱除去系海水系系統流量は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、残留熱除去系海水系系統流量の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を、演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後、残留熱除去系海水系系統流量を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-49 図「残留熱除去系海水系系統流量の概略構成図」参照。)



第 58-6-49 図 残留熱除去系海水系系統流量の概略構成図

(7) 緊急用海水系流量（残留熱除去系熱交換器）

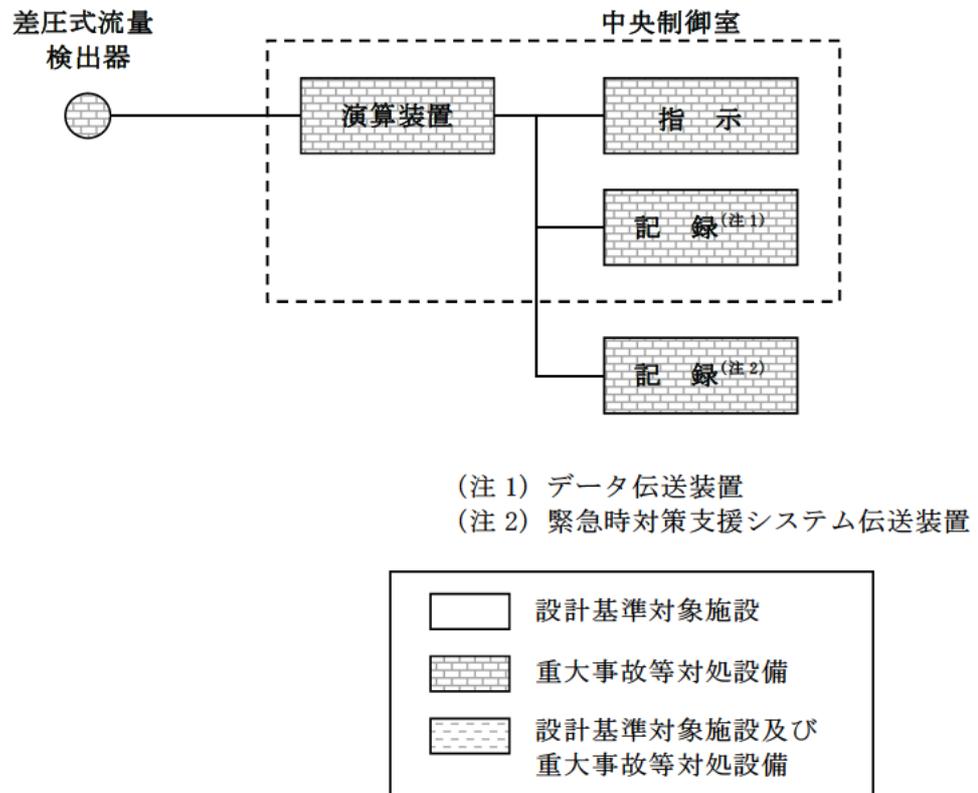
緊急用海水系流量（残留熱除去系熱交換器）は、重大事故等対処設備の機能を有しており、緊急用海水系流量（残留熱除去系熱交換器）の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を、演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後、緊急用海水系流量（残留熱除去系熱交換器）を中央制御室に指示し、記録する。（第 58-6-50 図「緊急用海水系流量（残留熱除去系熱交換器）の概略構成図」参照。）



第 58-6-50 図 緊急用海水系流量（残留熱除去系熱交換器）の概略構成図

(8) 緊急用海水系流量（残留熱除去系補機）

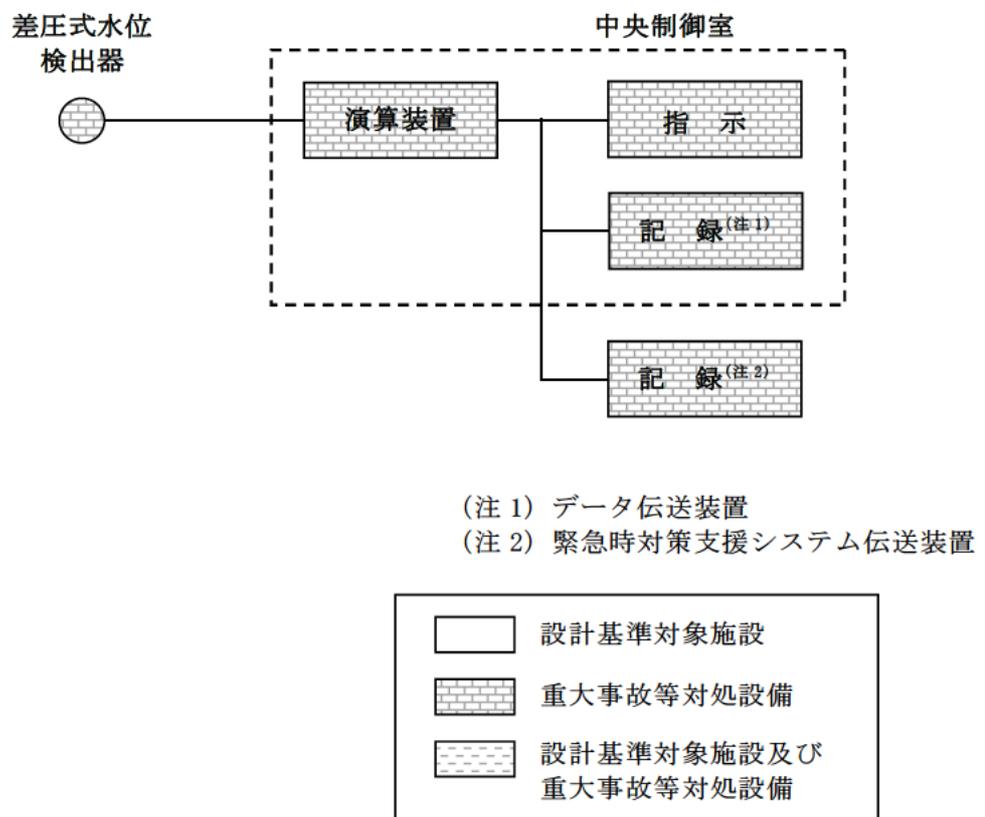
緊急用海水系流量（残留熱除去系補機）は、重大事故等対処設備の機能を有しており、緊急用海水系流量（残留熱除去系補機）の検出信号は、差圧式流量検出器からの電流信号を、演算装置にて流量信号へ変換する処理を行った後、緊急用海水系流量（残留熱除去系補機）を中央制御室に指示し、記録する。（第 58-6-51 図「緊急用海水系流量（残留熱除去系補機）の概略構成図」参照。）



第 58-6-51 図 緊急用海水系流量（残留熱除去系補機）の概略構成図

(9) 代替淡水貯槽水位

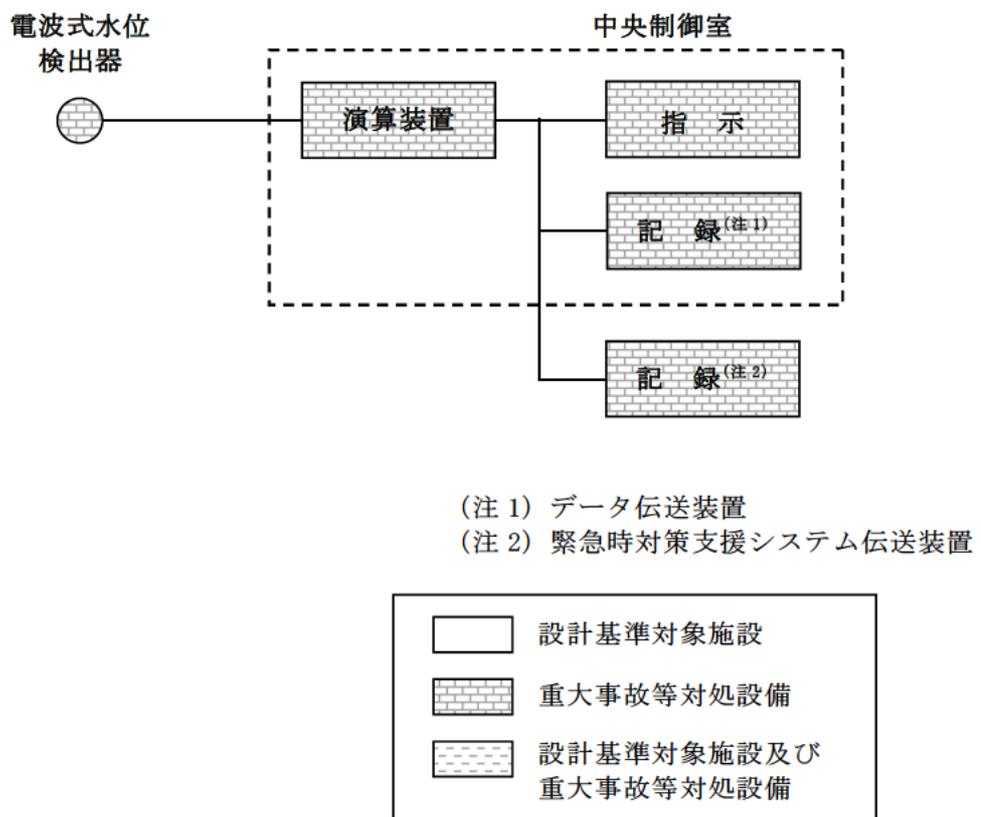
代替淡水貯槽水位は、重大事故等対処設備の機能を有しており、代替淡水貯槽水位の検出信号は、差圧式水位検出器からの電流信号を、演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、代替淡水貯槽水位を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-52 図「代替淡水貯槽水位の概略構成図」参照。



第 58-6-52 図 代替淡水貯槽水位の概略構成図

(10) 西側淡水貯水設備水位

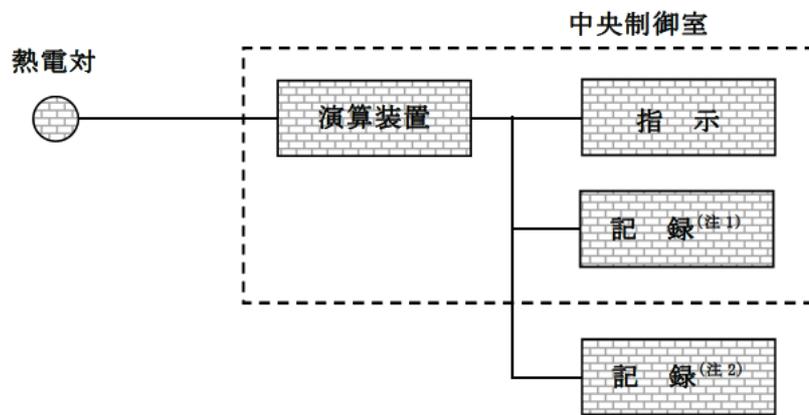
西側淡水貯水設備水位は、重大事故等対処設備の機能を有しており、西側淡水貯水設備水位の検出信号は、電波式水位検出器からの電流信号を、演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、西側淡水貯水設備水位を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-53 図「西側淡水貯水設備水位の概略構成図」参照。



第 58-6-53 図 西側淡水貯水設備水位の概略構成図

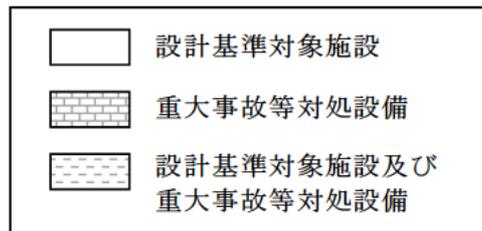
(11) 静的触媒式水素再結合器動作監視装置

静的触媒式水素再結合器動作監視装置は、重大事故等対処設備の機能を有しており、静的触媒式水素再結合器動作監視装置の検出信号は、熱電対からの起電力を、演算装置にて温度信号に変換する処理を行った後、静的触媒式水素再結合器動作監視装置を中央制御室に指示し、記録する。(第58-6-54 図「静的触媒式水素再結合器動作監視装置の概略構成図」参照。)



(注 1) データ伝送装置

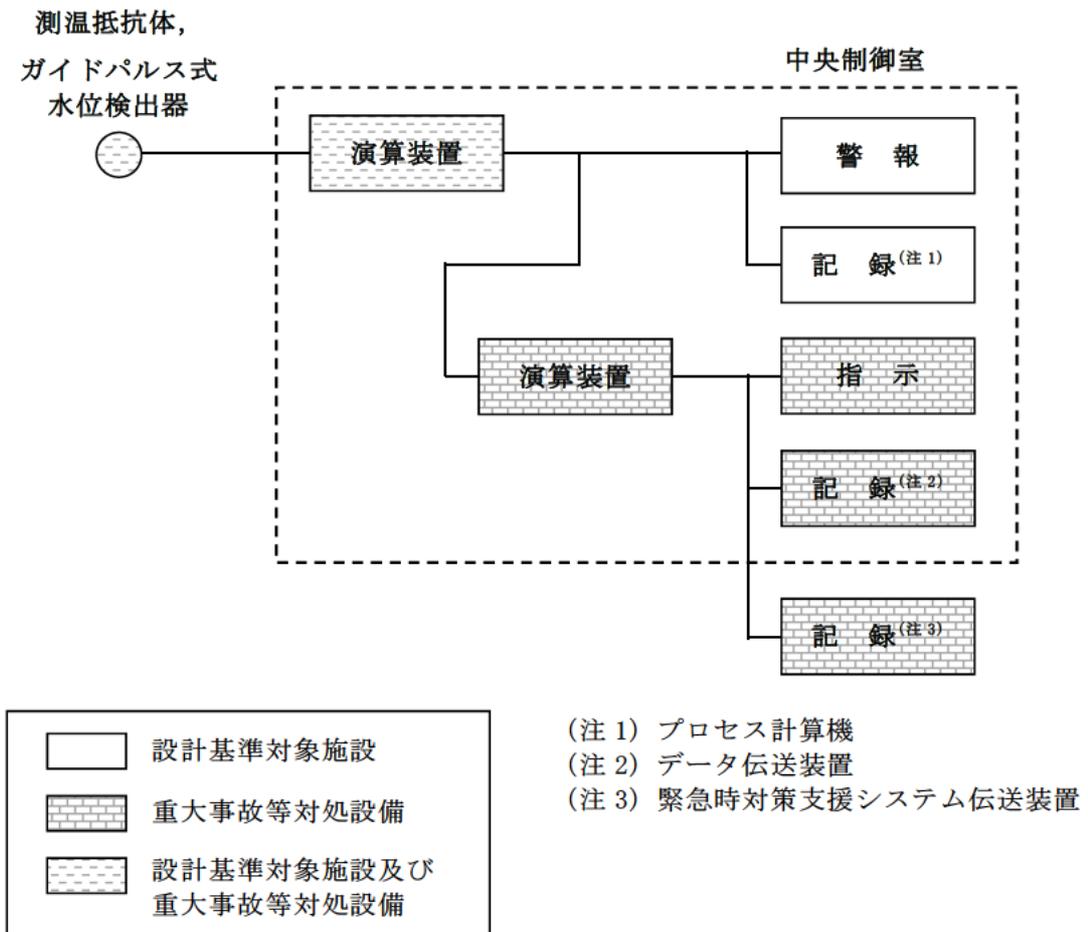
(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置



第 58-6-54 図 静的触媒式水素再結合器動作監視装置の概略構成図

(12) 使用済燃料プール水位・温度（S A広域）

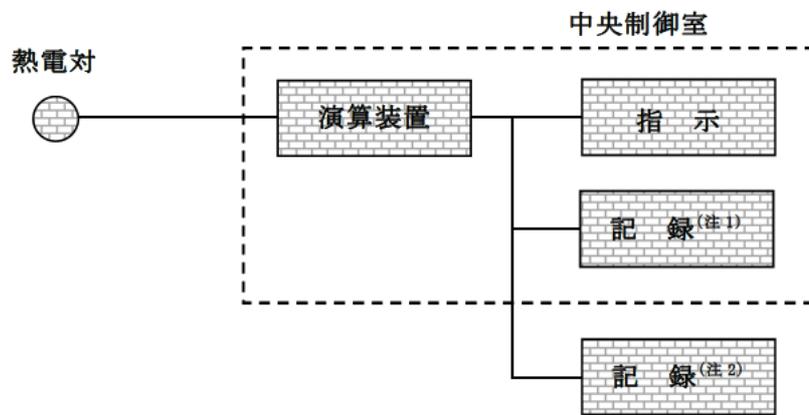
使用済燃料プール水位・温度（S A広域）は、設計基準対象施設及び重大事故等対処設備の機能を有しており、使用済燃料プール水位（S A広域）の検出信号は、ガイドパルス式水位検出器からのパルス信号を、演算装置にて水位信号へ変換する処理を行った後、使用済燃料プール水位（S A広域）を中央制御室に指示し、記録する。使用済燃料プール温度（S A広域）の検出信号は、測温抵抗体の抵抗値を、演算装置にて温度信号へ変換する処理を行った後、使用済燃料プール温度（S A広域）を中央制御室に指示し、記録する。（第 58-6-55 図「使用済燃料プール水位・温度（S A広域）の概略構成図」参照。）



第 58-6-55 図 使用済燃料プール水位・温度（S A広域）概略構成図

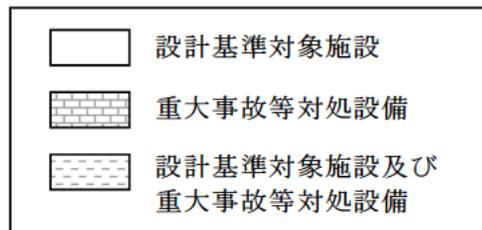
(13) 使用済燃料プール温度 (S A)

使用済燃料プール温度 (S A) は、重大事故等対処設備の機能を有しており、使用済燃料プール温度 (S A) の検出信号は、熱電対からの起電力を、演算装置にて温度信号へ変換する処理を行った後、使用済燃料プール温度 (S A) を中央制御室に指示し、記録する。(第 58-6-56 図「使用済燃料プール温度 (S A) の概略構成図」参照。)



(注 1) データ伝送装置

(注 2) 緊急時対策支援システム伝送装置

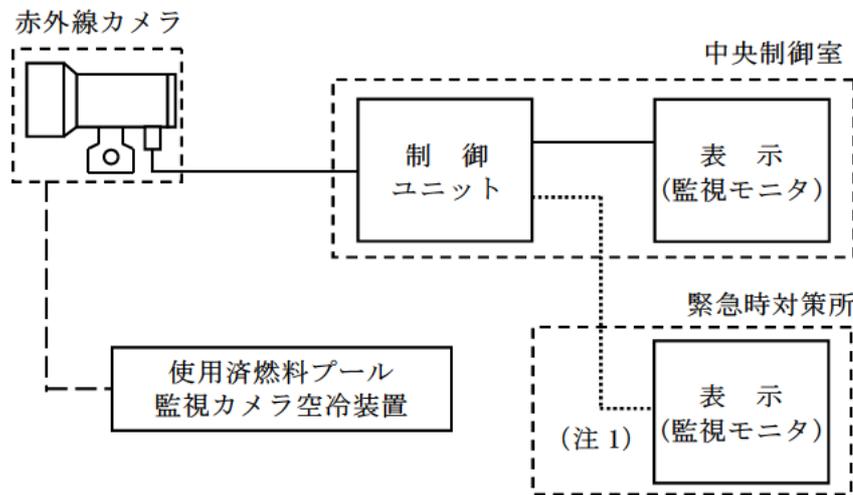


第 58-6-56 図 使用済燃料プール温度 (S A) 概略構成図

(14) 使用済燃料プール監視カメラ

使用済燃料プール監視カメラは、重大事故等対処設備の機能を有しており、使用済燃料プール及びその周辺の状態が確認できるよう高所に設置し、燃料貯蔵設備に係る重大事故等時において、使用済燃料プールの状態を監視する。また、照明がない場合や蒸気雰囲気下においても使用済燃料プールの状態が監視できるようにする赤外線監視カメラとしている。使用済燃料プール監視カメラの映像信号は、制御ユニットを介し中央制御室の監視モニタに表示する。

使用済燃料プール監視カメラ用空冷装置は、重大事故等対処設備の機能を有しており、コンプレッサー、ドライヤー、エアクーラー等で構成し、燃料貯蔵設備に係る重大事故等時に使用済燃料プール監視カメラの耐環境性向上用の空気を供給する。(第 58-6-57 図「使用済燃料プール監視カメラの概略構成図」参照。)

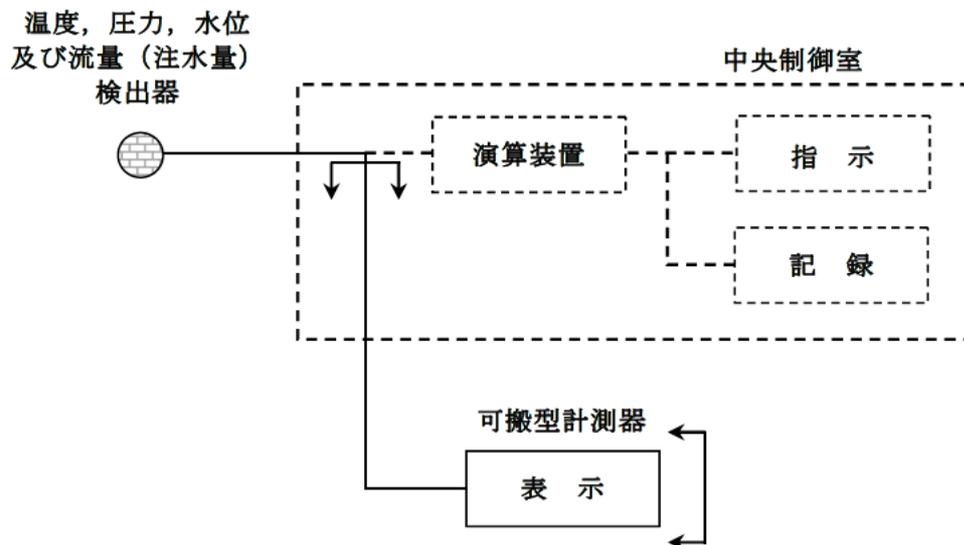


(注 1) 緊急時対策所まで無線通信

第 58-6-57 図 使用済燃料プール監視カメラの概略構成図

(15) 可搬型計測器

可搬型計測器は、重大事故等対処設備の機能を有しており、重大事故等時に直流電源が喪失し計測に必要な計器電源が喪失した場合に、重大事故等に対処するために監視することが必要な温度、圧力、水位及び流量（注水量）のパラメータについて、検出器の抵抗値又は電気信号を計測した後、その計測結果を換算表を用いて温度、圧力、水位及び流量に換算し、監視するとともに、記録用紙に記録する。（第 58-6-58 図「可搬型計測器の概略構成図」参照。）



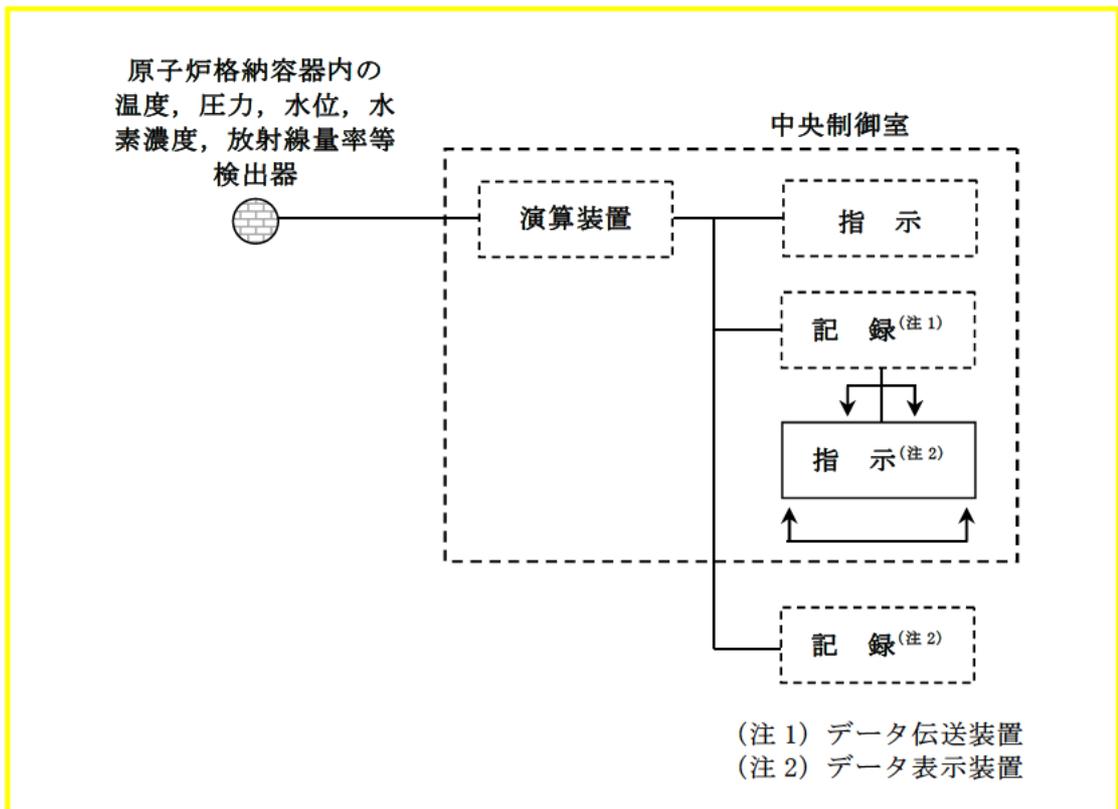
第 58-6-58 図 可搬型計測器の概略構成図

表 58-6-1 可搬型計測器の測定対象パラメータ

監視パラメータ	
原子炉压力容器温度	格納容器下部水位
原子炉圧力	フィルタ装置水位
原子炉圧力 (S A)	フィルタ装置圧力
原子炉水位 (広帯域)	フィルタ装置スクラビング水温度
原子炉水位 (燃料域)	代替循環冷却系ポンプ入口温度
原子炉水位 (S A広帯域)	代替循環冷却系格納容器スプレイ流量
原子炉水位 (S A燃料域)	残留熱除去系熱交換器入口温度
高圧代替注水系系統流量	残留熱除去系熱交換器出口温度
原子炉隔離時冷却系系統流量	残留熱除去系海水系系統流量
高圧炉心スプレイ系系統流量	緊急用海水系流量 (残留熱除去系熱交換器)
低圧代替注水系原子炉注水流量	緊急用海水系流量 (残留熱除去系補機)
代替循環冷却系原子炉注水流量	代替淡水貯槽水位
残留熱除去系系統流量	西側淡水貯水設備水位
低圧炉心スプレイ系系統流量	常設高圧代替注水系ポンプ吐出圧力
低圧代替注水系格納容器スプレイ流量	原子炉隔離時冷却系ポンプ吐出圧力
低圧代替注水系格納容器下部注水流量	高圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力
ドライウェル雰囲気温度	代替循環冷却系ポンプ吐出圧力
サプレッション・チェンバ雰囲気温度	残留熱除去系ポンプ吐出圧力
サプレッション・プール水温度	低圧炉心スプレイ系ポンプ吐出圧力
格納容器下部水温	常設低圧代替注水系ポンプ吐出圧力
ドライウェル圧力	静的触媒式水素再結合器動作監視装置
サプレッション・チェンバ圧力	使用済燃料プール温度 (S A広域)
サプレッション・プール水位	使用済燃料プール温度 (S A)

(16) データ表示装置

データ表示装置は、重大事故等対処設備の機能を有しており、重大事故等に対処するために監視することが必要な温度、圧力、水位及び流量（注水量）のパラメータを、中央制御室に指示する。（第 58-6-59 図「データ表示装置の概略構成図」参照。）



第 58-6-59 図 データ表示装置の概略構成図

4. 計測装置の計測範囲及び警報動作範囲

計測装置の計測範囲及び警報動作範囲について、第 58-6-2, 3 表に示す。

第 58-6-2 表 計測装置の計測範囲 (1/10)

名称	計測範囲	プラントの状態 ^{*1} と予想変動範囲			計測範囲の設定に関する考え方	
		通常運転時 ^{*1}	設計基準事故時 ^{*1} (運転時の異常な過渡変化時を含む)	重大事故等時 ^{*1}		
				炉心損傷前		炉心損傷後
起動領域計装	$10^{-1} \sim 10^6 \text{ cps}$ $(1.0 \times 10^3 \sim 1.0 \times 10^9 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	停止時： 100cps 前後 臨界時： 10 ⁴ cps 前後	定格出力の約 19 倍	$10^{-1} \sim 10^6 \text{ cps}$ $(1.0 \times 10^3 \sim 1.0 \times 10^9 \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	—	原子炉の停止時から起動時の中性子束(約 100～10 ⁴ cps 前後)を測定できる範囲として 10 ⁻¹ ～10 ⁶ cps に設定している。 重大事故等時に原子炉の停止状態の確認のためのパラメータとして用いる。停止時の変動範囲は計測範囲に包絡されている。起動領域計装(中性子源領域)が測定できる範囲を超えた場合は、起動領域計装(中間領域)、平均出力領域計装によって監視可能である。
	0～40%又は 0～125% $(1.0 \times 10^8 \sim 1.5 \times 10^{13} \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	奇数レンジ： 25/40%でレンジアップ 偶数レンジ： 75/125%でレンジアップ		0～40%又は 0～125% $(1.0 \times 10^8 \sim 1.5 \times 10^{13} \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	—	原子炉の起動時から定格出力運転時の中性子束を測定できる範囲として、中性子源領域とのオーバーラップを考慮して 1.0×10 ⁸ ～1.5×10 ¹³ cm ⁻² ・s ⁻¹ に設定している。
平均出力領域計装	0～125% $(1.0 \times 10^{12} \sim 1.0 \times 10^{14} \text{ cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$	モードスイッチ起動→運転：通常 7～10% 定格時：約 100%		定格出力の約 6 倍	—	原子炉の起動時から定格出力運転時、運転時の異常な過渡変化時並びに設計基準事故時の中性子束を測定できる範囲として 0～125%に設定している。 なお、設計基準事故時及び重大事故等時、一時的に計測範囲を超えるが、負の反応度フィードバック効果により短期間であり、かつ出力上昇及び下降は急峻であるため、現状の計測範囲でも運転監視に影響はない。また、重大事故等時においても原子炉再循環ポンプトリップ等により中性子束は低下するため、現状の計測範囲でも対応が可能である。「中間領域中性子束」「中性子源領域中性子束」と相まって重大事故等における中性子束の変動範囲を監視可能である。

第 58-6-2 表 計測装置の計測範囲 (2/10)

名称	計測範囲	プラントの状態 ^{*1} と予想変動範囲				計測範囲の設定に関する考え方
		通常運転時 ^{*1}	設計基準事故時 ^{*1} (運転時の異常な 過渡変化時を含む)	重大事故等時 ^{*1}		
				炉心損傷前	炉心損傷後	
常設高圧代替注水系 ポンプ吐出圧力	0~10MPa[gage]	—	—	8.96MPa[gage]	8.96MPa[gage]	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、常設高圧代替注水系ポンプ運転時の吐出圧力(8.96MPa[gage])に余裕を見込んだ設定とする。
常設低圧代替注水系 ポンプ吐出圧力	0~5MPa[gage]	—	—	3.14MPa[gage]	3.14MPa[gage]	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、常設低圧代替注水系ポンプ運転時の吐出圧力(3.14MPa[gage])に余裕を見込んだ設定とする。
代替循環冷却系 ポンプ吐出圧力	0~5MPa[gage]	—	—	3.45MPa[gage]	3.45MPa[gage]	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、代替循環冷却系ポンプ運転時の吐出圧力(3.45MPa[gage])に余裕を見込んだ設定とする。
原子炉隔離時冷却系 ポンプ吐出圧力	0~10MPa[gage]	0~8.96MPa[gage]	8.96MPa[gage]	8.96MPa[gage]	8.96MPa[gage]	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、原子炉隔離時冷却系ポンプ運転時の吐出圧力(8.96MPa[gage])に余裕を見込んだ設定とする。
高圧炉心スプレー系 ポンプ吐出圧力	0~10MPa[gage]	0~8.01MPa[gage]	8.01MPa[gage]	8.01MPa[gage]	—	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、高圧炉心スプレー系ポンプ運転時の吐出圧力(8.01MPa[gage])に余裕を見込んだ設定とする。
残留熱除去系 ポンプ吐出圧力	0~4MPa[gage]	0~3.45MPa[gage]	3.45MPa[gage]	3.45MPa[gage]	—	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、残留熱除去系ポンプ運転時の吐出圧力(3.45MPa[gage])に余裕を見込んだ設定とする。
低圧炉心スプレー系 ポンプ吐出圧力	0~4MPa[gage]	0~3.79MPa[gage]	3.79MPa[gage]	3.79MPa[gage]	—	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、低圧炉心スプレー系ポンプ運転時の吐出圧力(3.79MPa[gage])に余裕を見込んだ設定とする。

第 58-6-2 表 計測装置の計測範囲 (3/10)

名称	計測範囲	プラントの状態 ^{*1} と予想変動範囲				計測範囲の設定に関する考え方
		通常運転時 ^{*1}	設計基準事故時 ^{*1} (運転時の異常な 過渡変化時を含む)	重大事故等時 ^{*1}		
				炉心損傷前	炉心損傷後	
代替循環冷却系ポンプ 入口温度	0~100℃	—	—	—	80℃以下	代替循環冷却時における代替循環冷却系ポンプ入口の最高使用温度(80℃)に余裕を見込んだ設定とする。
残留熱除去系熱交換器 入口温度	0~300℃	249℃以下	249℃以下	249℃以下	249℃以下	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、残留熱除去系熱交換器入口温度(249℃)に余裕を見込んだ設定とする。
残留熱除去系熱交換器 出口温度	0~300℃	249℃以下	249℃以下	249℃以下	249℃以下	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、残留熱除去系熱交換器出口温度(249℃)に余裕を見込んだ設定とする。
高压代替注水系 系統流量	0~50L/s	—	—	38L/s	38L/s	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、高压代替注水系系統流量(38L/s)に余裕を見込んだ設定とする。
低压代替注水系 原子炉注水流量	0~500m ³ /h ^{*2}	—	—	378m ³ /h	230m ³ /h	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、低压代替注水系(常設)による原子炉压力容器注水時における最大流量(378m ³ /h)に余裕を見込んだ設定とする。
	0~80m ³ /h ^{*2,*4}	—	—	75m ³ /h	75m ³ /h	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、低压代替注水系(常設)による原子炉压力容器注水時におけるミニフロー調整時の最大流量(75m ³ /h)が計測可能な範囲とする。
	0~300m ³ /h ^{*3}	—	—	110m ³ /h	—	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、低压代替注水系(可搬型)による原子炉压力容器注水時における最大流量(110m ³ /h)に余裕を見込んだ設定とする。
	0~80m ³ /h ^{*3,*4}	—	—	75m ³ /h	—	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、低压代替注水系(可搬型)による原子炉压力容器注水時におけるミニフロー調整時の最大流量(75m ³ /h)が計測可能な範囲とする。

第 58-6-2 表 計測装置の計測範囲 (4/10)

名称	計測範囲	プラントの状態 ^{*1} と予想変動範囲				計測範囲の設定に関する考え方
		通常運転時 ^{*1}	設計基準事故時 ^{*1} (運転時の異常な 過渡変化時を含む)	重大事故等時 ^{*1}		
				炉心損傷前	炉心損傷後	
代替循環冷却系 原子炉注水流量	0~150m ³ /h	—	—	—	100m ³ /h	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、代替循環冷却系による原子炉圧力容器注水時における最大流量 (100m ³ /h) に余裕を見込んだ設定とする。
原子炉隔離時冷却系 系統流量	0~50L/s	0~40L/s	40L/s	40L/s	40L/s	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、原子炉隔離時冷却系系統流量 (40L/s) に余裕を見込んだ設定とする。
高圧炉心スプレイ系 系統流量	0~500L/s	0~438L/s	438L/s	438L/s	—	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、高圧炉心スプレイ系系統流量 (438L/s) に余裕を見込んだ設定とする。
残留熱除去系 系統流量	0~600L/s	0~470L/s	470L/s	470L/s	—	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、残留熱除去系系統流量 (470L/s) に余裕を見込んだ設定とする。
低圧炉心スプレイ系 系統流量	0~600L/s	0~456L/s	456L/s	456L/s	—	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、低圧炉心スプレイ系系統流量 (456L/s) に余裕を見込んだ設定とする。
原子炉圧力	0~10.5MPa[gage]	6.93MPa[gage]	8.62MPa[gage] 以下	8.19MPa[gage] 以下	8.23MPa[gage] 以下	通常運転時から設計基準事故時のパラメータ変動を包絡するように、原子炉圧力容器最高使用圧力 (8.62MPa[gage]) を包絡する範囲として設定する。
原子炉圧力 (SA)	0~10.5MPa[gage]	6.93MPa[gage]	8.62MPa[gage] 以下	8.19MPa[gage] 以下	8.23MPa[gage] 以下	重大事故等時の変動範囲は計測範囲に包絡されており、重大事故等時においても監視可能である。

第 58-6-2 表 計測装置の計測範囲 (5/10)

名称	計測範囲	プラントの状態 ^{*1} と予想変動範囲				計測範囲の設定に関する考え方
		通常運転時 ^{*1}	設計基準事故時 ^{*1} (運転時の異常な 過渡変化時を含む)	重大事故等時 ^{*1}		
				炉心損傷前	炉心損傷後	
原子炉水位 (広帯域)	-3,800~1,500mm ^{*5}	1,260mm ^{*5} 1,300mm ^{*6}	-3,800~1,400mm ^{*5} 448~1,300mm ^{*6}	-3,800~1,400mm ^{*5} 0~1,300mm ^{*6}	1,260mm ^{*5} 以下 1,300mm ^{*6} 以下	炉心の冷却状況を把握する上で、原子炉水位 制御範囲レベル3~8(300~1,400mm ^{*5})及 び燃料有効長底部まで監視可能である。
原子炉水位 (燃料域)	-3,800~1,300mm ^{*6}					
原子炉水位 (SA広帯域)	-3,800~1,500mm ^{*5}	1,260mm ^{*5} 1,300mm ^{*6}	-3,800~1,400mm ^{*5} 448~1,300mm ^{*6}			
原子炉水位 (SA燃料域)	-3,800~1,300mm ^{*6}					
ドライウエル圧力	0~1MPa[abs]	5kPa[gage]	279kPa[gage] 以下	310kPa[gage] 以下	620kPa[gage] 以下	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するよ うに、原子炉格納容器の限界圧力 (620kPa[gage])に余裕を見込んだ設定とす る。
サブプレッション・ チェンバ圧力	0~1MPa[abs]	5kPa[gage]	279kPa[gage] 以下	310kPa[gage] 以下	620kPa[gage] 以下	
ドライウエル雰囲気 温度	0~300℃	57℃以下	171℃以下	123℃以下	202℃以下	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するよ うに、ドライウエル雰囲気温度(202℃)に余 裕を見込んだ設定とする。
サブプレッション・ チェンバ雰囲気温度	0~200℃	32℃以下	171℃以下	143℃以下	132℃以下	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するよ うに、サブプレッション・チェンバ雰囲気温度 (171℃)に余裕を見込んだ設定とする。
サブプレッション・ プール水温度	0~200℃	32℃以下	104℃以下	139℃以下	119℃以下	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するよ うに、サブプレッション・プール水温度(139℃) に余裕を見込んだ設定とする。
格納容器下部水温	0~500℃ ^{*7} (ペDESTAL床面 0m, 0.2m) ^{*8}	—	—	—	0℃以下又は 500℃以上	ペDESTALにデブリが落下・堆積した際に水 温上昇又はデブリが接触し指示がダウンスケ ールすることでデブリの落下・堆積が検知可 能である。

第 58-6-2 表 計測装置の計測範囲 (6/10)

名称	計測範囲	プラントの状態 ^{*1} と予想変動範囲				計測範囲の設定に関する考え方
		通常運転時 ^{*1}	設計基準事故時 ^{*1} (運転時の異常な 過渡変化時を含む)	重大事故等時 ^{*1}		
				炉心損傷前	炉心損傷後	
格納容器内酸素濃度 (SA)	0~25vol%	2.5vol%以下	5.0vol%以下	2.5vol%以下	4.3vol%以下	炉心の著しい損傷時に原子炉格納容器内の酸素濃度が変動する可能性のある範囲(5.0vol%)を計測可能な範囲とする。
格納容器内水素濃度 (SA)	0~100vol%	—	4.0vol%以下	—	56.6vol%以下	重大事故等時に原子炉格納容器内の水素濃度が変動する可能性のある範囲(56.6vol%)を計測可能な範囲とする。
低圧代替注水系 格納容器スプレイ流量	0~500m ³ /h ^{*2}	—	—	130m ³ /h	300m ³ /h	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、代替格納容器スプレイ冷却系(常設)による格納容器スプレイ時における最大流量(300m ³ /h)に余裕を見込んだ設定とする。
	0~500m ³ /h ^{*4}	—	—	130m ³ /h	—	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、代替格納容器スプレイ冷却系(可搬型)による格納容器スプレイ時における最大流量(130m ³ /h)に余裕を見込んだ設定とする。
低圧代替注水系 格納容器下部注水流量	0~200m ³ /h	—	—	—	80m ³ /h	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、格納容器下部注水系(常設又は可搬型)による格納容器下部注水時における最大流量(80m ³ /h)に余裕を見込んだ設定とする。
代替循環冷却系 格納容器スプレイ流量	0~300m ³ /h	—	—	—	250m ³ /h	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、代替循環冷却系による格納容器スプレイ時における最大流量(250m ³ /h)に余裕を見込んだ設定とする。

第 58-6-2 表 計測装置の計測範囲 (7/10)

名称	計測範囲	プラントの状態 ^{*1} と予想変動範囲				計測範囲の設定に関する考え方
		通常運転時 ^{*1}	設計基準事故時 ^{*1} (運転時の異常な過渡変化時を含む)	重大事故等時 ^{*1}		
				炉心損傷前	炉心損傷後	
サブプレッション・プール水位	-1~9m ^{*9} (EL. 2,030~12,030mm)	±0m ^{*9} (EL. 3,030mm)	-0.5~0m ^{*9} (EL. 2,530~3,030mm)	0~7.219m ^{*9} (EL. 3,030~10,249mm)	0~7.690m ^{*9} (EL. 3,030~10,720mm)	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、サブプレッション・プール水位(0~7.690m)に余裕を見込んだ設定とする。
格納容器下部水位	+1.05m ^{*8,*10} (EL. 12,856mm)	—	—	+1.05m ^{*8,*10} (EL. 12,856mm)	+1.05m ^{*8,*10} (EL. 12,856mm)	ベDESTALへの注水状況を確認するため、原子炉圧力容器破損前に溶融炉心の冷却に必要な水位があることを確認できる位置に設置する。
	+0.50m, +0.95m ^{*8,*11} (EL. 12,306mm, 12,756mm)	—	—	—	+0.50m~+0.95m ^{*8,*11} (EL. 12,306mm~12,756mm)	ベDESTALへの注水状況を確認するため、原子炉圧力容器破損後(デブリ堆積高さ<0.2mの場合)に溶融炉心の冷却に必要な水位があることを確認できる位置に設置する。
	+2.25m, +2.75m ^{*8,*12} (EL. 14,056mm, 14,556mm)	—	—	—	+2.25m~+2.75m ^{*8,*12} (EL. 14,056mm~14,556mm)	ベDESTALへの注水状況を確認するため、原子炉圧力容器破損後(デブリ堆積高さ≥0.2mの場合)に溶融炉心の冷却に必要な水位があることを確認できる位置に設置する。
原子炉建屋水素濃度	0~10vol%, 0~20vol%	—	—	—	4.0vol%未満	重大事故時において、水素と酸素の可燃限界(水素濃度:4vol%)を監視可能である。

第 58-6-2 表 計測装置の計測範囲 (8/10)

名称	計測範囲	プラントの状態 ^{*1} と予想変動範囲				計測範囲の設定に関する考え方
		通常運転時 ^{*1}	設計基準事故時 ^{*1} (運転時の異常な 過渡変化時を含む)	重大事故等時 ^{*1}		
				炉心損傷前	炉心損傷後	
格納容器雰囲気放射線 モニタ (D/W)	$10^{-2} \sim 10^5 \text{ Sv/h}$	バックグラウンド レベル	10Sv/h 未満 ^{*13}	10Sv/h 未満 ^{*13}	$5 \times 10^4 \text{ Sv/h}$ 以下	重大事故等時の変動範囲は計測範囲に包絡されてお り、重大事故等時においても監視可能 である。
格納容器雰囲気放射線 モニタ (S/C)	$10^{-2} \sim 10^5 \text{ Sv/h}$	バックグラウンド レベル	10Sv/h 未満 ^{*13}	10Sv/h 未満 ^{*13}	$5 \times 10^4 \text{ Sv/h}$ 以下	重大事故等時の変動範囲は計測範囲に包絡されてお り、重大事故等時においても監視可能 である。
フィルタ装置出口 放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	$10^{-2} \sim 10^5 \text{ Sv/h}$	—	—	—	約 $5 \times 10^1 \text{ Sv/h}$ 以下	格納容器ベント実施時 (炉心損傷している場 合) に、想定されるフィルタ装置出口最大線 量当量率 (約 $5 \times 10^1 \text{ Sv/h}$) を監視可能。
	$10^{-3} \sim 10^4 \text{ mSv/h}$	—	—	約 $7 \times 10^0 \text{ mSv/h}$ 以下	—	格納容器ベント実施時 (炉心損傷していない 場合) に、想定されるフィルタ装置出口最大 線量当量率 (約 $7 \times 10^0 \text{ mSv/h}$) を監視可能。
耐圧強化ベント系 放射線モニタ	$10^{-3} \sim 10^4 \text{ mSv/h}$	—	—	約 $4 \times 10^3 \text{ mSv/h}$ 以下	—	耐圧強化ベント実施時に、想定される排気ラ インの最大線量当量率 (約 $4 \times 10^3 \text{ mSv/h}$) を 監視可能。
使用済燃料プール エリア放射線モニタ (高レンジ・低レンジ)	$10^{-2} \sim 10^5 \text{ Sv/h}$	バックグラウンド レベル	—	$3.1 \times 10^0 \text{ mSv/h}$ 以下		重大事故等時における使用済燃料プールの変 動範囲について放射線量率を監視可能であ る。
	$10^{-3} \sim 10^4 \text{ mSv/h}$					
原子炉圧力容器温度	0~500℃	286℃以下	302℃以下	300℃以下	300℃以上 ^{*14}	重大事故等時において、炉心損傷の判断基準 である 300℃を包絡するように、原子炉圧力 容器温度 (0~500℃) を設定する。

第 58-6-2 表 計測装置の計測範囲 (9/10)

名称	計測範囲	プラントの状態 ^{*1} と予想変動範囲				計測範囲の設定に関する考え方
		通常運転時 ^{*1}	設計基準事故時 ^{*1} (運転時の異常な 過渡変化時を含む)	重大事故等時 ^{*1}		
				炉心損傷前	炉心損傷後	
フィルタ装置水位	180~5,500mm	—	—			
フィルタ装置圧力	0~1MPa[gage]	—	—	0.31MPa[gage] 以下	0.62MPa[gage] 以下	格納容器ベント実施時に、格納容器圧力逃がし装置の最高使用圧力(0.62MPa[gage])が監視可能。
フィルタ装置スクラビング水温度	0~300℃	—	—	200℃以下	200℃以下	格納容器ベント実施時に、格納容器圧力逃がし装置の最高使用温度(200℃)を監視可能。
フィルタ装置入口水素濃度	0~100vol%	—	—	—	56.6vol%以下	格納容器ベント停止後の窒素によるバージを実施し、フィルタ装置入口配管内に滞留する水素濃度が可燃限界濃度(4vol%)未満であることを監視可能。格納容器内水素濃度の最大値(56.6vol%(ドライ条件))を監視可能。
残留熱除去系海水系システム流量	0~550L/s	493L/s	493L/s	493L/s	493L/s	残留熱除去系の運転時における、残留熱除去系海水系ポンプの最大流量(493L/s)を監視可能。
緊急用海水系流量(残留熱除去系熱交換器)	0~800m ³ /h	—	—	650m ³ /h	650m ³ /h	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、緊急用海水系流量(残留熱除去系熱交換器)(650m ³ /h)に余裕を見込んだ設定とする。
緊急用海水系流量(残留熱除去系補機)	0~50m ³ /h	—	—	40m ³ /h	40m ³ /h	重大事故等時のパラメータ変動を包絡するように、緊急用海水系流量(残留熱除去系補機)(40m ³ /h)に余裕を見込んだ設定とする。

第 58-6-2 表 計測装置の計測範囲 (10/10)

名称	計測範囲	プラントの状態 ^{*1} と予想変動範囲				計測範囲の設定に関する考え方
		通常運転時 ^{*1}	設計基準事故時 ^{*1} (運転時の異常な 過渡変化時を含む)	重大事故等時 ^{*1}		
				炉心損傷前	炉心損傷後	
代替淡水貯槽水位	0~20m	—	—	0~19m	0~19m	重大事故等時において、代替淡水貯槽の底部より上の水位計検出点からポンプテストライン配管下端 (0~19m) を監視可能である。
西側淡水貯水設備水位	0~4.5m	—	—	0~4m	0~4m	西側淡水貯水設備の水槽底部+1m から水槽上端+5m まで (事故収束に必要な貯水量) を監視可能。
静的触媒式水素再結合器動作監視装置	0~300℃	—	—	—	300℃以下	重大事故等時において、静的触媒式水素再結合器動作時に想定される温度範囲を監視可能である。
使用済燃料プール 水位・温度 (SA 広域)	-4,300~+7,200mm ^{*15} (EL. 35,077~46,577mm)	+6,818mm ^{*15} (EL. 46,195mm)	+6,818mm ^{*15} (EL. 46,195mm)	N. W. L から-0.700m (EL. 45,495mm)		重大事故等時における使用済燃料プールの変動する範囲について水位及び温度を監視可能である。
	0~120℃	52℃以下	66℃以下	100℃以下		
使用済燃料プール 温度 (SA)	0~120℃	52℃以下	—	100℃以下		重大事故等時における使用済燃料プールの変動する範囲について温度を監視可能である。
使用済燃料プール 監視カメラ	—	—	—	—		重大事故等時において赤外線機能により使用済燃料プール及びその周辺の状況を監視可能である。

- ※1：プラント状態の定義は、以下のとおり。
- ・通常運転時：計画的に行われる起動、停止、出力運転、高温停止、低温停止、燃料取替等の原子炉施設の運転であって、その運転状態が所定の制限内にあるもの。通常運転時に想定される設計値を記載。
 - ・運転時の異常な過渡変化時：原子炉施設の寿命期間中に予想される機器の単一故障若しくは誤動作又は運転員の単一の誤操作、及びこれらと類似の頻度で発生すると予想される外乱によって生ずる異常な状態。運転時の異常な過渡変化時に想定される設計値を記載。
 - ・設計基準事故時：「運転時の異常な過渡変化」を超える異常な状態であって、発生する頻度は希であるが、原子炉施設の安全設計の観点から想定されるもの。設計基準事故時に想定される設計値を記載。
 - ・重大事故等時：原子炉施設の安全設計の観点から想定される事故を超える事故の発生により、原子炉の炉心の著しい損傷が発生するおそれがある状態又は炉心の著しい損傷が発生した状態。重大事故等時に想定される設計値を記載。
- ※2：常設設備による対応時及び可搬型設備による対応時の両方で使用
- ※3：可搬型設備による対応時に使用
- ※4：狭帯域流量
- ※5：基準点は蒸気乾燥器スカート下端（ベッセルゼロレベルより 1,340cm）
- ※6：基準点は燃料有効長頂部（ベッセルゼロレベルより 915cm）
- ※7：R P V破損及びデブリ落下・堆積検知（高さ 0m, 0.2m 位置水温計兼デブリ検知器）
- ※8：ペDESTAL底面（コリウムシールド上表面：EL. 11,806mm）からの高さ
- ※9：基準点は通常運転水位 EL. 3,030mm（サプレッション・チェンバ底部より 7,030mm）
- ※10：R P V破損前までの水位管理（高さ 1m 超水位計）
- ※11：R P V破損後の水位管理（デブリ堆積高さ<0.2m の場合）（高さ 0.5m, 1.0m 未満水位計）
- ※12：R P V破損後の水位管理（デブリ堆積高さ \geq 0.2m の場合）（満水管理水位計）
- ※13：炉心損傷は、原子炉停止後の経過時間における格納容器雰囲気放射線モニタの値で判断する。原子炉停止直後に炉心損傷した場合の判断値は約 10Sv/h（経過時間とともに判断値は低くなる）であり、設計基準では炉心損傷しないことからこの値を下回る。
- ※14：300℃以上となる場合があるが、炉心損傷と判断し冷却未達を判断する上で問題ない。
- ※15：基準点は使用済燃料ラック上端 EL. 39,377mm（使用済燃料プール底部より 4,688mm）

第 58-6-3 表 計測装置の警報動作範囲 (1/3)

名 称		警報動作範囲	警報動作範囲の設定に関する考え方
計 測 装 置	起動領域計装 (中間領域)	原子炉周期： 10 秒以上	プラント起動運転時の制御棒誤引抜等に伴う異常反応度投入による燃料損傷を防止するため、中性子束の異常上昇を検知し、原子炉をスクラムさせる。 プラント起動時に出力上昇をもたらす反応度変化のうち、最も大きな制御棒誤引抜に伴う制御棒引抜過渡変化に対して、燃料が安全限界を超える前に原子炉スクラムさせるよう、 <u>原子炉周期 10 秒以上</u> を設定値とする。
		中性子束高： 120%以下	プラント起動運転時の制御棒誤引抜等に伴う異常反応度投入による燃料損傷を防止するため、中性子束の緩慢な出力増加を検知し、原子炉をスクラムさせる。 プラント起動時に出力上昇をもたらす反応度変化のうち、最も大きな制御棒誤引抜に伴う制御棒引抜過渡変化に対して、燃料が安全限界を超える前に原子炉スクラムさせるよう、 <u>中性子束高 120%以下</u> を設定値とする。
	平均出力領域計装	120%以下 (原子炉モードスイッチが 「運転」の時)	プラント運転時の異常反応度印加による燃焼被覆管損傷の保護を目的とし、異常時に原子炉をスクラムさせる。 出力上昇過渡変化が生じても燃料の熱的限界を超えない値として <u>120%以下</u> とする。
		15%以下 (原子炉モードスイッチが 「燃料取替」, 「起動」の時)	原子炉の起動時の異常反応度印加による燃料被覆管損傷の保護を目的とし、異常時に原子炉をスクラムさせる。 原子炉モードスイッチを起動から運転へ切り替える時までには誤トリップを起こさない値として <u>15%以下</u> とする。
		自動可変設定 (0.72Wd+54%以下※ 又は 115%)	給水加熱喪失等による燃料被覆管表面熱流束の異常な過渡変動に対し、燃料の熱的限界を超えないよう熱出力レベルで原子炉をスクラムさせる。 熱流束信号を出力に依存するよう再循環流量の関数として自動可変設定とし、再循環流量によって決まる燃料の表面熱流速の制限値を超えない値として <u>(0.72Wd+54%) 以下又は 115%</u> とする。

※：Wd は定格炉心流量に対する炉心流量 (%)

第 58-6-3 表 計測装置の警報動作範囲 (2/3)

名 称		警報動作範囲	警報動作範囲の設定に関する考え方
計測装置	原子炉圧力	7.39MPa [gage] 以下	スクラム動作を伴わない異常な過渡現象発生時、原子炉圧力容器内の圧力上昇を緩和し、かつサプレッション・プール水の温度上昇を抑えるため原子炉再循環ポンプ 2 台トリップ及び代替制御棒挿入を行う。 原子炉圧力高スクラム (7.25MPa [gage]) の発生前に本インターロックが動作することなく、かつ事象の早期緩和を図るため、圧力高スクラム設定値に対して計器誤差を見込んだ原子炉圧力 7.39MPa [gage] 以下を設定値とする。

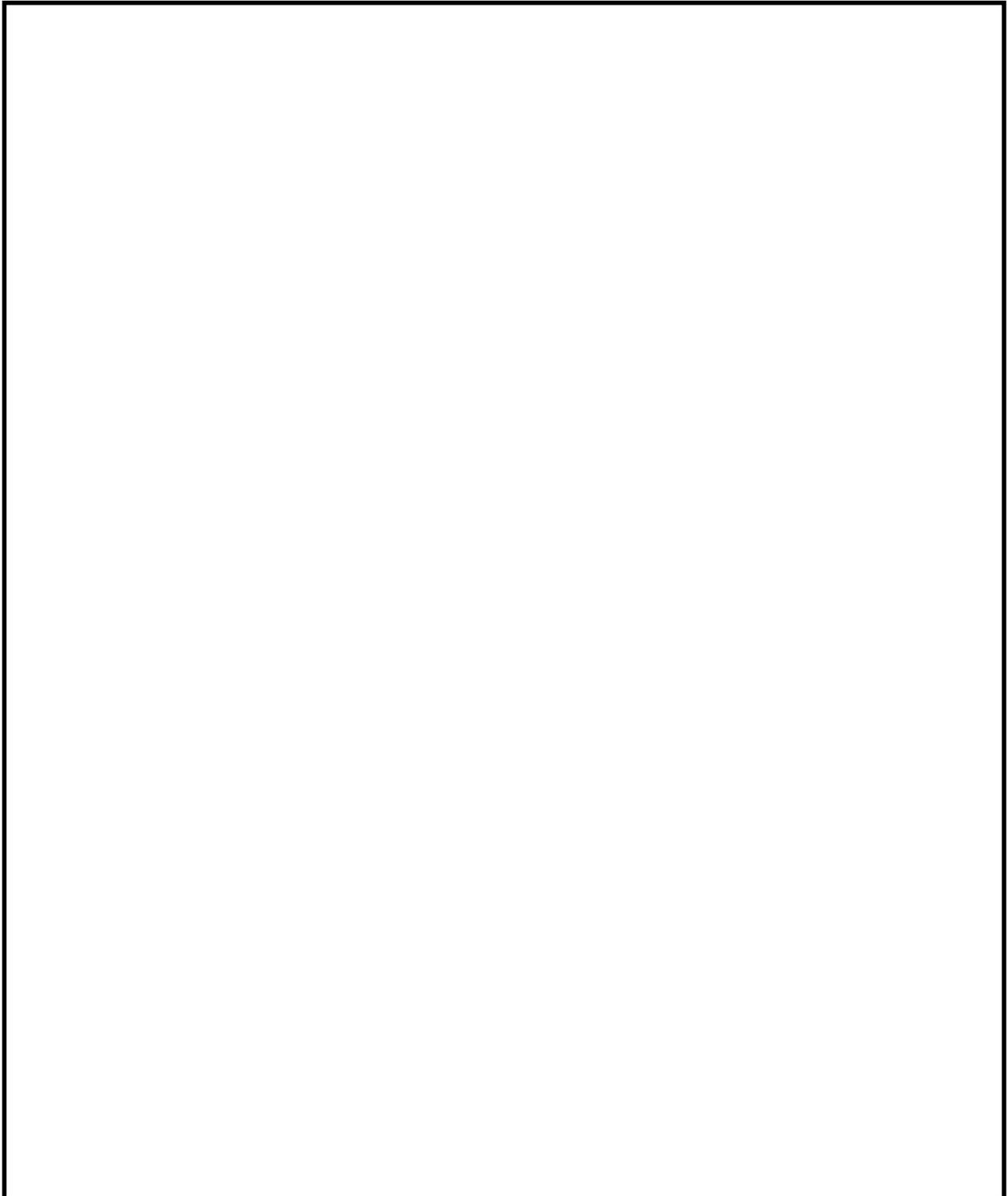
第 58-6-3 表 計測装置の警報動作範囲 (3/3)

名 称		警報動作範囲	警報動作範囲の設定に関する考え方
計 測 装 置	原子炉水位	-950mm 以上*	原子炉水位が低下した場合に、原子炉隔離時冷却系を起動（冷却材補給機能）し、原子炉の水位低下を防ぐ。 給水が完全に喪失した場合、原子炉水位 L 2 にて原子炉隔離時冷却系が起動することにより原子炉水位 L 1 を下回らないよう十分高い水位にするとともに、原子炉水位 L 3 以上の水位で原子炉スクラムが発生した際に原子炉隔離時冷却系が起動しないよう、 L 3 水位より十分に低い水位である、 <u>原子炉水位-950mm 以上</u> を設定値とする。
		-3,800mm 以上*	一次系配管破断等による原子炉冷却材喪失事故時に対するプラント保護のため、非常用炉心冷却系を起動し、速やかに炉水位の回復を行う。 給水が完全に喪失した場合に原子炉水位 L 2 で原子炉隔離時冷却系、高圧炉心スプレイ系が起動することにより、 L 1 に達しないように十分低い値とするとともに、非常用炉心冷却系が作動するのに時間的に十分余裕があり、冠水維持されて冷却が十分達成されるよう <u>原子炉水位-3,800mm 以上</u> を設定値とする。
		-3,800mm 以上*	中小破断事故時に高圧炉心スプレイ系が作動しない場合、原子炉水位 L 1 で自動減圧系を作動させ、低圧炉心スプレイ系又は残留熱除去系（低圧注水系）と連携して炉心を冷却するよう <u>原子炉水位-3,800mm 以上</u> を設定値とする。 また、自動減圧系の機能が喪失した場合、原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するため、原子炉水位 L 1 で自動減圧機能を有する 7 個のうち 2 個の 逃がし安全弁 を作動させるよう <u>原子炉水位-3,800mm 以上</u> を設定値とする。

※：基準点は蒸気乾燥器スカート下端（ベッセルゼロレベルより 1,340cm）

原子炉水位の概要図と計測範囲との関係

原子炉水位の概要図を第 58-6-60 図に，インターロックの概要を第 58-6-4 表に示す。



第 58-6-60 図 原子炉水位の概要図

第 58-6-4 表 インターロック概要

原子炉水位	基準水位との差	主要なインターロック
L 8 : 原子炉水位高 (レベル 8)	+1,400mm	原子炉隔離時冷却系自動停止 高圧炉心スプレイ系注入弁閉止
L 5 6	+900mm	通常運転水位
L 3 : 原子炉水位低 (レベル 3)	+300mm	原子炉スクラム 非常用ガス処理系自動起動
L 2 : 原子炉水位異常低下 (レベル 2)	-950mm	原子炉隔離時冷却系自動起動 高圧炉心スプレイ系自動起動 主蒸気隔離弁閉止 原子炉再循環ポンプトリップ
L 1 : 原子炉水位異常低下 (レベル 1)	-3,800mm	低圧注水系自動起動 低圧炉心スプレイ系自動起動 自動減圧系タイマー作動*
T A F : 燃料有効長頂部	-4,248mm	(燃料有効長頂部)
L 0 : ジェットポンプ上端	-5,315mm	(ジェットポンプ上端)

※：ドライウェル圧力高信号とのアンド条件で作動